

14. 4-622

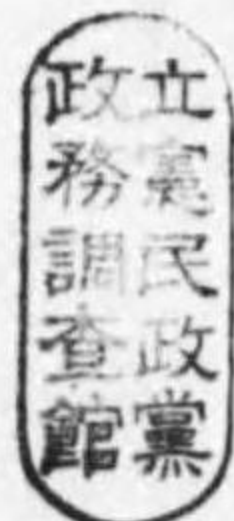


1200700149288

昭和十年度

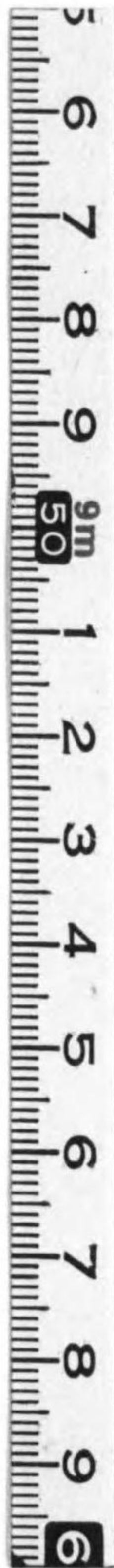
東京市都市交通統計資料

東京市電氣局



昭11
A
776

11.12. 7



始



昭11
A
776



I種
W



1200700149288

は し が き

本市の都市交通組織は過去半世紀間に長足の進歩を遂げ、所謂組織ある交通機関としては國有鐵道の電車區間、市營交通機關、民營路面電車並びに地下鐵道、乗合自動車等、約五十主體營業線延長千二百軒（別表参照）を越へ、組織なき交通機關としては、タキシイ一萬二千有餘臺自転車六十萬臺の多きを數へ、その事業範圍は隣接各縣に跨り、正に關東平野の大半を蔽はんとするの盛況を示しつゝある。これ等各種交通事業の消長は一進一退、誠に端倪すべからざるものと共に、その業況は各主體別に且つ時を異にして公表せらるゝ關係上、綜合的觀察を爲すの機會に恵まれない。この事實は時として各當業者に取つてのみならず、所謂都市交通問題の研究者に對して少からざる不利益と不便を與へつゝあるは疑なき所であつて、これより生ずる弊害を除去する事は極めて肝要なる時務の一つと信ずる。從來この要求に副はんとする努力は決して皆無ではなかつた。即ち本市統計課が曩きに公刊したる大東京市内交通機關發達に關する調査、及び監査局都市計畫課の調査に係る大東京に於ける交通に關する調査の如き其の一例であつて、これ等の文獻が斯業の經營並びに研究に貢獻したる所は決して少しとしない。而して當局に於ては過去數年來、各種事業別に個別的調査を行ひ之を大東京各種交通機關別輸送量、郊外電鐵概觀、大東京市内乗合自動車事業概觀、並びにタキシイに關する調査等謄寫刷に附して公表し來つた。勿論これ等の資料は極めて狭い範圍に配付せらるゝに過ぎず、從つて其の利用價值も極めて少い事は事實であるが、前述せる不利、不便の除去に幾分の寄與を爲しつゝあつたと自負するに躊躇しない。

然る所、茲數年來澎湃として起り來つた所の本市交通事業統制の要望は愈々益々この種の資料の整備を要求すること切なるものあるかに見らるゝ。勿論この要求を完全に満すことは決して容易の業ではない。蓋し統制問題自體が今日未だ決して明確なる輪廓を形成してゐる譯ではない。従つてこの問題解決に役立つ資料の蒐集の如きは實は暗中摸索の類と心得ねばならぬ。特に統制の範圍、即ち統制の手段として何等かの方法に依り關係各交通事業の合併若くは其の他にに類する措置を執る必要ありとする場合に於いて、統一せらる可き事業の範圍を如何に定むべきやの問題の如きは企業形態と關聯し、一定の企業形態を通じて一定の國家的若くは地方的目的を達するに必要且つ充分なる限界に關する問題として極めて重要且つ解決困難な點である。而もこの一點が解決せられざる以上資料蒐集の範圍を決定することが不可能となる。これ等各般の事情に鑑み所謂東京市交通事業統制問題に對して合目的なる資料の提供は極めて困難であり、従つて勿論當局の調査に係る前掲資料の如きが直ちにこの目的に供し得らる可しとは夢にも考へない。が併し今日の實情からすれば先づ以て無きに勝る程度の資料とは言へ之を羅列して本問題に關心を有せらるゝ人士の參考に供することは問題の促進を圖る上に何等か寄與する處があるのではないかと思惟せらるゝ。これ即ち、敢て本書を印刷に附して厚つかましくも座右に供する所以である。其の不備缺漏に滿ち溢るゝことは吾等の夙に熟知せる所、希くは内容の吐正と改善策の示教を與へらるゝに付吝さかならざらん事を。(昭和十一年十一月)

凡 例

- 一、本年報に収録せる事業の範圍は東京市に起終點を有する交通事業並びに其兼營事業の全部を包括せしめた。
- 二、數字は専ら各當該事業主體の公表せる營業報告書に依る。
- 三、別段の「斷り」なき限り、各表の數字、例へば運輸成績、損益計算の如きは各事業の全體に渉る。
- 四、營業年度は總て當該經營主體の定めたるものに依る。

目次

第一編 現況

一、人口	(一)
(一) 東京市人口増加の趨勢	(二)
(二) 東京市人口密度の變遷	(四)
二、東京市内交通網の密度	(六)
(一) 既設線	(七)
(イ) 有軌交通機關	(九)
(ロ) 乗合自動車	(三)
(二) 未設線	(一五)
(イ) 未設線に關する調査	(一五)
(ロ) 未設線完成後の交通網及密度	(一〇)
三、交通機關利用狀況	(三)
(一) 國勢調査に現はれた人口移動狀況	(三)
(二) 本市在職者利用交通機關調	(二四)

(三) 霞ヶ関官廳街交通調査実績.....(二五)

四、東京市内交通機關別交通量.....(二五)

(一) 各機關別交通量.....(二五)

(二) 各機關別乗車料收入.....(二七)

(三) 各機關別一人一回當平均收入料金.....(二七)

(四) 各機關別乗客數及乗車料收入分布率.....(二八)

(五) 各機關別乗客數及乗車料收入累年指數.....(二八)

五、電氣軌(鐵)道並乗合自動車事業主體別主要事項.....(四)

(一) 電氣軌(鐵)道事業.....(四)

(二) 乗合自動車事業.....(四)

(三) 乗合自動車路線長及車輛累年表.....(四)

(イ) 路線長累年表.....(四)

(ロ) 車輛累年表.....(四)

(ハ) 乗合自動車異動調.....(五)

六、事業別營業成績.....(五)

(一) 貸借對照表.....(五)

(二) 損益計算.....(五)

(イ) 總括表.....(五)

(ロ) 各事業別損益計算.....(五)

(A) 電氣軌(鐵)道事業.....(五)

(B) 乗合自動車事業.....(五)

(C) 電氣供給事業.....(五)

(D) 其他兼營事業.....(五)

七、運輸成績.....(六)

(一) 省 電.....(六)

(二) 電氣軌(鐵)道事業.....(六)

(三) 乗合自動車事業.....(六)

(四) 電氣供給事業.....(六)

八、タクシー.....(七)

(一) タクシー臺數.....(七)

(二) タクシー乗客數.....(七)

(三) 企業形態より觀た營業主並臺數.....(七)

(四) 營業主並臺數.....(七)

(五) 營業種別より觀た一臺當運輸成績.....(七)

九、小型自動車……………(六)

(一) 營業種別より見た一回當運輸成績……………(六)

(二) 特種自動車……………(六)

(三) 小型自動車……………(七)

十、定期遊覽並大型貸切自動車……………(七)

(一) 定期遊覽自動車……………(七)

(二) 大型貸切自動車調……………(七)

十一、自轉車並乗合船舶……………(八)

(一) 東京市内自轉車臺數……………(八)

(二) 東京市内乗合船舶調……………(八)

十二、運賃並連絡運輸……………(八)

(一) 東京市内各電鐵籽程並籽當料金……………(八)

(二) 各電鐵定期券割引率比較……………(八)

(三) 各電鐵回数券割引率比較……………(八)

(四) 東京驛を中心とする籽程並料金帶……………(八)

(五) 東京市内に於ける省電及私營電鐵の各起點驛より觀たる料金區……………(九)

(六) 市電及市バスと他交通機關との連絡運輸……………(九)

第二編 統 制

一、統制後の計理……………(一〇五)

(一) 資本金……………(一〇五)

(二) 收入支出……………(一〇六)

(三) 利益金處分……………(一〇七)

二、交通統制に關する意見……………(一〇九)

(一) 東京商工會議所の大東京交通統制案……………(一〇九)

(二) 帝都交通問題研究會の交通統制案……………(一一三)

参 考 表

一、電氣軌(鐵)道主體別貸借對照表……………(一一三)

二、電氣軌(鐵)道主體別損益計算……………(一一五)

三、事業別損益計算……………(一一六)

(一) 電氣軌(鐵)道事業……………(一一六)

(二) 乗合自動車事業……………(一二〇)

(三) 電氣供給事業.....(一九〇)

(四) 其他兼營事業.....(一九七)

四、運輸成績.....(二〇〇)

(一) 省電(東鐵管内).....(二〇〇)

(二) 市電並私營電氣軌(鐵)道事業.....(二〇四)

(三) 乗合自動車事業.....(二〇五)

五、電氣供給事業成績.....(二〇五)

六、各社供給料金及供給區域調.....(二〇九)

第一編 現況

一、人口

東京市に於ける人口増加の趨勢を見るに便宜上舊市域と新市域に分ち新市域を更に二分して東京驛を中心とする半径十軒の圓周内に主たる地域を有するものを第一圏とし其他のものを第二圏として觀察するに大正九年の國勢調査の結果を基準とすれば全市域では同十四年は二二%昭和五年には四八%更に同十年には七五%の増加を示してゐる。

而して之れを區域別に見れば舊市域に於ては大正九年の一〇〇に對して同十四年には九二と減じ昭和五年には幾分よ

く九五と増加し同十年に至りて一〇三となり漸く舊態に復してゐる。之れに引き換へ新市域第一圏に於ては同じく大正九年の一〇〇に對し同十四年一七六、昭和五年二二七と累増し同十年に至りては二七〇と上昇を示してゐる。

かゝる現象は都心を遠ざかるに従て益々顯著になり新市域第二圏に於ては大正九年の一〇〇に對し同十四年一八七昭和五年三〇二更に同十年には四一六と驚異的な増加を示すと共に都市の外延的發達を雄辯に物語つてゐる。

更に人口の分布状態を見るに大正九年の國勢調査に依れば全市人口の六五%は舊市域に於て占め新市域に在りては僅かに三五%を有するに過ぎなかつたものが大正十二年の關東大震災を契機として郊外の急速なる發展に伴ひ兩者の關係は全く逆轉し大正十四年に於ては舊市域四九%新市域五一%となつてその地位を換へ昭和五年には舊市域四二%新市域五八%更に同十年國勢調査の結果に依れば大正九年の場合と全く反對の現象を示し新市域の六二%に對し舊市域は三八%を有するに過ぎない、其處には僅かに十五年の歲月の流れがあるのみである。

参考のために右の關係を一覽に示せば次の通りである、

種別	大正九年		同十四年		昭和五年		同十年	
	新市	舊市	新市	舊市	新市	舊市	新市	舊市
計	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
新市	三五	六五	五一	四九	五八	四二	六二	三八
舊市	六五	三五	四九	五一	四二	五八	三八	六二

最後に人口密度の關係を一言すれば舊市域最も稠密にして都心を遠ざかるに従て稀薄となつてゐる、而し乍ら其の累増の傾向はこれと反對に舊市域より新市域、新市域に在りても第一圏より第二圏と言ふ様にその速度を早めてゐる、これは人口増加現象の必然的結果である。

如斯きは百萬以上の大都市に共通なる現象であつてこの事實こそは都市交通事業の運営に幾多の難問題を提供する要因である。

(一) 東京市人口増加の趨勢

區別	人口 (國勢調査)				同上指數			
	大正九年	同十四年	昭和五年	同十年	大正九年	同十四年	昭和五年	同十年
全	11,141,101	12,252,367	11,040,311	11,401,561	100	111	100	104
舊市域	4,592,692	5,252,367	5,721,000	6,037,000	100	115	125	133
新市域	6,548,409	7,000,000	5,319,311	5,364,561	100	107	100	101
神戶	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	100	100	100	100
神田	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	100	100	100	100
日橋	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	100	100	100	100
京橋	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	100	100	100	100

種別	人口 (國勢調査)				同上指數			
	大正九年	同十四年	昭和五年	同十年	大正九年	同十四年	昭和五年	同十年
芝	1,172,244	1,272,244	1,172,244	1,172,244	100	109	100	106
麻布	86,558	87,906	86,558	87,906	100	101	100	101
赤坂	61,233	61,233	61,233	61,233	100	100	100	100
四谷	7,227	7,227	7,227	7,227	100	100	100	100
牛込	26,282	26,282	26,282	26,282	100	100	100	100
小石川	1,465,077	1,526,200	1,465,077	1,465,077	100	104	100	103
本郷	1,550,573	1,550,573	1,550,573	1,550,573	100	100	100	100
下谷	1,831,866	1,726,678	1,831,866	1,831,866	100	95	101	104
浅草	2,564,410	2,330,076	2,564,410	2,564,410	100	91	104	104
本所	2,561,977	2,330,076	2,561,977	2,561,977	100	91	104	104
深川	1,813,311	1,600,336	1,813,311	1,813,311	100	88	99	107
新市	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
品川	87,577	87,577	87,577	87,577	100	100	100	100
目黒	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
荏原	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
澁谷	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
中野	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
豊島	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
瀧川	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
荒川	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100
王子	1,172,244	1,172,244	1,172,244	1,172,244	100	100	100	100

區別	年別	人口 (國勢調査)				同上指數			
		大正九年	同十四年	昭和五年	同十年	大正九年	同十四年	昭和五年	同十年
向島區		六四、四八九	一一〇、五二三	一五、五七四	一八六、六九八	100	一八七	二四一	二九九
城東區		七三、〇九五	一二三、〇八七	一四、九七一	一七一、〇四七	100	一五二	一九六	二三四
第二區		五〇、九八三	五〇、六七七	九、七〇〇	一、九〇、美	100	一八七	五〇〇	四六六
大森區		兜、九〇八	九四、四六六	一四、二五〇	二〇、四四五	100	一八九	二九五	四〇四
蒲田區		二八、六六四	五七、五七七	九、二二七	一四七、五二六	100	二〇一	三〇三	五五五
世田谷區		三、一九五	六、二七〇	一三、二九〇	一九〇、四八六	100	二四二	四七	五九六
杉並區		一八、〇九九	三、九八一	一三、五五五	一九〇、二二七	100	三三三	七四	一、〇五一
板橋區		五、四八三	八、三〇一	一三、五九〇	一五、八六六	100	一五二	二二	二八三
足立區		六、一〇三	九、三三七	一三、五〇〇	一七、六六二	100	一五二	三三	二八六
葛飾區		二七、二七六	四六、二六三	七、七六六	一〇五、六六二	100	一七〇	二八二	三六七
江戸川區		三九、三六六	六四、五三〇	九、九七二	二九、三三〇	100	一六四	二四六	三三六

(註) 大正九年、同十四年及昭和五年の人口は何れも昭和十年十月一日現在の區域に基き組替計算したるものなり。
 新市域の内第一圈區とは東京驛を中心として半徑十軒の圓周内に主たる地域を有するものを指稱し其他のものを第二圈區とす。

(二) 東京市人口密度の變遷

區別	年別	面積	一方方				人口
			大正九年	同十四年	昭和五年	同十年	
全區		五〇、八八五	二、七五五	二、四四四	二、四四四	二、四四四	一〇、九七九
全市		五〇、八八五	二、七五五	二、四四四	二、四四四	二、四四四	一〇、九七九
市域		一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三	一、一三三

區別	年別	面積	一方方				人口
			大正九年	同十四年	昭和五年	同十年	
神田區		八、二八	七、九三四	六、八〇九	七、〇九一	七、二六六	
日比谷區		三、一〇	四、〇四八	四、四七三	四、九四五	四、一六三	
京橋區		三、一三	四、五〇〇	三、六六〇	三、五二八	三、六九七	
芝布區		五、一一	二、〇五五	二、五五四	二、五七三	二、八三三	
赤坂區		八、六二	二、〇八五	一九、九二九	二〇、四三三	二、二一七	
四谷區		四、二九	一〇、六四三	二〇、四九一	二〇、一六三	二〇、四九一	
小石川區		三、二四	二、六七一	二、四四〇	二、一五五	二、三、五五六	
牛込區		五、三二	二、四二九	二、四九〇	二、四七五	二、五、〇一七	
下谷區		六、〇六	二、一七六	二、四、九三〇	二、四、九三〇	二、八、九九七	
淺草區		四、八七	二、七、八三六	二、七、七七七	二、八、〇八〇	二、八、九九七	
本所區		五、〇四	三、六、三四六	三、四、一六二	三、四、五二九	三、七、八〇一	
深川區		五、七七	四、六、五五	四、四、〇七	四、五、八六三	五、一、九三四	
木場區		六、四九	三、九、四七六	三、二、九三三	三、六、二四〇	四、二、八六五	
新大塚區		八、二四	三、三、〇〇三	一九、四七七	二、四、四七四	二、五、九九一	
第一區		二、三六	二、四、七	二、一、三六	二、一、三六	二、一、三六	
第二區		一、〇、六	一、〇、七	一、一、七	一、一、七	一、一、七	
第三區		一、四、七三	一、五、二三	一、五、七三	一、五、七三	一、五、七三	
第四區		一、四、七三	一、四、六九	一、四、六九	一、四、六九	一、四、六九	
第五區		一、五、八〇	一、五、〇〇三	一、五、〇〇三	一、五、〇〇三	一、五、〇〇三	
第六區		一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	
第七區		一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	
第八區		一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	
第九區		一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	
第十區		一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	一、五、二四	

區別	面積	人口			
		大正九年	同十四年	昭和五年	同十年
豐島區	13,266	8,261	14,951	17,852	20,111
瀧野川區	5,200	7,835	15,818	19,374	23,031
荒川區	10,700	11,466	20,645	26,548	30,823
王子區	15,996	3,407	5,322	7,927	10,704
向島區	7,796	8,276	15,470	19,971	23,966
東區	10,186	7,177	11,099	14,044	16,803
第 二 區	15,200	9,000	11,311	12,288	13,848
大森區	23,000	2,233	4,037	6,293	8,608
蒲田區	23,256	1,292	2,598	4,444	6,600
世田谷區	26,800	8,000	11,077	13,444	14,900
杉並區	34,000	5,222	11,935	13,945	15,778
板橋區	60,600	6,433	11,008	11,403	11,870
足立區	55,500	1,144	1,755	2,525	3,253
葛飾區	55,500	1,433	1,293	2,146	2,954
江戶川區	80,800	1,379	1,379	2,071	2,761

二、東京市内交通網の密度

都市に於ける交通網の分布状況を見ることは將來の交通政策を制定する上に於て最も必要な事である。

本表に於ては東京市内に其の路線を有する有軌交通機關並に乗合自動車の總路線長を各區別に調査しこれを各區の面積及人口に對比して路線の密度を示したものである。

この結果に依ると結局各區の面積の廣狭及び人口の多寡か密度を決する事になり面積の方面より見れば舊市域最も大であり人口よりすれば新市域の第二圈が第一位を示してゐる。

最後に現在の未成線を計畫通り實施した場合を示して参考にと供することとした。

(一) 既設線 (既設軌鐵道・乗合自動車)

行政區名	路線長	面積一方籽當り	同 上 指 數	人口十萬人當り	同 上 指 數
全 市 域	1,110.402 軒	2.100 軒	100	2.266 軒	100
神 田 區	206.596	4.907	232	18.955	837
日 本 橋 區	26.599	9.200	438	22.744	1007
芝 罘 區	22.233	5.200	245	7.232	320
京 橋 區	26.763	8.600	409	20.666	911
芝 罘 區	26.084	5.200	245	18.533	823
麻 布 區	55.235	6.699	319	29.773	1317
赤 坂 區	11.799	2.700	128	6.773	299
四 谷 區	15.992	3.700	175	9.374	414
牛 込 區	13.994	4.000	186	8.844	390
小 石 川 區	18.563	4.500	214	11.566	510
本 郷 區	27.533	6.500	309	14.266	629
下 谷 區	19.475	4.500	214	11.100	489
下 谷 區	22.377	6.300	295	12.900	570

行政區名	路線長	面積一方料當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
全 市 域	五三・九六	〇・九三		九・三〇	
神 戶 市 域	一六・〇八	二・四〇	100	九・三〇	100
日 本 市 域	一七・六四	五・七〇		一三・一六	
芝 罘 市 域	二・三三	二・七〇		三・五二	
京 橋 市 域	二・八六	三・八二		一〇・八〇	
麻 布 市 域	二・六六	二・九〇		八・三〇	
赤 坂 市 域	七・七二	一・九一		八・九九	
四 谷 市 域	九・八四	二・三〇		一六・六〇	
牛 込 市 域	六・九七	二・一三		九・三〇	
小 石 川 市 域	六・九四	一・三三		八・六九	
本 郷 市 域	三・〇二	二・一五		五・三九	
下 谷 市 域	九・九八	二・〇五		七・二三	
淺 草 市 域	一五・九二	三・一六		九・〇九	
淺 草 區	一三・三二	二・三三		四・九四	

(イ) 有軌交通機關
(A) 既設

杉 並 區	六・七五	一・九五	二	三・五三	一六
板 橋 區	六・〇〇	一・〇九	三	三・六六	一七
足 立 區	五・二六	一・〇八	二	三・四〇	一五
葛 飾 區	六・五五	一・〇八	二	三・四〇	一五
江 戶 川 區	四・六三	一・〇四	二	三・〇〇	一三

行政區名	路線長	面積一方料當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
新 第 一 市 域	八六・八四	一・七二		二・二六	
深 草 區	三三・二六	五・四四	元	一三・三三	五
品 川 區	二二・九七	二・七〇	元	二・五九	五
目 黒 區	五二・七九	一・七〇		二・二六	
荏 原 區	三三・九五	三・七四	元	九・四九	六
在 谷 區	三〇・六六	二・五九	元	五・三三	六
澁 谷 區	一四・九〇	二・七〇	元	八・元	二
澁 谷 區	二九・八四	三・六六	元	一七・七〇	二
中 野 區	二六・八三	二・九七	元	一七・七〇	二
豐 島 區	三六・九九	二・九	元	一六・六六	七
瀧 野 區	二四・六四	二・八四	元	一三・七	五
瀧 野 區	二四・六四	二・八四	元	一三・七	五
荒 川 區	四〇・五三	二・五	元	七・四	一
玉 子 區	二〇・七二	二・七〇	元	一〇・九四	二
向 島 區	二〇・一九	一・九	元	三・二	五
東 島 區	四・七〇	一・九	元	三・二	五
城 東 區	四・七〇	一・九	元	三・二	五
大 森 區	三六・〇二	一・五	元	七・三	一
蒲 田 區	四・七〇	一・五	元	七・三	一
世 田 谷 區	六・七〇	一・六	元	五・三	一

行政區名	路線長	面積一方籽當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
全 市 域	100.800	0.80	100	6.35	100
神 戶 市 域	5.668	1.18	147	4.33	69
日 本 橋 區	1.253	1.10	134	1.90	21
日 本 橋 區	7.069	1.27	156	6.43	104
芝 罘 區	9.361	1.83	224	6.45	104
京 橋 區	12.795	1.97	239	7.15	114
麻 布 區	4.974	1.16	143	5.83	89
赤 坂 區	4.600	1.08	134	7.82	121
四 谷 區	3.417	1.06	131	4.55	71
牛 込 區	7.126	1.37	170	5.55	88
小 石 川 區	5.966	0.98	123	3.96	59
本 郷 區	4.900	1.01	126	3.55	53
下 谷 區	3.000	0.60	75	1.71	27
淺 草 區	8.247	1.56	195	3.31	50
本 所 區	5.997	0.85	106	2.13	33
深 川 區	6.190	0.75	93	3.26	51

(B) 未設

行政區名	路線長	面積一方籽當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
新 深 川 市 域	118.910	0.67	83	6.33	100
品 川 區	1.262	1.18	147	5.63	88
目 黒 區	1.617	1.18	147	6.74	107
荏 原 區	9.800	0.66	82	8.26	130
澁 谷 區	7.400	1.16	143	6.80	107
澁 谷 區	3.944	1.17	145	4.12	64
中 野 區	3.047	1.10	137	10.34	163
豊 島 區	10.100	0.66	82	7.74	121
荒 川 區	10.911	1.54	195	5.84	91
王 子 區	9.036	1.74	216	7.63	120
向 島 區	14.196	1.34	164	4.30	67
東 島 區	10.700	1.17	145	7.68	120
城 東 區	8.900	0.88	109	5.83	91
第 二 區	1.894	0.80	99	5.34	83
大 森 區	10.600	0.88	109	10.88	170
蒲 田 區	14.600	0.67	83	11.20	176
世 田 谷 區	3.600	0.84	104	18.43	290
杉 並 區	19.100	0.66	82	10.16	159
板 橋 區	25.977	0.33	41	18.67	293

(口) 乗合自動車
(A) 既設

行政名	路線長	面積一平方町當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
全 市 域	104.161	1.134	100	11.311	100
神 戶 市 域	110.433	1.134	100	9.454	100
神 戶 市 域	11.255	1.134	100	8.581	100
神 戶 市 域	21.801	1.134	100	8.000	100
神 戶 市 域	14.910	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	14.913	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	26.644	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	4.058	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	6.098	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	7.017	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	11.499	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	14.916	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	9.490	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	15.415	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	18.171	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	19.049	1.134	100	7.581	100
神 戶 市 域	11.290	1.134	100	7.581	100

行政名	路線長	面積一平方町當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
新 市 域	104.161	0.600	100	4.511	100
新 市 域	7.542	0.600	100	3.877	100
新 市 域	15.780	0.600	100	3.877	100
新 市 域	9.004	0.600	100	3.877	100
新 市 域	10.500	0.600	100	3.877	100
新 市 域	5.569	0.600	100	3.877	100
新 市 域	8.700	0.600	100	3.877	100
新 市 域	13.527	0.600	100	3.877	100
新 市 域	3.000	0.600	100	3.877	100
新 市 域	9.759	0.600	100	3.877	100
新 市 域	1.200	0.600	100	3.877	100
新 市 域	6.340	0.600	100	3.877	100
新 市 域	6.340	0.600	100	3.877	100
新 市 域	16.241	0.600	100	3.877	100
新 市 域	18.748	0.600	100	3.877	100
新 市 域	14.100	0.600	100	3.877	100
新 市 域	3.803	0.600	100	3.877	100
新 市 域	29.426	0.600	100	3.877	100
新 市 域	10.600	0.600	100	3.877	100
新 市 域	0.000	0.600	100	3.877	100
新 市 域	26.326	0.600	100	3.877	100
新 市 域	8.367	0.600	100	3.877	100
新 市 域	5.100	0.600	100	3.877	100

行政区名	路線長	面積一方料當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
新第一市	四九・九四	一・〇五	三三	二三・九三	三三
品川區	二〇五・八五	一・一五	三三	八・八九	三三
目黒區	二二・八二	一・八九	三五	一一・〇〇	三三
荏原區	二七・八八	一・八九	三五	一九・三二	三三
澁谷區	七・四九〇	一・一元	三五	四・一七	三三
澁谷區	三三・一〇三	一・二二	三五	一三・八六	三三
中野區	一六・七九六	一・六七	三五	九・九六	三三
豊島區	一八・七五五	一・二三	三五	一〇・八四	三三
豊島區	一六・四〇八	一・二四	三五	六・一四	三三
瀧野川區	五・七二六	一・一〇	三五	四・九六	三三
瀧野川區	一〇・四四一	〇・九九	三五	三・一六	三三
王子區	二七・八五三	一・七六	三五	一七・四〇	三三
王子區	九・三七二	一・二〇	三五	五・一一	三三
向島區	一一・二七九	一・一一	三五	六・七七	三三
第二區	二八六・〇九〇	〇・八五	三三	二二・〇九	三三
大森區	二四・一三〇	一・〇三	三三	二二・七四	三三
蒲田區	二一・四一五	〇・九八	三三	一六・四三	三三
世田谷區	三三・六七〇	〇・八二	三三	一七・九〇	三三
世田谷區	四七・五五五	一・三九	三三	二五・一六	三三
杉並區	四三・〇二五	〇・七七	三三	四・九〇	三三
板橋區	六・八七六	〇・七三	三三	二四・六二	三三
足立區	一・二七九	一・一一	三三	六・七七	三三

行政区名	路線長	面積一方料當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
葛飾區	二・三五五	〇・六〇	三七	一八・九六	三七
江戸川區	元・一〇三	〇・八四	三七	三・八六	三七

(B) 未設

行政区名	路線長	面積一方料當り	同上指數	人口十萬人當り	同上指數
葛飾區	一・一三〇	〇・三三		一・〇〇	
荒川區	三・八〇〇	〇・〇七		二・四二	
荒川區	〇・六八〇	〇・〇六		〇・二二	
新城市	五・九〇〇	〇・〇六		〇・九三	
麻布區	二・九八〇	〇・〇七		三・四九	
芝罘區	二・〇五一	〇・二四		一・一五	
芝罘區	〇・三三四	〇・〇五		〇・一七	
京橋區	〇・二四三	〇・〇三		〇・四〇	
麹町區	〇・二四三	〇・〇三		一・一六	

(二) 未設線

(イ) 未設線に關する調査

(東京市に於ける鐵軌道の免許(特許)線及工事施行線に關する調査)

(A) 東京市電氣局線

(昭和十一年三月現在)

種別	免許線(特許線)		工事施行間	線	備考
	區	間			
鐵道	目黒町—南千住町	一六、八九八			
	東京驛—巢鴨町	七、三六三			
	大塚—築地	一三、七七五			
	池袋—洲崎	一三、九九七			
	計	五〇、九三三			
	天神前—四谷忍町	二、三八〇			
	三田二丁目—白金志田町	〇、八七三			
	三原橋—八形町	二、四四八			
	月島西河岸通—月島通七丁目	〇、二七四			
	南茅場町二八地先—同二九地先	〇、二二二			
	早稲田終點—目白停車場	一、九四四			
	護國寺前—高田豊川町	〇、七九九			
軌道	榎町—高田豊川町	二、一八九			
	茅場町三丁目—押上町	一、三五三			
	月島通八丁目—同十一丁目	〇、三六三			
	柳島—龜戸天神西宅地耕地	〇、九八七			
	天神橋—龜戸停車場	一、二四二			
	南千住踏切前—南千住大字千住南	〇、六九〇			
	同—三ノ輪橋	〇、五七六			
	駒込坂下町—三ノ輪橋手前	二、五九一			

電氣地下式

種別	免許線(特許線)		工事施行間	線	備考
	區	間			
軌道	麻布一ノ橋—霞町一番地	〇、七四四			
	南小田原町—本八丁堀	一、二九四			
	山宿町—坂本三丁目	一、八六七			
	芝浦二丁目—月見町二丁目	〇、八四四			
	御藏前片町—石原町	〇、九一〇			
	計	二四、〇二九			
	合 計(鐵・軌道)	四七、〇六〇			

一ツ橋通町—九段中坂下
 中ノ郷八軒町—徳右衛門町
 惠比壽—目黒不動尊
 矢來下—天神町
 築地林病院前—南飯田町
 市ヶ谷見附外—市ヶ谷谷町
 錦町三丁目—西鳥越町
 松富町—老松町
 霞岸町—千田町
 目黒不動尊—大森
 東京驛北口ループ線

〇、九三〇
 二、二八四
 一、五〇〇
 〇、一七九
 〇、六一〇
 一、三〇一
 二、七七八
 一、五二七
 一、五九〇
 五、〇八二
 〇、三三三
 一六、一〇一
 計 四七、〇六〇

(B) 會社線

(昭和十一年五月現在)

會社別	種別	免許線(特許線)		工事施行間	線	備考
		區	間			
京濱電鐵	鐵道	蒲田町—大崎町	七・七〇			内高架線 一・七六九
目蒲電鐵	鐵道	自由ヶ丘—砧村(成城學園)	七・四〇			
東横電鐵	鐵道	池上町—荏原町	三・七三			
東横電鐵	鐵道	祐天寺—澁谷町(廣尾)	二・九一			昭和十一年 十月廢止
東横電鐵	鐵道	澁谷町(中澁谷)—澁橋町	四・五八			
玉川電鐵	鐵道	砧村—狛江村	四・三〇			
帝都電鐵	鐵道	高田馬場—早稻田	二・七二	大井町—駒込	三・〇二	
西武鐵道	鐵道	澁橋—立川町	二・五三			電氣地下式
武藏野鐵道	鐵道	高田町—雜司ヶ谷旭出 (舊郡市境界)	二・〇一	×(東村山起點 同) 二・八二六 三・九一八	〇・〇三	蒸電併用
東武鐵道	鐵道	×小手指村—青梅町	一・九〇			蒸電併用
東武鐵道	鐵道	西巢鴨町—高田町	一・〇九	大師前—鹿濱	三・二九	高架
京成電軌	鐵道	吾嬬町請地—花川戸町	二・七三			
京成電軌	鐵道	千住町—梅島町	三・六九			
城東電軌	鐵道	本田川端町—松戸町	六・〇〇			
城東電軌	鐵道	龜戸町水神—寺島町大畑	三・四〇			
城東電軌	鐵道	大島町四丁目—木村町	一・二四七			
城東電軌	鐵道	大島町二丁目—同町七丁目	一・九三一			

會社別	種別	免許線(特許線)		工事施行間	線	備考
		區	間			
東京地下鐵	鐵道	本砂町地内	一・三六			電氣地下式
東京地下鐵	鐵道	高輪南町—新橋	五・四四			
東京地下鐵	鐵道	三田二丁目—大崎町	三・二九			
東京地下鐵	鐵道	大崎町—馬込町	四・〇三			
東京地下鐵	鐵道	鶴見町—矢向町	二・六五			
東京地下鐵	鐵道	川崎市渡田—入新井町	一・九四八			蒸電併用
東京高速鐵道	鐵道	澁橋—京橋築地	七・三二	×(鶴見町地内 同) 二・九一六 二・九一三	〇・四八五 〇・三三〇	
東京高速鐵道	鐵道	澁谷起點—同	〇・三六			
東京高速鐵道	鐵道	同	〇・二四			
東京高速鐵道	鐵道	澁谷起點—八軒一四七—東京驛前	二・〇八三	×(澁谷起點 同) 一・九一六 七・九〇三	五・九八七	
大東京鐵道	鐵道	日暮里町—越ヶ谷	一・九〇〇			高架
東京西電氣鐵道	鐵道	西巢鴨町—大和田町	一・七八〇	尾久町地内	一・五〇〇	
東京西電氣鐵道	鐵道	合計	一・五七		三・九四	
合計	合計		一・五七		三・九四	

(註) 本調査は鐵道省監督局調「地方鐵道及軌道一覽」より採る。東京市電の分は當局調査に據る。
×印は起終點を東京市外に有するものとす

(口) 未設線完成後の交通網及密度

行政区名	既設線	既特許未設線	計	面積一方料當 密度	同上指數	人口十萬人當 密度	同上指數
全市域	1,110,402.9	56,880.0	1,167,282.9	2.66		27.65	
舊市域	805,655	105,935	911,590	6.27		33.84	
神田區	28,519	5,668	34,187	11.03	100	26.06	100
麹町區	43,133	11,755	54,887	6.63	60	90.65	34.8
日本橋區	26,782	7,069	33,851	10.87	99	30.81	28
京橋區	26,004	9,595	35,599	6.99	99	35.33	97
芝區	53,335	14,847	68,182	7.91	73	38.01	14.8
麻布區	11,739	7,954	19,693	4.9	43	33.05	14.8
赤坂區	15,993	4,660	20,653	4.80	44	34.66	13.8
四谷區	13,934	3,477	17,411	5.36	49	32.12	13.8
牛込區	8,363	7,136	15,499	4.89	44	19.84	9
小石川區	27,533	5,960	33,493	5.53	50	23.33	11.8
本郷區	19,475	4,960	24,435	5.00	45	17.35	11.8
下谷區	31,337	3,000	34,337	6.81	62	19.61	11.8
淺草區	30,082	8,447	38,529	7.34	67	15.53	11.8
本所區	35,326	5,997	41,323	6.66	67	15.75	11.8
深川區	22,972	6,190	29,162	3.42	31	14.84	11.8
新市域	608,858	357,333	966,191	2.29		40.14	

行政区名	既設線	既特許未設線	計	面積一方料當 密度	同上指數	人口十萬人當 密度	同上指數
第一區	51,919	104,411	156,330	3.80	41	40.10	9
品川區	37,751	7,540	45,291	4.48	33	33.55	14
目黒區	37,618	15,780	53,398	3.63	33	37.06	14
在野區	14,890	9,000	23,890	4.2	37	33.39	15
澁谷區	56,077	10,500	66,577	4.7	40	28.73	11.0
澁谷區	29,843	5,569	35,412	3.51	33	33.00	11.0
中野區	28,835	8,000	36,835	2.44	33	22.71	8
豐島區	36,799	13,337	50,136	3.79	34	18.83	7
瀧野川區	14,644	3,000	17,644	3.4	33	15.99	7
荒川區	24,696	10,428	35,124	3.4	33	10.63	4
王子區	40,511	1,100	41,611	2.61	24	15.83	4
向島區	20,031	6,340	26,371	3.9	33	14.40	4
城東區	20,279	16,241	36,520	3.58	33	22.85	4
第二區	445,055	111,618	556,673	1.61		49.00	
大森區	44,310	14,100	58,410	2.51	33	33.06	11.9
蒲田區	36,015	2,803	38,818	1.6	26	29.79	11.4
世田谷區	64,270	2,914	67,184	2.41	33	55.95	13.3
杉並區	66,756	20,000	86,756	2.56	33	46.23	11.7
板橋區	88,003	40,000	128,003	1.59	14	46.01	11.5
足立區	58,164	30,178	88,342	1.65	15	55.94	11.5
葛飾區	38,555	9,487	48,042	1.34	11	42.74	11.4
江戸川區	48,603	5,100	53,703	1.15	10	43.75	11.4

(註) 本表の密度算出の基礎となりたる人口及面積に付ては何れも昭和九年のものを採りたり
 指数は總て神田區を以て一〇〇としたり

三、交通機關利用狀況

交通には人の場所的移動が須要の要件である。従て交通事業運営の立場より見れば人口の移動狀況を識ることは最も緊要の問題である。

本項に於ては是等の事項に付きて調査せられたる既往の資料を掲げて参考に供することゝしやう。

(一) 國勢調査に現はれた人口移動狀況

昭和五年國勢調査に於て行はれたる晝間人口の移動狀況を見るに晝間に於ては舊市域の人口甚だしく稠密なるに反し夜間人口は新市域に在りて著しく膨脹し勤務地と居住地との區分を判然と現はしてゐる。

かゝる事實は大都市特有の現象にして所謂「ラッシュアワー」の原因も亦此處に胚胎してゐると言ふべきであらう。右の如き現象が都市交通事業運営に幾多の難問題を提供してゐることは既に述べた通りである。

昭和五年の國勢調査に現はれた人口移動狀況を見るに、東京市内を舊市域、新市域に二分し、新市域を更に第一圏、第二圏に分類し、其相互間の關係を示せば舊市域より新市域へ移入したる人口は三四、三〇八人にして、この内第一圏へ二九、九〇〇人、第二圏へ四、四〇八人即ち前者八七%後者一三%の比率を示してゐる。

次に新市域より舊市域へ移入したる人口は三〇三、五六七人この内第一圏より二二七、〇六八人、第二圏より七六、四九九人即ちこれを比率にすれば前者七五%後者二五%である。

更に新市域間の移動を見るに第一圏より第二圏へ一四、一七七人、之れに反し第二圏より第一圏への移入は二八、五〇〇人の多きに達してゐる。尙全市域より郡部へは五、四六〇人同しく他府縣へは一三、五五五人の移出を示してゐる。

以上概観するに晝間人口に在りては新市域より舊市域への移入斷然多く其の比率は移出一に對し移入は約九倍の多數を示してゐる。而してかゝる移動の現象は市域の中心に近づくに従て著しく即ち舊市域より新市域第二圏への移出は全體の一三%であるに反し第一圏へは八七%反對に新市域第一圏より舊市域への移入は七五%なるに第二圏よりは僅か二に五%の少數が移入してゐるに過ぎない。

右の關係を一覽にして示せば次の通りである。

人口移動狀況 (昭和五年)

移入	移出			
	舊市域ヨリ	新市域ヨリ	内(第一圏ヨリ)	内(第二圏ヨリ)
舊市域	三〇三、五六七	一〇、四一七	二、七〇七	七六、四九九
新市域	二九、九〇〇	三、九一五	一、七〇七	一、七〇〇
内第一圏	(二九、九〇〇)	三、九一五	(一、七〇七)	(一、七〇〇)
内第二圏	(四、四〇八)	三、九一五	(二、一四一)	(一、七〇〇)
郡部	一、五五五	三、九一五	(二、一四一)	(一、七〇〇)
他府縣	六、七三九	六、八二六	(三、九一三)	(三、八二三)

(二) 本市在職者利用交通機關調

昭和六年本市統計課に於て調査したるものにしてこれに依ると利用人員では一種類利用者が断然多く全體の七六%に上つてゐる。然し乍らこれは市電との特種的關係もあり且當時他の交通機關の料金が現在の如く低廉でなかつた點もあり單に一の參考に止るものである。

本市在職者利用交通機關調

一、利用種別による分類

本市在職者の利用交通機關種別を示せば次の如し

利用機關種別	實數	比率
一種類利用者	一六、〇五六人	七六%
二種類以上利用者	五、一一五	二四
計	二一、一七一	一〇〇

利用人員

二、利用交通機關種別に現はれた各機關の分野

種別	交通機關別	市電	省線	郊外電車	バス	自転車	其ノ他	計
一種類利用者	一六、〇五六人	八、七三一人	三、九三九人	一人	一六二人	二、一三三人	一、〇三一人	一六、〇五六人
二種類以上利用者	五、一一五	三、七三三人	二、九三三人	二、九七〇	五七七	一人	一三〇	一〇、四六一

三、同百分比

種別	交通機關別	市電	省線	郊外電車	バス	自転車	其ノ他	計
一種類利用者	100%	54.6%	24.5%	1%	10%	13.5%	6.4%	100%
二種類以上利用者	100%	35.7%	26.3%	26.4%	5.4%	1%	2.2%	100%

(三) 霞ヶ関官廳街交通調査實績

昭和九年四月市電虎ノ門停留所を中心として半径一杆圈内に存在する官廳、學校、銀行、會社等の通勤通學者に就きてその交通機關の利用状況を調査した所に依れば先づ利用人員では一種類利用者が全體の六五%を占め二種類以上の利用者は三五%にして一人平均一種四に當る交通機關を利用してゐる事になる。

更に本調査によりて得たる所によれば第一に省線の分野が次第に擴大し通勤、通學者の總輸送量の約四割を占めてゐるに拘らず市電は約三割市バスは僅かに七分に過ぎない。

次に省線の驛勢圏は驛中心に半径二杆にも及び然も其資源よりの乗客獲得率は半杆圈内に於ては六割、一杆乃至二杆圈内に於ても尙五割を下らない。

更に市電を利用する通勤通學者中最初より市電を利用するもの、資源範圍は全然舊市域並に其隣接數區の一部のみに限られ且新舊兩市域界に於ける市電の終點より大約一杆圏外には出でず然も右圏外より來るもので市電を利用する者は市電利用客の三割強である。

而して通勤通學者の住所は最初の乗車地より市電市バスに於ては殆んど一杆圏を出てないのに反し省線のそれは二杆

圏に及ぶ、尙最後の降車地より勤先又は學校迄の歩行距離は市電、市バス、社バス等に於ては降車地より約半秆圏内であるに反し省線に在りては一秆半圏内である。

最後に通勤通學者中片途行程に二十分未滿を要する者は八分、二十分以上一時間未滿を要する者は八割五分を占め又交通機關だけに二十分未滿を要する者は一割八分二十分以上一時間未滿を要する者は七割八分を占めてゐる。

右に依れば省線の前には他の交通機關は極めて微力であると言ふ事實が判然と展開されてゐる。

霞ヶ關官廳街交通調査實績

一、調査日 昭和九年四月二日現在

二、調査地區の範圍

市電虎ノ門停留所を中心とする半徑一秆圏内にして其の區町名は大體左の如し

麴町區

有樂町一丁目の一部、内山下町、内幸町、日比谷公園、西日比谷町、霞ヶ關一丁目及二丁目、裏設ヶ關、外櫻田町、三年町、永田町一丁目及二丁目の一部

芝區

田村町、愛宕町、櫻川町、琴平町、南佐久間町、西久保巴町

赤坂區

葵町、榎坂町、溜池町

三、調査項目

(一)團體別に通勤通學者の利用交通機關

- (二)交通機關別延人員
- (三)交通機關利用者の住所(區、郡、町別)
- (四)團體別に往路最終降車地別人員
- (五)交通機關別に住所より最初の乗車地迄の距離別人員
- (六)交通機關別に最後の降車地より勤先又は學校迄の距離別人員
- (七)交通機關利用者の往路片途に於ける交通機關に要する時分
- (八)市電、市バス相互乘繼利用者數
- (九)市電利用者の相互發着(市電車線内だけ)
- (十)市バス利用者の相互發着(市バス線内だけ)

四、調査地區内團體數及種別

種別	團體數	在籍數
官 衙	一二二	一六、六二〇人
學 校	一一	八、四二三
銀行會社	二五	五、二三八
其 他	九	一、二八五
計	六七	三一、五六六

(註)右學校中、中等學校は一校(在籍一、一三五人)小學校は八校(在籍六、〇五三人)なり

五、利用交通機關種別

右の内在籍者の大部分が徒歩で通学する小学校あり又其他の事情で結局調査の對照となつたものは全體の四割八分強にして其人員は一五、二九九人である。
これを利用交通機關別に分類すると次の如し

種別	利用者數	
	實數	比率
一般交通機關利用者	一四、一三三 _人	九二・三%
其他		
乗用自動車利用者	七九	〇・六
自轉車利用者	二二三六	一・五
徒歩者	八五一	五・六
計	一五、二九九	一〇〇・〇

(註)一般交通機關とは市電、市バス、省線、社電、社バス及横濱市營電車、バスを指稱す

六、利用種別による分類

一般交通機關利用者の利用種別による狀況は次の如し

利用機關種別	利用人員	
	實數	比率
一種類利用者	九、一三五 _人	六四・六%
二種類利用者	四、五三一	三二・〇

三種類利用者	四六五	三・三
四種類利用者	二	〇・一
計	一四、一三三	一〇〇・〇

七、利用交通機關種別に表はれた各種交通機關の分野

交通機關利用種別人員	交通機關別						計
	市電	市バス	省線	社線	社電	社バス	
一種類利用者	三、七〇 _人	三三 _人	四、七〇 _人	二、六〇 _人	四七 _人	九、三三 _人	
二種類	一、七七	九	二、七〇	二、六〇	一、三三	九、〇三	
三種類	一、七三	一六	三、七〇	三、八	三〇五	一、九五	
四種類	二	二	二	二	一	八	
計	五、七二	一、元二	七、七〇	二、九六	一、四〇	一九、六〇	
率 (%)	三九	六	四〇	一五	七	一〇〇	

(註)一人平均、一・四種類の交通機關を利用する計算になる。

八、住所別より見たる各種交通機關の分野

(イ)舊市内に於ける各種交通機關の分野

舊市内に住所を有するものに付きその利用交通機關の分野を見るに左の如し

交通機関別		市		電		市		省		線		社		電		社		電		社		計	
比	實	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數
			二、六九九人		六〇〇%		二、九四〇		六・五		一、〇七六		二四・〇		〇・四		一六		九・二		四、四八三		四、四八三
			三、三九人		四六・三		三七七		五・二		二、四九		三四・〇		七・一		五二二		七・五		五、四五		七、三三
			三、三八七人		二七・三		四三		三・二		五、八五一		四一・四		二、九〇三		二〇・五		一、〇八七		一四、二三		一四、二三
			三、三八七		二七・三		四三		三・二		五、八五一		四一・四		二、九〇三		二〇・五		一、〇八七		一四、二三		一四、二三

(ロ) 舊市域並隣接區間(市電利用範圍)に於ける各種交通機関の分野

交通機関別		市		電		市		省		線		社		電		社		電		社		計	
比	實	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數
			二、六九九人		六〇〇%		二、九四〇		六・五		一、〇七六		二四・〇		〇・四		一六		九・二		四、四八三		四、四八三
			三、三九人		四六・三		三七七		五・二		二、四九		三四・〇		七・一		五二二		七・五		五、四五		七、三三
			三、三八七人		二七・三		四三		三・二		五、八五一		四一・四		二、九〇三		二〇・五		一、〇八七		一四、二三		一四、二三
			三、三八七		二七・三		四三		三・二		五、八五一		四一・四		二、九〇三		二〇・五		一、〇八七		一四、二三		一四、二三

(註) 右の圏内に屬する地域は次の如し

舊市域十五區全部

新市域中、品川、澁谷、澁野川、城東の四區全部

豐島、荒川、向島三區の各二分の一

板橋、王子、二區の各十分の一

新市域中市電車線の一部關係せる足立區の二分の一

目黒、葛飾二區の各十分の一

(ハ) 全市域内に於ける各種交通機関の分野

交通機関別		市		電		市		省		線		社		電		社		電		社		計	
比	實	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數
			三、三八七人		二九・三		四三		三・二		五、八一		三九・二		二、七三五		二〇・六		一、〇五九		一四、〇九		一四、〇九
			三、三八七		二九・三		四三		三・二		五、八一		三九・二		二、七三五		二〇・六		一、〇五九		一四、〇九		一四、〇九

(ニ) 總數に於ける各種交通機関の分野
被調査者全員に付いて見れば左の如し

交通機関別		市		電		市		省		線		社		電		社		電		社		計	
比	實	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數	率	數
			三、三八七人		二七・三		四三		三・二		五、八五一		四一・四		二、九〇三		二〇・五		一、〇八七		一四、二三		一四、二三
			三、三八七		二七・三		四三		三・二		五、八五一		四一・四		二、九〇三		二〇・五		一、〇八七		一四、二三		一四、二三

九、通勤、通學者の往路最終の利用交通機関別人員
本調査區内六七團體へ通勤通學する者の往路最終利用交通機関別人員を示せば次の如し

交通機関別		利用者數		比率	
交通機関別	實數	比率	交通機関別	實數	比率
市電	五、六三五人	三九・八%	市電	一、一五〇	八・一%
市バス	一、一五〇	八・一%	市バス	六、一〇六	四三・二%
省線	六、一〇六	四三・二%	省線	二	〇・一%
社電	二	〇・一%	社電	一、二四〇	八・八%
社バス	一、二四〇	八・八%	社バス		

十、住所より最初の乗車地迄の距離

機 關 別	種 別	距離別					
		〇町 未 滿	一町	二町	三町	四町	
市 電	計	比	三、七三	二、九	一、一	〇、五	〇、二
		實	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		率	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
市 バ ス	計	比	三、七三	二、九	一、一	〇、五	〇、二
		實	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		率	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
省 電 線	計	比	三、七三	二、九	一、一	〇、五	〇、二
		實	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		率	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
社 バ ス	計	比	三、七三	二、九	一、一	〇、五	〇、二
		實	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		率	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
		數	九六、四	四〇、八	三、四	一、四	〇、六
計		三、八七〇	一〇〇、〇	四三	一〇〇、〇	一四、一三三	一〇〇、〇

計 一四、一三三 一〇〇、〇

十一、往路最終降車地より勤先又は學校迄の距離

機 關 別	種 別	距離別	
		〇町 未 滿	六町 一
市 電	比	五、六三	九、七
	實	九七、七	〇、三
計	比	五、六三	九、七
	實	九七、七	〇、三
計		五、六三	九、七

十二、住所より勤先又は學校迄の所要時分

機 關 別	種 別	所要時分					
		〇分 未 滿	一〇分	二〇分	四〇分	六〇分	
市 電	計	比	一、二五	九、七八	二、二五	二、二	二、四
		實	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		率	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
市 バ ス	計	比	一、二五	九、七八	二、二五	二、二	二、四
		實	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		率	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
省 電 線	計	比	一、二五	九、七八	二、二五	二、二	二、四
		實	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		率	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
社 バ ス	計	比	一、二五	九、七八	二、二五	二、二	二、四
		實	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		率	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
		數	一〇、三五	九八、五	一、三三	一〇、〇	二、二
計		一、一五〇	一〇〇、〇	六、一〇六	一〇〇、〇	一、一四〇	

機 關 別	種 別	所要時分					
		〇分 未 滿	一〇分	二〇分	四〇分	六〇分	
市 電	計	比	〇、三	三、五	一、五〇	二、二六	四、九一
		實	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		率	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
市 バ ス	計	比	〇、三	三、五	一、五〇	二、二六	四、九一
		實	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		率	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
省 電 線	計	比	〇、三	三、五	一、五〇	二、二六	四、九一
		實	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		率	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
社 バ ス	計	比	〇、三	三、五	一、五〇	二、二六	四、九一
		實	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		率	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
		數	二、六〇	七、五	一〇、九	二、二五	五、四
計		五、八五一	一〇〇、〇	三、八七〇	一〇〇、〇	一四、一三三	

機 關 別	種 別	所要時分	
		〇分 未滿	二〇—四〇分
社 計	實	一、四八	四、八四
	比	一五・二	四四・五
社 計	實	六・八	四・六
	比	九六・〇	四三・三
計	實	八・一	九・四
	比	一〇・一	四三・八
計	實	一、〇八七	一、〇八七
	比	一〇・〇	一〇・〇

十三、住所より目的地迄の行程に於ける利用交通機関のみに要する時分

機 關 別	種 別	所要時分	
		〇分 未滿	二〇—四〇分
省 線	實	一、四八	三、四六
	比	一四・九	三三・九
市 電	實	一、六七	二、四三
	比	一六・七	二四・三
市 ス	實	二〇九	一七六
	比	二〇・九	一七・六
社 電	實	四九・五	四・七
	比	四九・五	四・七
社 ス	實	一、一七	一、四六
	比	一一・七	一四・六
計	實	二、五九	五、〇四
	比	二五・九	五〇・四
計	實	二、五九	五、〇四
	比	二五・九	五〇・四
計	實	一、〇八七	一、〇八七
	比	一〇・〇	一〇・〇

四、東京市内交通機関別交通量

昭和十年度に於ける東京市内各種交通機関の總交通量は十三億七千三百八十九萬人にして昭和元年度を一〇〇とすれば一五六となり最近十ヶ年に五割の増加を示してゐる。

而してこれを各機関別に見れば先づ有軌の部分では省電五割七分私營電鐵七割地下鐵二十五割四分と何れも増加の一端を辿つてゐるのに引換へ獨り市電は昭和元年度を一〇〇とすれば昭和十年度は六七となり著しき減少を示してゐる。

次に乗合自動車及タクシ一の所謂無軌交通機関の方面に目を轉じると何れも昭和元年度の一〇〇に對し前者は四六九後者は一、一一と激増し驚異的な躍進を示してゐる。

更に各機関別の分布率を見るに最近十ヶ年に於ける變動の著しきものとしては昭和元年度に全交通量の五〇%を占めてゐた市電が昭和十年度に於ては僅かに二一%に激減したるに反し乗合自動車は六%より一八%に更にタクシ一に至りては僅かに二%より一五%に激増してゐる「ジャーナリストイック」に言へば正に有軌より無軌へと言ふ所であらう。

各機関別の乗車料収入の推移及分布状況に付いて見れば全體としては乗客數と稍々等しく昭和元年度を一〇〇とすれば昭和十年度には一五三となり五割の増加を示し其の總額は一億三千九百九十萬圓に達してゐる、而して此處でも獨り市電が最近十ヶ年に一〇〇より六四に著減してゐるのみで他は何れも相當の増加を示してゐる。

こゝで注意すべきはタクシ一である、タクシ一は前掲の如く乗客數に於ては最近十ヶ年に十一倍餘に激増してゐるのに収入に在りては僅かに二倍になりたるに過ぎない、これは近年激甚なる競走の結果タクシ一の料金が次第に低下し一人當りの収入が極度に寡額になつた結果で最近に於けるタクシ一界の窮狀を物語つて餘す所がない。

更に収入の分布率を見るに矢張安くなつたと言つても他の交通機関に比して單位當りの高額であるタクシ一が王座を

占め昭和十年度に於ては全體の約四割に達してゐる、然しその増加率は最近十ヶ年に僅かに三〇%から四〇%に増嵩したのに過ぎない。

次に乗合自動車及地下鐵の進出が注目された、市電が昭和元年度には全體の三二%の收入を得てゐたのに昭和十年度に於ては僅かに一三%の分前にしか預かれず機關の地位から言つて甚だしく不當に遇されてゐる點を判然認識する事が出来るのである。

尙最後に昭和十年度に於ける一人一回當り平均乗車料金は十錢二厘にしてこれを各機關別に見ればタクシーの二十六錢五厘が最高で市電の六錢三厘が最低である

(一) 各機關別交通量

(イ) 年計

機關別	市電	省電	地下鐵	私營電鐵	乗合自動車	タクシー	合計
昭和元年度	四二、八九、五三	二四、一四、一四	一	一	五、二二、五五	一、八、七五	八二、六三、四三
〃 二年度	四九、七三、八四	二七、七七、三九	一	一	七、三二、七五	三、〇〇、〇〇	九四、九〇、〇二
〃 三年度	四四、〇八、三六	三八、九三、一六	八、九二、五〇	一	九、一〇、一〇	三、五、〇〇	一〇九、〇八、五三
〃 四年度	四二、一九、二六	三三、一八、五〇	七、七六、四七	一	一〇、三二、七六	三、九、九六	一〇九、〇八、五三
〃 五年度	三九、七七、七〇	三三、〇六、五三	一〇、〇四、九四	一	一〇、三二、七六	三、九、九六	一〇九、〇八、五三
〃 六年度	三五、四九、九二	三〇、八五、〇一	一〇、六三、三〇	一	一〇、三二、七六	三、九、九六	一〇九、〇八、五三
〃 七年度	三〇、七七、六六	三二、九四、三七	一四、四八、六六	一	一〇、三二、七六	三、九、九六	一〇九、〇八、五三
〃 八年度	二九、六六、四六	三二、〇七、〇二	一七、九五、四三	一	一〇、三二、七六	三、九、九六	一〇九、〇八、五三
〃 九年度	二七、四六、六〇	三五、四八、九三	二五、四二、七三	一	一〇、三二、七六	三、九、九六	一〇九、〇八、五三
〃 十年度	二四、八九、七九	三六、二、四五	二六、九五、九〇	一	一〇、三二、七六	三、九、九六	一〇九、〇八、五三

(ロ) 一日平均並人口一人當乗車回数

機關別	市電	省電	地下鐵	私營電鐵	乗合自動車	タクシー	合計	人口一人當乗車回数
昭和元年度	一、〇八、七九	六六、三九	一	一	一四、四〇	五、三三	二、四一、五八	二〇六、五
〃 二年度	一、〇二、一五	七六、八四	一	一	一〇、八、五五	九、三三	二、六四、一六	二九、四
〃 三年度	一、二九、四三	八七、七七	三、三六	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	三、〇九、一八	三三、四
〃 四年度	一、五三、九四	九〇、〇六	二、〇三	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	三、一六、三〇	三三、七
〃 五年度	一、〇二、九八	八八、四三	二、七五	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	三、〇三、一六	三三、六
〃 六年度	九一、六、〇三	八四、三三	二、九二	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	二、九四、二八	三二、七
〃 七年度	八四、〇、四九	八五、三〇	三、〇五	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	三、〇七、九三	三二、七
〃 八年度	八二、〇、三三	九〇、六三	三、七五	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	三、一五、八七	三二、六
〃 九年度	七七、五、六六	九七、八〇	三、六四	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	三、二八、四七	三二、三
〃 十年度	八〇、七、七七	一、〇、四七	三、三三	一	一五、〇、三三	一五、〇、三三	三、三三、八四	三三、八

備考 ×印ハ推計

(二) 各機關別乗車料收入

(イ) 年計

機關別	市電	省電	地下鐵	私營電鐵	乗合自動車	タクシー	合計
昭和元年度	二、〇四、七九	一八、四八、九三	一	一	一〇、七七、五五	五、四九、六八	二七、六九、九一
〃 二年度	二、八、九三	二〇、二七、八八	一	一	一三、〇三、九三	七、〇九、〇六	三六、四四、〇四
〃 三年度	二、〇、八、〇三	三三、九三、九二	七、七七、三三	一	一五、〇、七、四五	六、三、二〇	四六、一九四、〇〇
〃 四年度	二、〇、一、七五	二四、五、一、三三	七、四、五、五八	一	一七、六、七、五三	七、四、二、五二	四三、九六、四三

年次	機 關 別	市電		省電		地下鐵		私營電鐵		自動車合		タクシー		合 計	
		乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金
昭和二年	〃	四〇・五	二六・八	二六・五	一八・八	—	—	一五・二	二・二	七・八	六・六	三・五	三・七	一〇・〇	一〇・〇
昭和三年	〃	四〇・五	二六・九	二六・〇	一八・七	—	—	一五・二	二・二	七・八	六・六	三・五	三・七	一〇・〇	一〇・〇
昭和四年	〃	三三・四	二二・四	二〇・二	一七・〇	〇・七	〇・六	一七・〇	二・四	八・四	五・四	五・〇	五・〇	一〇・〇	一〇・〇
昭和五年	〃	三三・四	二二・四	二〇・二	一七・〇	〇・七	〇・六	一七・〇	二・四	八・四	五・四	五・〇	五・〇	一〇・〇	一〇・〇
昭和六年	〃	三三・二	二二・二	一九・九	一六・九	〇・九	〇・八	一七・二	二・四	八・六	五・六	五・二	五・二	一〇・〇	一〇・〇
昭和七年	〃	二七・三	一七・二	一六・四	一五・五	一・〇	〇・七	一六・七	二・三	七・六	六・九	六・六	六・六	一〇・〇	一〇・〇
昭和八年	〃	二五・一	一五・一	一五・〇	一四・五	一・〇	〇・九	一六・四	二・三	七・七	七・六	七・八	七・八	一〇・〇	一〇・〇
昭和九年	〃	二三・五	一三・五	一〇・一	一〇・〇	一・〇	〇・九	一五・〇	二・三	七・七	七・六	七・八	七・八	一〇・〇	一〇・〇
昭和十年	〃	二二・四	一三・二	一〇・五	一〇・〇	一・〇	〇・九	一五・〇	二・三	七・七	七・六	七・八	七・八	一〇・〇	一〇・〇

(五) 各機關別乗客數及乗車料收入累年指數

年次	機 關 別	市電		省電		地下鐵		私營電鐵		自動車合		タクシー		合 計	
		乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金	乗客數	收入金
昭和二年	〃	100	100	100	100	—	—	100	100	100	100	100	100	100	100
昭和三年	〃	100	100	100	100	—	—	100	100	100	100	100	100	100	100
昭和四年	〃	101	100	101	100	—	—	101	100	101	100	101	100	101	100
昭和五年	〃	101	100	101	100	—	—	101	100	101	100	101	100	101	100
昭和六年	〃	101	100	101	100	—	—	101	100	101	100	101	100	101	100
昭和七年	〃	101	100	101	100	—	—	101	100	101	100	101	100	101	100
昭和八年	〃	101	100	101	100	—	—	101	100	101	100	101	100	101	100
昭和九年	〃	101	100	101	100	—	—	101	100	101	100	101	100	101	100
昭和十年	〃	101	100	101	100	—	—	101	100	101	100	101	100	101	100

五、電氣軌(鐵)道並乗合自動車事業主體別主要事項

大東京市内に於て軌(鐵)道並乗合自動車を主業とする主體數は前者に於て十五、後者に於ては三十六軌(鐵)道兼營を合すれば四十七)にして、之が總資本金は五億七千五十萬五千五百四十九萬八千二百三十二圓(但し市電資本金を全額拂込と見做す)である、更に各會社の各事業に投下せる建設費は、電氣軌(鐵)道六億一千八百四十九萬八千三百六十六圓、私營乗合自動車(除電鐵兼營)一千三百二十八萬六千八百九十一圓、總計、六億三千七百七十八萬五千二百五十七圓(後段貸借對照表参照)にして、省電の建設費を合すれば更に巨額な資本が投下されて居る有様である。而して各經營主體はその建設費の二割強を他の電氣供給、乗合自動車、土地建物等の兼營事業に投じ、を有し收入の増加或は利潤の好配を企圖しつゝある、之に反し乗合自動車事業(除電鐵兼營)に於ては二三の會社を除き他は殆んど全部本事業のみを經營しつゝある、蓋し企業簡易にして少額の興業費を以て足り、相當の利潤を擧げ得らるゝが故にして、震災後人口の移動、郊外の發展に伴ひ急激に斯業は發展し、現在に於ては却て競争の弊害を生じつゝある。

(一) 電氣軌(鐵)道事業

(昭和十年末現在)

種別	主體別	組織	資本金		建設費	軌道兼業		軌道兼業	在籍車輛	事業種目	開業年月日
			公稱	拂込		軌道	兼業				
東京市營	公營	株式	二九,五四七,七六	一〇,〇〇〇,〇〇〇	二五,一九〇,〇三	七九・七	二〇・三	一七四〇	一、三七電軌、供給、乗合	明治四〇、八、一	
京濱電鐵	株式	株式	一五,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	二四,二五〇・七	七二・七	二七・三	三三・九	七電(軌)鐵、供給、乗合、土地、遊園	明治四〇、二、一	
目蒲電鐵	株式	株式	一七,〇〇〇,〇〇〇	二,六九五,二五〇	二二,三四二・五〇	八二・九	一八・一	三三・五	三運河及工場、乗合、土地、遊園、供給、乗合、水上俱樂部	大正三三、二、一	
東横電鐵	株式	株式	一一,〇〇〇,〇〇〇	九,八〇〇,〇〇〇	二,二〇二,八八七	七四・七	二五・三	二六・三	三電(軌)鐵、供給、乗合、土地、遊園	明治四〇、五、三	
玉川電鐵	株式	株式	一一,五〇〇,〇〇〇	七,九五〇,〇〇〇	三,五四四,〇〇〇	五二・二	四八・八	三三・七	三電鐵、供給、乗合、遊園、土地、遊園	明治四〇、八、一	
帝都電鐵	株式	株式	一一,四〇〇,〇〇〇	三,一〇〇,〇〇〇	四,九三八,一四四	九八・七	一・三	二二・八	三電鐵、供給、乗合、土地、遊園	昭和八、八、一	
小田急鐵道	株式	株式	三〇,〇〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇,〇〇〇	一五,五三三,八一	六六・六	二・四	二〇・一	七電鐵、土地、家屋貸貸並賣買	二二、三、〇	
京王電軌	株式	株式	一一,九〇〇,〇〇〇	一〇,一〇〇,〇〇〇	一〇,一九八,三三七	九七・二	二・八	四・五・八	三電軌、供給、遊園、土地、建物	大正三、四、五	
西武鐵道	株式	株式	一三,〇〇〇,〇〇〇	八,一〇〇,〇〇〇	一三,九一〇,一三三	九七・二	二・八	四・五・八	八電(軌)鐵、供給、砂利業	一〇、八、六	
武藏野鐵道	株式	株式	一一,〇〇〇,〇〇〇	七,一〇〇,〇〇〇	一四,〇六二,九一〇	九八・五	一・五	六三・七	三電鐵、供給、乗合	四、四、五	
王子電軌	株式	株式	一四,〇〇〇,〇〇〇	九,五六一,二七五	二〇,七六六,四二二	四二・二	一・五	一六・五	三電軌、供給、乗合、土地、遊園	明治四四、八、三〇	
東武鐵道	株式	株式	五〇,五〇〇,〇〇〇	二七,七五〇,〇〇〇	七五,〇七六,二二二	八六・八	一三・二	二六・九	二電(軌)鐵、供給、乗合、溫泉、建物	三三、八、七	
京成電軌	株式	株式	四〇,五〇〇,〇〇〇	三三,二六七,五〇〇	四八,二二〇,四八四	八二・二	一八・八	八三・九	三電軌、供給、乗合、遊園、土地、家屋貸貸	大正元、一、三	
城東電軌	株式	株式	三,〇〇〇,〇〇〇	二,一六〇,〇〇〇	三,七〇〇,九七一	九三・一	六・九	二・三	二電軌、供給、乗合、土地、家屋貸貸	大正三、三、〇	
東京地下鐵	株式	株式	四〇,〇〇〇,〇〇〇	三三,九四六,六五五	四二,九五五,四九一	九六・〇	四・〇	八・〇	五電鐵、デパート並食堂	昭和二、三、三〇	
合計			五五八,八四七,七六一	一五八,九二〇,六六〇	六二八,四八八,五九九	九八・八	二〇・二	一一・一〇			

備考 東京市營の公稱資本金は借入資本及自己資本の合計とす、建設費は各主體の經營せる兼業をも含む

(一) 乗合自動車事業

昭和十年度末現在

種別	經營主體	組織	資本金		興業費	路線長	在籍車輛	從事員	開業年月日
			公稱	拂込					
東京市營	市營	株式	一五,〇〇〇,〇〇〇	一三,〇一〇,〇〇〇	一,〇一四,〇六一	一六・五	九三五	一、二七	大正十三年一月十八日
京濱電鐵	株式	株式	一七,〇〇〇,〇〇〇	一三,六九五,二五〇	三九三,〇三三	二〇・〇	四〇	八	昭和二年八月廿七日
目蒲電鐵	株式	株式	一一,〇〇〇,〇〇〇	九,八〇〇,〇〇〇	一〇六,二六六	九・九	四	四	昭和四年六月廿五日
東横電鐵	株式	株式	一一,五〇〇,〇〇〇	七,九五〇,〇〇〇	四六,一八八	七・二	六	六	八年六月一日
玉川電鐵	株式	株式	一一,八〇〇,〇〇〇	三,一〇〇,〇〇〇	六,一〇三	一四・〇	二	一	十年四月八日
帝都電鐵	株式	株式	一一,四〇〇,〇〇〇	八,一〇〇,〇〇〇	一七六,三九九	三三・八	二	二	五年九月廿九日
西武鐵道	株式	株式	一三,〇〇〇,〇〇〇	七,一〇〇,〇〇〇	二〇,五五六	二四・八	二	三	七年十一月一日
武藏野鐵道	株式	株式	一四,〇〇〇,〇〇〇	九,五六一,二七五	二七四,七六	一九・二	二	三	四年五月廿日
王子電軌	株式	株式	一四,〇〇〇,〇〇〇	二七,七五〇,〇〇〇	三五六,一八〇	三三・七	三	三	九年四月一日
東武鐵道	株式	株式	五〇,五〇〇,〇〇〇	二七,七五〇,〇〇〇	六九五,六六三	一〇一・一	三	三	七年七月一日
京成電軌	株式	株式	四〇,五〇〇,〇〇〇	三三,二六七,五〇〇	六四五,六三	一〇一・一	一〇〇	一〇	七年七月一日
城東電軌	株式	株式	三,〇〇〇,〇〇〇	二,一六〇,〇〇〇	六四,一一一	一五・七	一四	一	大正十五年三月一日
東京電軌	株式	株式	一〇,〇〇〇,〇〇〇	五,七三三,五〇〇	七,九九,五七七	四九・四	四七	七	大正八年三月一日
日比谷乘合	株式	株式	五〇,〇〇〇,〇〇〇	三五〇,〇〇〇	五五四,一八〇	一三・〇	五	九	昭和七年二月一日
芝浦乘合	株式	株式	八五,〇〇〇	八五,〇〇〇	八七,七七	四・五	七	五	昭和五年二月一日
山ノ手乘合	株式	株式	二〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	八九,七六	四・一	二	三	大正十四年八月廿四日
城東乘合	株式	株式	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	五一四,三四	八・八	二	四	大正十五年五月廿五日
ダット乘合	株式	株式	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	四六,八一六	九・九	三	三	昭和十年一月十五日
城南乘合	株式	株式	一〇〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	六六,九四一	五・六	一七	二	昭和三年六月廿三日

經營主體	種別	組織	資本金			興業費	路線長	在籍車輛	從業員	開業年月日
			公	稱	拂込					
目蒲乘合	株式	株式	130,000	55,000	186,000	9.3	16	5	昭和八年六月十四日	
梅森乘合	株式	株式	100,000	100,000	200,000	4.2	10	6	昭和六年九月廿三日	
蒲田乘合	株式	株式	50,000	50,000	100,000	7.3	5	4	昭和八年三月二日	
目黒自動車	株式	株式	300,000	300,000	600,000	7.1	7	4	大正十二年六月廿一日	
東横乘合	株式	株式	100,000	100,000	200,000	1.6	3	2	昭和四年十一月廿日	
日本興業	株式	株式	50,000	2,500	25,800	4.6	2	1	昭和七年五月卅日	
甲州街道乘合	株式	株式	500,000	175,000	675,000	3.5	2	1	昭和七年七月廿三日	
關東乘合	株式	株式	80,000	80,000	160,000	3.5	2	1	昭和二年一月三日	
昭和自動車	合資	合資	25,000	25,000	50,000	1.6	2	1	昭和四年六月十七日	
進運乘合	株式	株式	50,000	50,000	100,000	3.1	2	1	昭和四年六月十七日	
小野田乘合	個人	個人	30,000	30,000	60,000	3.8	2	1	大正十五年六月十六日	
大正自動車	株式	株式	50,000	50,000	100,000	8.3	3	2	昭和四年四月廿三日	
中野乘合	個人	個人	80,000	80,000	160,000	8.3	3	2	昭和四年十一月一日	
大泉乘合	個人	個人	7,500	7,500	15,000	3.2	2	1	大正十四年三月廿二日	
池袋乘合	株式	株式	100,000	100,000	200,000	3.8	3	2	昭和五年十月一日	
東都乘合	株式	株式	1,000,000	150,000	1,150,000	7.9	3	2	昭和八年二月十四日	
中仙道乘合	株式	株式	300,000	300,000	600,000	7.6	3	2	昭和七年五月三日	
鳩ヶ谷乘合	株式	株式	80,000	80,000	160,000	2.8	2	1	大正五年六月廿日	
川口乘合	個人	個人	75,000	75,000	150,000	3.6	2	1	昭和十三年八月廿日	
京北自動車	個人	個人	100,000	100,000	200,000	2.4	2	1	昭和二年六月十一日	

王子環狀乘合	株式	株式	1,000,000	150,000	1,150,000	3.7	18	3	昭和五年十月廿六日
京水モーターバス	個人	個人	100,000	100,000	200,000	3.7	3	2	昭和三年二月十三日
千住草加乘合	個人	個人	1,100,000	1,100,000	2,200,000	9.8	3	2	昭和二年七月十日
花畑乘合	株式	株式	100,000	60,000	160,000	1.3	1	1	大正九年十二月廿五日
越ヶ谷乘合	個人	個人	80,000	80,000	160,000	1.0	1	1	大正九年七月十五日
渡邊乘合	個人	個人	70,000	70,000	140,000	1.0	1	1	昭和九年五月十九日
葛飾乘合	株式	株式	50,000	50,000	100,000	2.3	1	1	昭和七年十一月一日
東武自動車	株式	株式	500,000	2,500	502,500	3.7	3	2	
合計			11,100,000	1,100,000	12,200,000	3.7	37	3	

(註) 大正自動車京北自動車は昭和十年上期現在
千住草加乘合大泉乘合は昭和九年下期現在

(三) 乘車自動車路線長及車輛累年表
(イ) 路線長累年表 (東京市内)

經營主體	年次	路線長 (km)									
		八	九	十	十	十	十	十	十	十	十
東京市營	大正										
京濱電鐵	〃										
池上電鐵	〃										
目蒲電鐵	〃										
東横電鐵	〃										
全線圏外	〃										
昭和	二	九.4	一〇.七	一二.一	一三.九	一五.五	一七.五	一九.四	二一.三	二三.一	二五.〇
〃	三	四.七	九.四	一〇.六	一二.一	一三.九	一五.五	一七.五	一九.四	二一.三	二三.一
〃	四										
〃	五										
〃	六										
〃	七										
〃	八										
〃	九										
〃	十										

經營主體	年次	
	大正	昭和
玉川電鐵	八	九
帝都電鐵	九	一〇
西武鐵道	一〇	一一
武藏野鐵道	一一	一二
王子電軌	一二	一三
東武鐵道	一三	一四
京成電軌	一四	一五
城東電軌	一五	一六
東京乘合	一六	一七
日比谷乘合	一七	一八
芝浦乘合	一八	一九
山之手乘合	一九	二〇
城東乘合	二〇	二一
ダット乘合	二一	二二
城南乘合	二二	二三
目蒲乘合	二三	二四
梅森乘合	二四	二五
蒲田乘合	二五	二六
目黒自動車	二六	二七
東横乘合	二七	二八
全線圏外	二八	二九
三〇	三一	三二
三三	三四	三五
三六	三七	三八
三九	四〇	四一
四二	四三	四四
四五	四六	四七
四八	四九	五〇
五一	五二	五三
五四	五五	五六
五七	五八	五九
六〇	六一	六二
六三	六四	六五
六六	六七	六八
六九	七〇	七一
七二	七三	七四
七五	七六	七七
七八	七九	八〇
八一	八二	八三
八四	八五	八六
八七	八八	八九
九〇	九一	九二
九三	九四	九五
九六	九七	九八
九九	一〇〇	一〇一

經營主體	年次	
	大正	昭和
日本興業	八	九
甲州街道乘合	九	一〇
關東乘合	一〇	一一
昭和自動車	一一	一二
進運乘合	一二	一三
小野田乘合	一三	一四
大正自動車	一四	一五
中野乘合	一五	一六
大泉乘合	一六	一七
ダット合資	一七	一八
石井非乘合	一八	一九
東京郊外乘合	一九	二〇
池袋乘合	二〇	二一
東都乘合	二一	二二
中仙道乘合	二二	二三
鳩ヶ谷乘合	二三	二四
川口乘合	二四	二五
京北自動車	二五	二六
王子電軌乘合	二六	二七
寶塚乘合	二七	二八
京水バス	二八	二九
千住京葉乘合	二九	三〇
花畑乘合	三〇	三一
不詳	三一	三二
三三	三四	三五
三六	三七	三八
三九	四〇	四一
四二	四三	四四
四五	四六	四七
四八	四九	五〇
五一	五二	五三
五四	五五	五六
五七	五八	五九
六〇	六一	六二
六三	六四	六五
六六	六七	六八
六九	七〇	七一
七二	七三	七四
七五	七六	七七
七八	七九	八〇
八一	八二	八三
八四	八五	八六
八七	八八	八九
九〇	九一	九二
九三	九四	九五
九六	九七	九八
九九	一〇〇	一〇一

經營主體	年次										
	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年
帝都電鐵											
西武鐵道											
武藏野鐵道											
王子電軌											
東武鐵道											
京成電軌											
城東電軌											
東京乘合											
日比谷乘合											
芝浦乘合											
山之手乘合											
城東乘合											
ダツト乘合											
城南乘合											
目蒲乘合											
梅森乘合											
蒲田乘合											
目黒自動車											
東横乘合											
日本興業											
甲州街道乘合											
關東乘合											
昭和自動車											

四九

經營主體	年次										
	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年
東京市營											
京濱電鐵											
池上電鐵											
目蒲電鐵											
東横電鐵											
玉川電鐵											
全線大東京圏外											

(ロ) 車輛累年表

指 數	年次										
	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年
合 計	100	110	123	136	158	195	243	277	369	454	549
東武乘合											
東武自動車											
小松川乘合											
葛飾乘合											
渡邊乘合											
上野井乘合											
越ヶ谷乘合											
不詳											

四八

經營主體	年次	
	昭和	大正
進運乗合	八年	八年
小野田乗合	九年	九年
大正自動車	十年	十年
中野乗合	十一年	十一年
大泉乗合	十二年	十二年
グット合資	十三年	十三年
石神井乗合	十四年	十四年
東京郊外乗合	十五年	十五年
池袋乗合	十六年	十六年
東都乗合	十七年	十七年
中仙道乗合	十八年	十八年
鳩ヶ谷乗合	十九年	十九年
川口乗合	二十年	二十年
京北自動車	二十一年	二十一年
王子環状乗合	二十二年	二十二年
寶華園乗合	二十三年	二十三年
京モーターバス	二十四年	二十四年
千住草加乗合	二十五年	二十五年
花畑乗合	二十六年	二十六年
上平井乗合	二十七年	二十七年

五〇

指合	年次	
	昭和	大正
越ヶ谷乗合	八年	八年
渡邊乗合	九年	九年
葛飾乗合	十年	十年
小松川乗合	十一年	十一年
東武自動車	十二年	十二年
東武乗合	十三年	十三年
合計	十四年	十四年

(ハ) 乗合自動車異動調

- 昭和十年一月十五日 ダット合資はグット乗合と合併しグット乗合と改稱
- 三月九日 千住草加乗合(島口與茂作)は東武鐵道に買収
- 四月八日 東横乗合一部路線(大宮八幡—小金井驛、大宮八幡—井ノ頭公園間)は帝都電鐵に合併
- 八月一日 大正自動車は東横乗合に合併
- 八月十六日 板橋乗合は東都乗合と改稱す
- 九月十一日 京北自動車(内藤義晴)は王子電軌に買収
- 十一月七日 小松川乗合は城東電軌に合併
- 十二月廿六日 西武鐵道兼營乗合(荻窪—中野追分間)の路線は東京乗合に於て營業
- 十一年一月一日 渡邊乗合(渡邊敬敏)は京成電軌に買収
- 一月廿四日 王子環状乗合、グット乗合、日比谷乗合合併し東京環状乗合と改稱す
- 八月八日 中仙道乗合は東横乗合の經營となる

六、事業別營業成績

(一) 貸借對照表 (總括表)

昭和十年度末

種別	主體別		市電	私營電鐵	私營乘合自動車 (除電鐵兼營)	合計
	未拂込株金	固定資産				
資	未拂込株金	固定資産	25,190,024	108,309,330	6,692,500	139,991,854
内	建設(興業)費	建設(興業)費	25,190,024	369,876,655	13,499,624	648,566,303
内	軌(鐵)道	軌(鐵)道	20,000,000	328,308,338	13,347,518	561,655,856
内	乘合	乘合	6,733,757	2,893,243,343	1,141,066,111	4,778,043,411
内	供給	供給	4,537,977	3,633,620	3,266,891	11,438,488
内	其他	其他	5,700,000	1,000,000	0	6,700,000
内	假勘定其他	假勘定其他	4,455,778	7,570,267	101,000,000	112,026,045
内	流動資産	流動資産	3,840,000	5,181,123	4,991,500	13,992,623
内	雜勘定	雜勘定	3,840,000	11,033,809	166,400	15,040,209
合計	合計	合計	33,065,927	500,388,866	210,101,121	843,555,914
負	資(内拂込金)	社債	29,547,761	264,300,000	16,652,324	510,500,085
内	社債	社債	29,547,761	264,300,000	16,652,324	510,500,085
内	借入金	借入金	0	137,500,000	0	137,500,000
内	支拂手形	支拂手形	0	3,926,995	1,330,658	5,284,648
内	積立金	積立金	0	6,287,156	2,440,587	8,994,900
合計	合計	合計	29,547,761	411,774,051	18,423,569	559,745,381

備考 各經營主體別は參考表參照

(二) 損益計算

債	其ノ他	前期繰越金	当期利益金	合計
53,442,299	9,011,156	3,050,488	5,882,900	67,386,843
53,442,299	1,293,464	1,917,737	800,366	57,453,866
62,763,455	3,189,915	6,663,326	840,114	73,456,810

電氣軌(鐵)道を主業とする各主體は前記の如く數種の事業を兼營し、以て運輸事業の培養機關たらしめ或は電氣供給、土地營業等を經營し利益金の増加を計り、相當の利益配當を行ひつゝある情態であるが、果して事業別に於ける損益は如何であるか。電氣軌(鐵)道、乗合自動車、電氣供給、其他兼業を四事業に分割し、各事業の損益を検討するに總收入九千六百餘萬圓中軌(鐵)道は五千三百餘萬圓總收入の五割五分を占め、電氣供給は二千百餘萬圓(二割二分)にして之に次ぎ、乗合自動車は千八百餘萬圓(一割九分)、其他兼業は三百五十餘萬圓(四分)である。

建設費に對する收入割合は乗合自動車の七割八分を最高とし、電氣供給二割九分、其他興業一割三分之に次ぎ、電氣軌(鐵)道は最小の一割一分である。又收入に對する經營費割合は乗合自動車七割三分、其他兼業六割八分、電氣供給五割九分、電氣軌(鐵)道五割三分にして乗合自動車は他事業に比し多額の經費を要する譯である。

借入金に對する利子及銷却金を加算した總支出の收入に對する割合は、前に反し電氣軌(鐵)道九割三分が最高にして其他興業九割一分、乗合自動車八割九分、電氣供給七割三分の順次であるが軌(鐵)道の最高たる所以は東京市電氣局の支拂利子が大半(千二百餘萬圓)を占むるに基因する。

從て純利益金に於て經營費の少き電氣供給は總利益金の四割八分を占め如何に好事業なるかを叙實的に表はし、興業費の比較的僅少を以て相當な収入を擧げ得らるゝ乗合自動車は一割八分にして多額の建設費を要する軌(鐵)道の三割より一割二分も少き利益割合である。其他兼業の利益割合四分は事業の本質上大部分は運輸事業の保護或は補足機關たる關係上、當然の事實である。

(イ) 總括表

昭和十年度

種別	收入			支出			損(△)益金	收入對支出割合	收入對支出率
	乘車料又ハ使用料	雜收入	計	經營費	支拂利子	銷却金			
軌(鐵)道	九、二五、二〇〇	三、二二、一五〇	一二、四七、三五〇	二、六〇、〇〇〇	三、七六、九四〇	八〇三、〇〇〇	三、五三、八六〇	五三%	三〇%
電氣供給	一、五〇八、〇〇〇	二、三三、三三三	三、八四一、三三三	三、〇三三、六三三	三、〇三三、六三三	三、〇三三、六三三	五、七四四、六六七	五三%	四八%
乘合自動車	一、二七三、三三三	一、八四六、八三三	三、一二〇、一六六	七、八九、八三三	三、〇三七、九五一	二、〇八七、〇二二	二、〇八七、〇二二	七三%	一八%
其他兼業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	一二、七三三、〇〇〇	五、四〇三、〇〇〇	一八、一三六、〇〇〇	一三、五二一、〇〇〇	一〇、七〇一、〇〇〇	一三、五二一、〇〇〇	四、六一五、〇〇〇	六六%	四四%

備考 支拂利子及銷却金の事業別に不明なるものは各その建設(興業)費により按分す。

(ロ) 各事業別損益計算

(A) 電氣軌(鐵)道事業

(昭和十年度)

主體別	收入			支出					
	乘車料收入	雜收入	計	建設對收入	保存費	電車費	運輸費	總係費	小計
東京市營	一八、四七五、八二七	二、八〇三、七〇四	二一、二七九、五三一	—	二、六〇〇、二二七	一、八七六、二二三	五、〇六六、九〇〇	一、七七八、二九四	二一、八九一、五〇四
京濱電鐵	二、〇四六、六〇〇	二、九三三、七三三	四、九八〇、三三三	—	六〇、六六七	五〇、〇四七	五〇一、七三四	三三〇、三九九	一、三三三、二二七
目蒲電鐵	二、四七九、六〇〇	六三三、六〇七	三、一一三、二〇七	—	二四、一七三	六八、七九三	三〇八、二二九	三三三、〇〇九	一、四〇三、一八四
東横電鐵	一、六四七、一九〇	三七一、〇〇〇	二、〇一八、一九〇	—	一〇三、八六〇	四〇六、五〇〇	二七七、五三三	一六、〇八六	一、〇八〇、三三三
玉川電鐵	一、〇三一、五五八	五一一、四四一	一、五二三、九九九	—	三六、〇八三	四七、九二天	一八、九九五	九五、〇二七	八二五、八〇八
帝都電鐵	四九、二〇三	二〇、四六三	六九、六六六	—	三六、〇〇三	九四、九六六	七三、六三三	二四、八九九	三九、五七〇
小田急鐵道	二、〇五、六九四	四八七、九九五	二、五四三、六八九	—	九四、〇〇〇	五三、六六六	三四〇、一七五	二〇四、五四六	一、四四一、九一〇
京王電軌	一、元一、八四一	七三、〇〇九	一、四四四、八五〇	—	一六〇、二二八	四四、五〇四	二六五、四六〇	八五、〇七一	一、四四一、九一〇
西武鐵道	一、一四、三四一	一四七、八二四	一、六三、一六五	—	三三、七九一	四四、一八二	一八〇、〇四一	一八、〇四五	九九、七六六
武藏野鐵道	八五、五〇〇	二八二、四九二	一、三六、九九二	—	二九、八六三	四七、九八一	三三、三三六	八三、三〇九	八六四、七七八
王子電軌	八〇九、四三三	一一、九四三	八二一、三七〇	—	一五、九二五	四二、九三三	一八、五四四	七四、四六六	六九七、八六三
東武鐵道	三、五九、六一一	三、〇八、八九六	九、〇六、五〇七	—	五九、八四三	二、〇二七、五五五	一、〇二〇、二〇〇	六、九四、六一一	四、三三、二〇三
京成電軌	三、四一五、七三九	一、五二、四九元	三、五六、八二九	—	三三、三三九	五三、四〇八	四、五二、五五五	二〇九、八四一	一、五三、八二九
城東電軌	三、七六、四一七	二七、五五九	四、〇三、九七六	—	一四、四〇九	七六、〇三六	八二、六四四	四三、九四七	二、七〇、五五六
東京地下鐵	一、八七四、四三〇	二五八、三六六	二、一三二、七九六	—	二五、三三〇	一八、三三四	七二、七二六	一、九七、六四四	四、八四、九三三
合計	四、〇〇〇、三三三	九、一三三、〇〇〇	一三、一三三、三三三	—	一、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	九、〇〇〇、〇〇〇	二、六〇〇、〇〇〇

主體別	出		損(△)益金	收入對	
	支拂	銷却金		經營費	收入對
東京市營	13,746,913		△ 3,356,275	56	25
京濱電鐵	5,913,370	7,000,000	7,947,733	44	7
目蒲電鐵	7,213,400		9,876,633	45	6
東横電鐵	36,010,000		576,903	54	6
玉川電鐵	100,911	5,300	113,500	75	9
帝都電鐵	46,533	16,000	3,515	53	9
小田急鐵道	843,273	4,917	253,049	55	9
京王電軌	33,275	7,261	18,255	6	9
西武鐵道	445,341		71,973	71	106
武藏野鐵道	42,776		147,544	76	106
王子電軌	16,257		66,749	80	108
東武鐵道	2,549,961		2,291,344	84	113
京成電軌	827,309	16,400	1,044,610	94	113
城東電軌	62,217	3,000	101,633	95	113
東京地下鐵	846,734		801,131	96	113
合計	110,404,428	10,000,000	3,381,134	56	25

備考 一、東京市營に於ては更改手當の關係を除く外、又經營費には公債取扱費を含め、支拂利子は公債及一時借入金利子とす
 二、私營電鐵に於ては考課狀に發表せざる各事業の支拂利子及銷却金は建設費の割合に依り按分す

(B) 乗合自動車事業

昭和十年年度

經營主體	種別	收		計	支		計	差引損(△)益金	收入對	
		乘車料	雜收入		對興業費	經營費			支拂	銷却金
東京市營	乘車料	5,555,426	1,810,064	5,736,490	85	4,552,588	2,902,233	2,793,257	49	95
京濱電鐵	乘車料	3,599,916	6,703	3,606,619	36	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
目蒲電鐵	乘車料	3,566,657	1,066	3,567,723	91	1,830,811	41,067	1,554,944	55	106
東横電鐵	乘車料	79,650	6,911	86,561	81	5,633	8,983	2,579	69	106
玉川電鐵	乘車料	3,642,266	20,433	3,662,699	95	2,559,950	44,355	61,019	67	106
帝都電鐵	乘車料	189	8	197	3	1,374	235	1,455	67	106
西武電鐵	乘車料	183,488	11,077	194,565	110	2,247	4,580	33,206	67	106
武藏野鐵道	乘車料	78,919	1,857	80,776	67	7,731	3,472	7,006	97	106
王子電軌	乘車料	26,704	3,777	30,481	55	98,733	80,423	24,358	70	106
東武鐵道	乘車料	145,646	14,762	160,408	45	11,513	16,276	14,078	71	106
京成電軌	乘車料	47,913	12,259	60,172	66	33,017	18,591	14,078	71	106
城東電軌	乘車料	6,812	254	7,066	103	4,751	1,937	8,991	68	106
東京市營	乘車料	4,007,865	495,542	4,503,407	23	3,291,191	1,087,033	4,000,000	73	106
日比谷乘合	乘車料	69,693	10,231	79,924	23	4,849,819	6,874	5,779,266	69	106
芝浦乘合	乘車料	33,555	15	33,570	27	2,025,55	2,555	2,777,766	69	106
山ノ手乘合	乘車料	5,137	293	5,430	27	4,930	3,455	8,297	69	106
城東乘合	乘車料	3,487,498	6,668	3,494,166	27	2,637,79	4,476	3,332,555	74	106
ダット乘合	乘車料	2,981,813	13,478	2,995,291	7	2,263,566	3,000	2,566,566	74	106
城南乘合	乘車料	147,911	1,473	149,384	23	1,044,44	96	1,322,55	73	106
合計	乘車料	40,078,65	4,955,542	45,034,07	23	32,911,91	1,087,033	37,992,66	73	106
合計	雜收入	1,810,064	5,736,490	7,546,554	36	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	對興業費	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	經營費	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	支拂	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	銷却金	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	計	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	差引損(△)益金	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	收入對	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106
合計	收入對	85	4,552,588	2,902,233	63	3,704,818	3,437,701	2,936	69	106

種別	收		入		支		出		差引損(△)益金	收入對出割合
	乘車料	雜收入	計	對興業費割合	經營費	支拂子	銷却金	計		
目蒲乗合	二五七,〇〇〇	七五,〇〇〇	三三二,〇〇〇	一七九	一五〇,九三三	一一〇,一三七	六,七〇八	三三〇,九二五	△	八〇,四九九
梅森乗合	七三,三六六	二,三六六	七五,七三二	八三	五〇,五〇六	一七,五三三	一,六六六	七〇,九〇四	△	四,七二六
蒲田乗合	四,六五五	四,八七七	九,五三二	二七	一三,五八八	—	—	一三,五八八	△	三,九八六
目黒自動車	四六,八三六	二七,七八六	七四,六二二	二二	四四,八七六	二,〇〇〇	—	五七,七四八	△	一,四三三
東横乗合	六六,〇〇〇	一五,九七一	八一九,九七一	七三	四三,一〇三	一,〇〇〇	—	八八,八六六	△	六,三三三
日本興業	七三,七五五	一,一九七	七五,九五二	二〇八	四三,七四八	三,六六八	—	九三,三三三	△	五,五三七
甲州街道乗合	二二六,八三〇	七,〇九四	二三三,九二四	一三〇	一八一,八三六	一,六二二	—	二二二,二一四	△	九〇六
關東乗合	一七〇,三〇二	二,八九五	一七二,一九七	二〇〇	一〇〇,一八七	—	—	七二,〇一〇	△	二,六三九
昭和自動車	七三,三六六	—	七三,三六六	一六	六七,九〇八	—	—	六五,四六〇	△	一,八六九
進運乗合	六六,元三	—	六六,元三	五	六〇,四三三	—	—	六〇,四三三	△	一,九九九
小野田乗合	一九,八二〇	—	一九,八二〇	五	一四,三三三	—	—	一五,〇〇〇	△	二,一八一
大正自動車	八七,七二二	—	八七,七二二	三五	五九,九三三	—	—	八四,〇〇〇	△	四,〇四八
中野乗合	一一三,七四四	—	一一三,七四四	一〇一	八四,三四一	—	—	一〇〇,〇〇〇	△	三,七三〇
大泉乗合	三,七九四	—	三,七九四	九	三,三〇〇	—	—	三,三〇〇	△	七四
池袋乗合	二〇三,九六七	—	二〇三,九六七	一三三	一四六,八四〇	—	—	一八三,三三三	△	二〇,五九九
東都乗合	二二七,九九九	—	二二七,九九九	八三	一八一,七四四	—	—	一五〇,〇〇〇	△	一〇,五九九
中仙道乗合	一五三,一五〇	—	一五三,一五〇	四四	一〇二,五五二	—	—	一三〇,〇〇〇	△	九,〇五五
鳩ヶ谷乗合	一九六,七三三	—	一九六,七三三	一八	一七三,六六五	—	—	一八〇,〇〇〇	△	一八,八八六
川口乗合	一一三,一九五	—	一一三,一九五	一五	九三,二七六	—	—	一〇〇,〇〇〇	△	一八,八八六
京北自動車	四〇,二五三	—	四〇,二五三	六	二八,五七八	—	—	二四,〇〇〇	△	四,九八八
王子環状乗合	一七,七六六	—	一七,七六六	五	一〇,七六三	—	—	九,〇〇〇	△	二,〇五五
計	一,五〇六	一,五〇六	三,〇一三	五〇	一,九七三	—	—	一,九七三	△	五五,三九六

京水モーターバス	一八六,五五三	—	一八六,五五三	八	一六,五〇六	—	—	一七〇,〇五九	△	一六,九五五
千住草加乗合	二四,四二一	—	二四,四二一	一八一	二〇,三二六	—	—	二四,〇〇〇	△	三,〇九八
花畑乗合	四三,五五五	—	四三,五五五	五五	三七,二九六	—	—	三,四〇〇	△	二,〇七六
越ヶ谷乗合	六,七六六	—	六,七六六	一〇一	六,〇〇〇	—	—	六,七五五	△	〇
渡邊乗合	七五,七一	—	七五,七一	一〇二	六,〇〇〇	—	—	七三,〇〇〇	△	八一五
葛飾乗合	九,八二〇	—	九,八二〇	三〇三	七,〇九五	—	—	六,六〇〇	△	七〇七
東武自動車	八,三三六	—	八,三三六	六	七,〇五七	—	—	八,四四三	△	二,三八六
計	一,四一四,〇〇〇	—	一,四一四,〇〇〇	一,四一四	一,一〇二,〇〇〇	—	—	一,一〇二,〇〇〇	△	三〇,〇〇〇

(備考) 東京横濱電鐵株式會社兼營の自動車は大東京市内に路線を有せざるも便宜上掲上する事とせり
 帝都電鐵は二二七日分(開業當日より) 京北自動車、千住草加乗合は昭和十年上期分 大正自動車は二四四日分
 昭和自動車は昭和十年下期より推計す

(C) 電氣供給事業

昭和十年 度

種別	收		入		支		出		損(△)益金	收入對出割合
	電灯電力	雜收入	計	對建設費割合	經營費	支拂利子	銷却金	計		
東京市營	九,四七七,〇八五	一,三四〇,〇〇〇	一〇,八一七,〇八五	二〇	六,三三三,四四一	—	—	八,三三七,七五七	△	二,四八〇,三二八
目蒲電鐵	一〇,七五五	二,七三三	一三,四八八	六〇	九,一八〇	—	—	五,五五七	△	五,九二七
玉川電鐵	一,六三二,一六九	四〇,一四四	一,七七二,三一三	三〇	九五,〇一八	—	—	一,八六七,三三一	△	五,八六〇
京王電軌	二,二八,六九七	六,三三五	二,八二〇,〇三二	五	一,三三二,二七	—	—	二,二二九,〇〇〇	△	七,七九六
武藏野鐵道	六,〇五五	—	六,〇五五	元	三〇,三三三	—	—	三,二四四	△	四,八一〇
王子電軌	四,五五一,九五五	七〇,二二四	四,六二一,一七九	四	二,五三三,八三三	—	—	二,九七六,九三三	△	一,四四三,二四三
京成電軌	一,七二七,七三三	三三,七三三	一,七六一,四六六	四	九八五,三三〇	—	—	一,二八八,六〇〇	△	四〇,八八五
計	一,九八六,四三三	一,四一四,〇〇〇	三,四〇〇,四三三	二二	一,一三三,一八〇	—	—	一,二八八,六〇〇	△	五,七四三,七三七

(D) 其他兼營事業

昭和十年度

六〇

經營主體	種別	收入		支出		損(△)益金	收入對 經營費 合計	支出對 收入對 合計
		收入	對建設 費割合	經營費	支拂利子 銷却金			
目蒲電鐵	電鐵	九〇三、一八四	二六	二九〇、二九三	一〇、九二六	三三三、二六	三三三、三五	三三
東橫電鐵	電鐵	一、四三三、六三三	二七	九三三、五〇五	三六五、七二	七二、二九四	一、三二二、七〇	三三
玉川電鐵	電鐵	二九、二〇三	二	一七、三三六	四、八九六	六、五〇〇	六、七三	六
帝都電鐵	電鐵	四、七七七	八	一、一〇四	三、三三五	二、二〇〇	六、六九	三
小田急鐵道	鐵道	九、五五三	一	三、五七三	七、五五一	一、〇六三	一、〇六三	一〇七
京王電軌	電軌	六〇、一七一	三	九、五五三	五、五五五	一、九三六	六、四八八	二六
西武鐵道	鐵道	四、九七七	〇	四、七三六	六、八七〇	五、一四六	三、三二九	一三
王子電軌	電軌	一九、三六四	一	一、四〇九	五、一〇〇	六、五〇〇	六、四八五	七
京成電軌	電軌	二七〇、六六七	九	五五、四二二	一、二〇〇	六、三三三	二〇、二四六	二
城東電軌	電軌	四、一〇四	三	一〇、七三五	一、二、三、七	五、二〇〇	二、七、三三	二
東京地下鐵	鐵道	六五、七二二	一三六	三五、二〇五	一、三五七	二、三〇〇	四、四、四〇	九
計		三、三、〇〇、〇〇〇	一、一、八、一、七、九	一、一、八、一、七、九	三、九、九、一、五	一、〇、一、一、一、一	三、三、三、三、三	六

七、運輸成績

(一) 省電 (東鐵管内)

昭和十年度

旅客營業料 (期末)	電車	電車料	旅客 送人員	旅 人	一人平均 電車運賃	一人平均 電車運賃
二四、四	四五、五、五	一〇、四、四、四	四、七、六、七、一、六	四、八、四、七、八、〇、四、〇	一〇、四	三、六、一、九、五、三、七
	(二、三、六〇〇)	(一、一、七、七、六、六)	(三、七、七、一、九)	(九、八、八、九、五)	七、七	七、七

(備考) 括弧内數字は一日平均を示す

省電線別一人平均乘車料並一人平均乘車料及營業料

種別	線別	定期券		定期券		定期券		定期券		定期券	
		計	外計	計	外計	計	外計	計	外計	計	外計
一人平均乘車料	東海道線	九、三	一、一三	八、二	七、四	五、八	五、一	四、九	五、一	五、七	五、五
一人平均乘車料	中央線	三、五	一、四六	三、一	八、六	一、九	七、八	二、六	八、三	二、二	八、一
一人平均乘車料	東北線	三、五	一、四六	三、一	八、六	一、九	七、八	二、六	八、三	二、二	八、一
一人平均乘車料	山手線	三、五	一、四六	三、一	八、六	一、九	七、八	二、六	八、三	二、二	八、一
一人平均乘車料	總武線	三、五	一、四六	三、一	八、六	一、九	七、八	二、六	八、三	二、二	八、一
一人平均乘車料	全線	三、五	一、四六	三、一	八、六	一、九	七、八	二、六	八、三	二、二	八、一

(備考) 東鐵管内中横濱線、横須賀線を除く

(二) 電氣軌(鐵)道事業

其一 總計

昭和十年度

經營主體	種別	營業路線		在籍車輛		運轉車數		運轉料數		乘車人員		乘車料收入		使用電力量	
		長百長	長百長	台	台	台	台	人	人	円	円	KWH	KWH		
東京市營	電鐵	一、七〇	一、三三	一、三三七	三、八、三、〇、二	六、八、三、〇、二	二、九、四、一、九、七、五	一、八、四、七、五、八	九、四、〇、八、四、五、〇						
京濱電鐵	電鐵	三、三九	七	一、三、七	三、三、一、〇〇	五、三、三、一、三、六	四、一、四、八、三、〇、三、五	二、四、七、〇、六、八	一、三、七、六、二、九、五						
目蒲電鐵	電鐵	三、四、五	三	七	一、七、〇、〇、九	四、九、六、一、〇、三、六	五、六、四、三、七、五	二、四、六、七、一、一	一、〇、七、〇、〇、一、八						
東横電鐵	電鐵	二、六三	四	四	一、一、七、八、五	三、九、二、五、二、四、七	二、三、二、五、四、二、八	一、六、四、三、六、七、三	一、〇、〇、一、七、三、八						

六一

種別	營業路線長(港長)	在籍車輛	運轉車數	運轉料數	乗客數	乗車料收入	使用電力量	
								長
玉川電鐵	三・三七	六六	一五、三〇七	三、九三、六七〇	一八、二〇五、三九九	一、〇三、五五八	六、七九、六四四	
帝都電鐵	三・三八	二二	四、七五五	八四八、〇六四	八、六九三、六七六	四一九、一八〇	二、三二、五四〇	
小田急鐵道	一・〇一	七六	一八、二二六	四、六三、五〇一	一七、三五五、一三五	二、〇三、四六四	二、〇三、四六四	
京王電軌	四・五八	九一	一九、〇〇三	四、四一七、四六六	二、七一九、四三二	一、三九一、八四一	九、九〇〇、〇七九	
西武鐵道	八・四七	八三	一五、七三五	六、一九七、二六六	一六、八二六、三七三	一、四四三、四四一	六、五四九、二八一	
武藏野鐵道	三・三七	三六	二、〇〇六	五、二八五、五〇九	一〇、五四七、九四三	八四四、三三六	四、五〇一、八七〇	
王子電軌	一・六五	九三	九、八五六	三、〇三三、八四七	一五、一八三、二二六	七八二、六九四	三、三五六、七九	
東武鐵道	三・六九	二七	三、一九九	一、四九〇、六二四	三、五七九、四二五	五、五五九、六一	三、三五六、七九	
京成電軌	八・三九	一〇三	二、二九三	七、九一七、七六〇	二四、七二四、二九六	三、四一五、七三九	三、三五六、七九	
東京電軌	一・二二	六	六、五三三	一、三三三、〇三九	八、八八元、四五六	三七六、四一七	一、九〇六、七〇	
城東電軌	一・二二	五	八、四二八	二、二〇二、九一〇	二八、九五六、九三〇	一、八四四、四三〇	五、一五三、七〇	
東京地下鐵	八・〇	五四	五七、九九九	一、三〇、八四三、六二六	六〇九、九九四、八三三	四三、九八、一三一	二、三、五八、一六六	
計	一、一四〇、〇	二、二四〇	一、一四〇、〇	五七、九九九	一、三〇、八四三、六二六	六〇九、九九四、八三三	四三、九八、一三一	二、三、五八、一六六

(備考) 運轉車數及運轉料數は實數なり

其二 單價當り

經營主體名	種別	一日平均			一車當		
		運轉料數	乗車人員	乗車料收入	經營費	電力量	一人當
東武鐵道	電軌	一七、八六九	八〇三、七七一	五、〇四〇	二、七〇、〇六二	一、四七九	六・三
京成電軌	電軌	一四、六〇六	一三、六五三	六、七三三	三、七〇、七〇七	四六・一	五・九
東京電軌	電軌	一三、五九五	一五、四六三	六、七六六	二九、四八〇	四七・七	四・四
東武鐵道	鐵道	一六、九七三	五九、五五	三、三二八	一、七、九四三	二、二四二	七・一
西武鐵道	鐵道	一四、四八一	二六、八九六	二、三三三	一、四、四九	一、〇五七	六・四
武藏野鐵道	鐵道	四、九六一	四、一九八	一、五二二	一、三、三三	一、四七四	五・二
王子電軌	電軌	八、三六七	四、一九八	二、一四四	一、三、三三	一、四七四	五・二
東武鐵道	鐵道	四、九六一	四、一九八	一、五二二	一、三、三三	一、四七四	五・二
京成電軌	電軌	二二、六九二	六七、七〇	九、三三八	六、〇七七	一、九三三	三・八
城東電軌	電軌	三、七〇四	二四、一八八	一、〇三一	五、三三四	一、六一	四・三
東京地下鐵	鐵道	六、〇三四	七、三三四	五、一三三	一、四、一一〇	二、三四〇	六・五
計		一、一四〇、〇	一、一四〇、〇	一、一四〇、〇	一、一四〇、〇	一、一四〇、〇	一、一四〇、〇

(三) 乗合自動車事業 其一 總計

昭和十年 度

經營主體	種別	路線長	在籍車輛	運轉車數	運轉料數	乗車人員	乗車料收入	ガソリン使用量
東武鐵道	電軌	一六・五	九三五	二六、七〇六	三、九〇六、〇三三	七九、一九二、三四八	五、五五五、四三六	一三、三三九、三〇六
京成電軌	電軌	四・三	六〇	一三、二五七	三、四四四、六三二	四、〇四三、〇〇三	三、五九、九八	九七、八八
日蒲電鐵	電鐵	二〇・〇	四	一四、六八七	二、〇三三、四七	六、三七五、〇〇七	三、五六、六五七	三、八〇、九九
東横電鐵	電鐵	三・九	一六	四、七三六	八四五、一〇三	一、〇一八、〇六六	九、六五〇	一、六二、七六
玉川電鐵	電鐵	七・二	六	三、九七七	三、九三二、四八四	五、一三七、六三七	三、六四、二六六	七、五九、七三
計								

種別	路線長	在籍車輛	運轉車數	運轉軒數	乗車人員	乗車料收入	ガソリン使用量
帝都電鐵	一四・〇	二台	三三	一八、四七五	三、八一九	一八九	三、三三一
西武鐵道	三・八	三五	九、五八	一、六七、三八〇	二、八五、三五	一八三、四〇八	四、六五、〇三
武蔵野鐵道	二四・八	二二	七、四三七	一、二四、七九	五、〇、四〇六	七、九三九	一、九四、九二
王子電軌	一九・二	二六	四、八〇三	九五、二六	二、四八、一六八	一、三六、七〇四	二、五、九四七
東武鐵道	一三・七	三三	一〇、六一四	一、七五、八〇〇	一、三九、七〇六	一、四九、六五四	四、〇、五三
京成電軌	一〇・一	八	三、四五六	四、四九、二六一	六、六六、三五	四、五七、九三	九、〇、三六
東電軌	一五・七	一四	四、〇〇九	七九、〇九八	一、五五、五〇八	六、八八三	一、〇、〇八
城東電軌	四九・四	四七	一四、九三	二、五、七五、九七五	六、七、〇三〇、四一九	四、〇七、八六五	六、二九、三六
東比谷乘合	一三・〇	五	一六、九四	三、六四、六〇〇	一、三〇、一、四九七	六、九、六九二	一、〇、六三、九七六
芝浦乘合	四・五	七	二、一九〇	二、七、一、五五	五〇〇、三七三	三、五、五五	五、九、〇三
山ノ手乘合	四・一	二	二、九八	五、八、七六一	一、二、一、七三九	五、一、一七	一〇、六、二四
城東乘合	八・八	元	六、五四	一、九、一、五、六七三	五、九、五三、九四一	三、四、七、四八	五、〇、三九
グツト乘合	九・九	三〇	八、九四三	一、七、三、九、六七	五、六、五、〇、九四	二、九、八、一、八二	四、四、六、九五
城南乘合	五・六	二七	四、七四五	九、二、五、三、六一	二、六、三、一、九六五	一、四、七、九一	二、六、二、六二
目蒲乘合	九・三	元	九、九四六	一、四、五、〇、七六	四、七、五、三、九六	二、五、七、〇、四	二、四、〇、八三
梅森乘合	四・二	一〇	二、九二八	五、六、六、三、三四	一、三、五、六、七四	七、三、三、六六	二、五、〇、五五
蒲田乘合	七・三	五	一、四六〇	二、六、六、三、〇四	八、四、六、七二	四、六、五五	三、〇、四、八〇
日黒自動車	一六・三	四	一、五、六、〇、五	三、〇、七、六、五、〇	八、七、三、〇、三二	四、八、八、三、六	七、六、〇、四、五
東横乘合	三・一	八	二、六三八	四、九、四、七、九六	一、一、七、六、一、九六〇	六、八、一、四、六八	八、八、〇、三
日本興業	四・六	三	三、四七三	五、五、一、一、六	一、五、七、六、〇、二七	七、三、五、七五	一、四、九、三、四九
甲州街道乘合	三六・六	元	一〇、八七四	二、〇、九、九、七	三、六、三、二、六三	二、三、八、三、〇	四、七、一、八、三

種別	路線長	在籍車輛	運轉車數	運轉軒數	乗車人員	乗車料收入	ガソリン使用量
關東乘合	三・五	一五	四、四四五	八、七、六、五、八	二、九、七、一、三、八	一、七、〇、三、四、一	二、四、六、六、四
昭和自動車	二・六	一一	三、六五〇	六、六、一、七、一七	一、六、五、〇、七、九	七、二、一、六九	一、六、三、五、三〇
進運乘合	三・二	一五	四、八〇八	一、一、六、八、四、〇〇	一、一、四、四、七、二〇	六、八、九、九二	四、七、六、九、六
小野田乘合	三・八	四	一、四六〇	一、一、六、八、〇〇	三、六、一、三、四、七	一、九、八、八〇	四、七、六、九、六
大正自動車	八・三	一五	三、四一〇	八、六、三、七、〇七	一、四、九、四、九、八九	八、七、七、七一	一、八、八、二、四、五
中野乘合	三・三	二	三、六五	五、九、三、三、三	三、七、五、〇、八	三、七、九、四	八、二、九、〇
池袋乘合	三・八	三二	八、三三五	一、三、七、三、一、四七	四、〇、六、六、〇、九八	二、〇、二、九、六、七	四、九、〇、三、一〇
東都乘合	一七・九	三三	一〇、〇四三	一、八、五、五、四、一	四、〇、三、一、二、六五	三、七、九、九	三、三、一、九、八二
中仙道乘合	二七・六	三〇	七、四八三	一、三、〇、九、三、三〇	二、一、七、六、二、八七	一、三、五、五、四	三、三、一、九、八二
鳩ヶ谷乘合	一〇・八	六	一、一、七、四	一、一、六、六、三、二〇	二、〇、七、七、八、二二	一、九、六、七、三三	一、九、六、七、三三
川口乘合	三・六	三三	六、八四一	一、〇、〇、六、一、五、四	一、六、〇、五、五、六一	一、一、三、九、五五	六、六、一、三、八
京北自動車	二・四	一一	一、五、七九	二、八、四、一、三三	四、四、二、八、六、六	四、〇、一、五、三	六、六、一、三、八
王子環狀乘合	九・八	二八	五、五〇九	一、一、七、七、七、三	三、三、三、〇、三三	一、七、七、七、六八	二、四、九、〇、七
京水11ターパス	三・六	三三	六、七〇〇	一、八、九、五、八、一三	三、五、四、九、一、八三	一、六、五、五、三	三、五、七、三、七八
千住草加乘合	一〇・三	二	一、〇、八九	二、五、三、九、八〇	二、二、五、四、九、五	二、四、三、四、一	一、〇、八、一、〇八
花畑乘合	二八・〇	三三	三、〇九六	五、七、三、一、六八	四、〇、七、八、五、八	四、三、五、三、五	一、〇、八、一、〇八
越ヶ谷乘合	一〇・七	三三	六、〇〇五	九、八、六、二、八八	三、四、八、七、九	六、一、七、一、六	二、〇、六、六、七六
渡邊乘合	三三・〇	三三	三、三〇〇	四、六、七、六、四、〇	六、六、五、六、二〇	七、五、七、一一	二、〇、六、六、七六
葛飾乘合	五〇・六	三〇	六、七五一	八、七、四、二、四〇	六、九、三、〇、九八	七、八、八、一〇	一、九、六、三、七三
東武自動車	三・七	三	九、九	二、四、一、七、〇	一、四、八、二、八八	八、三、七	二、一、〇、一、六
合計	一、一、四、一、〇、〇	一、一、四、一、〇、〇	一、一、四、一、〇、〇	一、一、四、一、〇、〇	一、一、四、一、〇、〇	一、一、四、一、〇、〇	一、一、四、一、〇、〇

備考 東武鐵道のガソリン使用量は推算
 帝都電鐵は二三七分(開業當日より)
 京北自動車、千住草加乗合は十年上期分
 大正自動車は二四四日分
 其の二一日平均

種別	經營主體	運轉車數	運轉軒數	乗車人員	乗車料收入	ガソリン使用量
東武	東武鐵道	七四台	一〇六、六九軒	二六、三七一	一五、一九四	三、一六八
京市	京市電鐵	三六	九、六一	二、〇七七	九八六	二、五四三
日濱	日濱電鐵	四〇	五、六六	一七、四六六	九七七	一、九四三
東横	東横電鐵	三三	二、三六	二、七八九	二二八	四四六
玉川	玉川電鐵	六	一〇、九四八	一四、〇七六	九九八	二、〇二七
帝都	帝都電鐵	一	七六	一六	一	一四
西武	西武鐵道	六	四、九三	七、八三二	五〇三	一、二七四
武藏野	武藏野鐵道	二〇	三、三六	一、五〇八	二二六	五三四
王子	王子電鐵	三	二、六二	六、六五三	三九五	五九二
東武	東武電鐵	元	四、七七	三、八二六	三九八	一、三三一
京成	京成電軌	二	一、九七〇	一、三三九	一、三五	二、五三三
東武	東武電軌	二	七、三九〇	一、八、三四	一、七六	三、八四
芝浦	芝浦乘合	四	一〇、〇四〇	三、七〇三	一、〇七	一七、一〇一
日比谷	日比谷乘合	四	七四三	一、三七一	六三	二、九一五
山ノ手	山ノ手乘合	八	一、四二二	三、〇七六	一五四	一六三
城東	城東乘合	六	五、二四八	一六、三〇九	九五五	一、四五三

種別	經營主體	運轉車數	運轉軒數	乗車人員	乗車料收入	ガソリン使用量
ダツト	ダツト乗合	二六	四、七五二	一五、四八八	八一七	一、二四〇
城南	城南乘合	三三	二、五三五	七、三二二	四〇五	六〇〇
目蒲	目蒲乘合	七	四、〇九六	二、八八一	七〇七	六六〇
梅森	梅森乘合	八	一、五五二	三、三五八	二〇二	三四三
目黒	目黒自働車	四	七元	三三	一三	八四
東横	東横乘合	七	八、四三五	二四、〇三三	一、一七五	二、〇八五
日本	日本乘業	〇	一、五二〇	三、三二五	一、八六七	二、二四一
甲州	甲州街道乘合	三〇	五、五九九	九、九五三	六五四	一、二九三
關東	關東乘合	三	二、四〇五	八、一四〇	四七	五八八
昭進	昭進自働車	〇	一、八二三	四、五三三	一九八	一
進野	進野乘合	三	三、一〇一	三、一九一	一八七	四八
小野	小野自働車	四	三、一〇	九九〇	五四	一三二
大正	大正自働車	四	三、五四〇	六、二二七	三六〇	七二
中野	中野乘合	三	二、一九五	四、九六七	三三	五六
大泉	大泉乘合	一	一六三	一〇	一〇	三三
池袋	池袋乘合	三	三、七六二	一一、四〇〇	五五六	一、三四三
東都	東都乘合	三	五、〇七八	一一、〇四七	六五	一、三〇
中仙	中仙乘合	二	三、五八七	五、九六二	三七一	九一〇
鳩ヶ谷	鳩ヶ谷乘合	三	三、一九五	五、六九三	五五九	一
川口	川口乘合	三	二、七七七	四、三九九	三二〇	一
京北	京北自働車	九	一、五六二	二、四三三	三三	三七四
王子	王子環狀乘合	五	三、三五	八、八五八	四八七	六三

種別	經營主體	平均一人當り 乗車料收入	乗車人員	乗車料收入	經營費	ガソリン 使用量	ガソリン 立 當り運轉料數
武藏野鐵道	王子鐵道	一四・三	〇・五	六・五	六・五	〇・一六	六・三
東武鐵道	東武鐵道	一〇・四	二・五	一四・三	一〇・四	〇・三三	四・四一
京成電氣	京成電氣	六・八	一・五	八・三	六・四	〇・二六	三・八九
東武電氣	東武電氣	六・〇	二・二	九・〇	七・四	〇・〇〇	四・八八
日比谷乘合	日比谷乘合	五・四	三・四	一七・九	二・二	〇・二四	五・一四
芝浦乘合	芝浦乘合	四・五	一・八	八・三	七・五	〇・〇三	四・五七
山ノ手乘合	山ノ手乘合	五・〇	二・二	一〇・八	八・五	〇・〇〇	四・八九
城東乘合	城東乘合	五・九	三・一	一八・二	一三・八	〇・〇六	三・六二
グット乘合	グット乘合	五・三	三・三	一七・二	一三・一	〇・二天	三・六二
城南乘合	城南乘合	五・六	二・八	一六・〇	一・七	〇・二四	四・〇九
目黒乘合	目黒乘合	五・五	三・一	一七・〇	一〇・二	〇・二六	六・二二
蒲田乘合	蒲田乘合	六・〇	二・二	一三・〇	八・九	〇・〇三	四・五三
梅田乘合	梅田乘合	五・五	〇・三	一・七	五・一	〇・〇一	八・七三
東横乘合	東横乘合	四・九	二・八	三・九	一四・五	〇・二五	四・〇五
日本乘合	日本乘合	四・七	二・四	三・八	八・三	〇・〇七	六・〇五
甲州乘合	甲州乘合	六・六	一・八	一・七	一・四	〇・〇三	三・六九
關東乘合	關東乘合	五・七	三・四	一・九	一四・八	〇・〇四	四・三三
昭和三乘	昭和三乘	四・四	二・五	一〇・九	一・〇	〇・〇四	四・〇八
進野乘合	進野乘合	五・九	〇・九	五・八	五・七	〇・一四	七・一四
小野乘合	小野乘合	五・五	三・二	一七・〇	六・九	〇・四一	二・四五

六九

種別	經營主體	運轉車數	運轉料數	乗車人員	乗車料收入	經營費	ガソリン 使用量	ガソリン 立 當り運轉料數
京水モーターバス	京水モーターバス	一八台	五・九四	九・七四	五・二	五・二	九・九	九・九
千住草加乘合	千住草加乘合	六	一・六八	一・七三	一・五	一・五	二・九	二・九
花畑乘合	花畑乘合	八	一・七一	一・七四	一・九	一・九	一・九	一・九
越ヶ谷乘合	越ヶ谷乘合	七	二・七〇	九・五	一・九	一・九	一・九	一・九
渡邊乘合	渡邊乘合	九	一・八一	一・八二	一・八	一・八	一・八	一・八
葛飾乘合	葛飾乘合	二	二・九五	一・八九	一・八	一・八	一・八	一・八
東武自動車	東武自動車	二	三・四二	四・〇六	四・〇	四・〇	四・〇	四・〇
合計	合計	二九	三三・七六	七四・四四	四一・〇三	三六・〇	八四・五三	八四・五三

其の三單位當り

六八

經營主體	種別	平均一人當り 乗車料收入	一車		料		ガソリン 使用量	ガソリン 立
			乗車人員	乗車料收入	經營費	立		
大正自動車	乗合	五・九	一・七	一〇・二	一三・九	〇・三	四・六	
中野乗合	乗合	六・三	二・三	一四・二	一〇・五	〇・二	四・七	
大泉乗合	乗合	一〇・二	〇・六	六・三	五・三	〇・二	七・六	
池袋乗合	乗合	五・〇	三・〇	一四・八	一〇・七	〇・二	七・六	
東都乗合	乗合	五・七	二・二	一三・三	九・八	〇・二	三・六	
中仙道乗合	乗合	六・三	一・七	一〇・三	九・九	〇・三	三・六	
鳩ヶ谷乗合	乗合	九・五	一・八	一六・九	一四・八	〇・三	三・六	
川口乗合	乗合	七・一	一・六	一四・二	九・三	〇・四	四・八	
京北自動車	乗合	九・一	一・一	一四・二	一〇・〇	〇・四	四・八	
王子環状乗合	乗合	五・五	二・七	一五・一	九・三	〇・二	四・八	
京水モーターバス	乗合	五・三	一・九	九・八	七・二	〇・二	四・八	
千住草加乗合	乗合	二・三	〇・九	九・六	八・〇	〇・二	五・三	
花畑乗合	乗合	一〇・七	〇・七	七・六	六・五	〇・九	五・三	
越ヶ谷乗合	乗合	一七・七	〇・四	六・三	六・九	〇・四	二・六	
渡邊乗合	乗合	一・四	〇・四	一・三	一・三	〇・四	二・六	
葛飾乗合	乗合	一・四	〇・八	九・一	八・〇	〇・三	四・五	
東武自動車	乗合	五・七	一・二	六・七	五・六	〇・七	五・九	
計		六・三	二・二	一五・七	一三・七	〇・五	四・八	

(四) 電気供給事業

昭和十年 度

項目	電		燈		電		力	
	點火戸數	同上燈數	點火戸數	設備燈數	電灯料	使用戸數	KW數	同上Kw數
東 京 市 電	一四八、四八	一、三三三	八・二	一、四三三	六、三三三	九、八〇〇	四、七六六	三、三三三
目 蒲 電 鐵	一、四三	二六、一七	一・四	二七、八三	九、八六三	三、〇〇〇	三、七九七	一、七〇八
玉 川 電 鐵	五、〇六	二七、四七〇	五・四	三、四九九	一、二九、九二	一、五七	三、一九六	三、九三、一八
京 王 電 軌	五、一四	三〇、八九一	五・八	三、七、九三	一、四一、五九	一、六三	七、二九七	八〇三、一八
王 子 電 軌	九、五八	四〇、六四六	四・〇	五〇、九四四	二、六〇、七五	四、八四七	一、七、七三	一、七二、九〇〇
武 藏 野 電 鐵	一、〇三	一、六九	一・六	二、一〇五	一、三、三四八	一、九	五、四八	三、一、九三
京 成 電 軌	三、七、五九	二九、四六三	三・四	一、五八、二〇五	九、七、九六一	三、五八	五、九三、二	五、四、一九八

備考 京成電軌ハ昭和九年度

八、タ ク シ ー

タクシーの持つ特種性はよく市民生活に合致し其の出現の遅きにも拘らず累年其數を増進して行つた。偶々大正十二年の關東震災により市内の主要交通機關たる市營電車が殆んど壊滅の状態に立至るや應急の交通機關として自動車の需要は急激に増加して従て本事業の躍進に更に拍車をかける所となつた。

元來本業の特長は少額の資金を以て且極めて簡易安直に開業し得る點にあり従て是れを他の交通機關に比するに其の發達は迅速である。然し乍らタクシー業の斯かる發展の裏面には劇甚なる競走による料金低下に伴ふ經營の苦惱が包蔵されてゐた事は看逃す事の出来ない事實である。

寧ろ泡和點に達したと言つてもよいタクシーは昭和七年十月警視廳に於て車臺數の制限を命じ其後の新規營業を認めないにも拘らず其臺數は現在一一、九四〇臺の多きに上り之れを大阪市の二、三〇〇臺に比すると人口、面積の割合よ

り言つても二倍に達してゐる。種々の観点よりタクシーの制限が叫ばれてゐるのも理由なき事ではない。
 タクシー制限の目的は多々あるが経営上の立場より言へば競走の緩和を計ると共に収入の増加を期待せんとするものである。

企業形態より見たタクシー業は全体の九八%五が個人営業にして其所有臺数は九五%六に達してゐる。更に其の所有臺數別營業主を見るに全體の七一%六に當るものが一臺の所有者である。大阪市のタクシーが十一主體を以て六五%を占めてゐるのに比すると雲泥の差である。

タクシーの一日平均の収入はハイヤー十一圓二錢ナガシ十五圓四十三錢兼用十三圓九十五錢で平均十三圓九十二錢に過ぎない。然も平均走行哩は一六二哩二に及んでゐる。

右の如きタクシーの窮状は單にタクシー業のみの問題ではない。之れが対策は目下緊喫の重大社會問題であると言ふも決して過言ではない。

(一) タクシー臺數

東京市統計年報ニ依ル

種別	昭和元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年
全市域	4,333	6,106	7,893	8,893	10,180	10,993	11,955	11,940		
同指數	100	143	182	203	233	251	276	276		
舊市域	2,557	3,473	5,066	6,250	6,607	7,444	8,052	7,815	7,699	
同指數	100	134	198	244	258	293	313	305	301	
新市域			1,010	1,643	2,285	2,736	2,941	4,138	4,241	
同指數			100	162	226	268	294	413	424	

備考 昭和七年十月タクシーの臺數制限實施

(二) タクシー乗客數

種別	昭和元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年
乗客數	18,751,000人	34,081,000人	55,047,000人	89,966,000人	95,113,000人	100,333,000人	100,333,000人			
同指數	100	181	293	475	508	535	535			
種別	七	八	九	十						
乗客數	13,187,000人	15,075,000人	17,975,000人	20,854,000人	21,111					
同指數	100	114	136	158	160					

(三) 企業形態より見た營業主並臺數

(イ) 實數

市統計課調査

市域別	種別		會社						計
	主營業	臺數	個人	合名會社	合資會社	株式會社	營業主數		
全市域	7,337	11,500台	7,277	10,905台	4	20	74	333台	3,000台
舊市域	4,653	7,533	4,571	7,006	1	4	45	203台	2,688台
新市域	2,684	4,067	2,706	3,899	3	16	29	100台	475台

(ロ) 同指數

市域別	種別	營業主並臺數		
		總數	個人	會社
全市域		100	99.4	0.6
舊市域		100	99.3	0.7
新市域		100	99.5	0.5

(四) 營業主並臺數

市統計課調査

市域別	種別	營業主		車臺數	
		營業主	車臺數	營業主	車臺數
全市域	六臺	25	25	100	100
舊市域	七臺	27	27	100	100
新市域	八臺	27	27	100	100
全市域	九臺	33	33	100	100
舊市域	十臺	38	38	100	100
新市域	十一臺以上	55	55	100	100

(イ) 實數

市統計課調査

市域別	種別	營業主並臺數										
		總數	一臺	二臺	三臺	四臺	五臺	六臺	七臺	八臺	九臺	十臺
全市域		100	77.3	15.3	6.0	3.3	1.4	0.6	0.2	0.2	0.1	0.3
舊市域		100	77.6	14.3	5.8	3.3	1.7	0.8	0.5	0.2	0.3	0.4
新市域		100	77.6	17.1	6.3	3.1	0.8	0.3	0.2	0.3	0.0	0.3

(五) 營業種別より見た一臺當運輸成績

市統計課調査

市域別	種別	市統計課調査										
		回數	人員	料金收入	總走行哩	盈車哩	空車哩	ガソリン	オイル			
全市域		250	52.5	13.93	123.3	103.5	59.8	10.0	0.3			
舊市域		250	52.5	13.93	123.3	103.5	59.8	10.0	0.3			
新市域		250	52.5	13.93	123.3	103.5	59.8	10.0	0.3			

(註) A 普通營業のみの車
B 遠出貨切を含む車

(六) 營業種別より見た一回當運輸成績

種別	乗車人員	乗車料金	實車哩	乗客一人當料金
總平均	二・二人	五・七	四・一	二・六
ハイヤー	一九	一七・四	五・五	七・七
タクシー	二・二	四・五	三・九	二・四
兼用	二・二	五・九	四・一	二・四

九、小型自動車

小型自動車とは昭和八年八月十八日内務省令第二十三號自動車取締令を以て新たに制定された名稱にして、従て同自動車の臺數は昭和八年以後のもののみ分離して計上され其以前は特種自動車に總括して掲げられてゐる。最近五ヶ年の推移を示せば次の通りである。

小型自動車の發達も亦著しく、殊に最近之れが營業用化が叫ばれてゐるとき其の歸趨如何は別としても大いに將來を約束されてゐると言つてよい。

(一) 特種自動車

内務省警保局調

年別	サイド	オート	其他	自轉車	オート	オート	自電	其他	計
昭和五年	九七七	三	一六	二、二	一〇五	五	三	一八	四、四
昭和六年	一、〇〇四	三	一〇	二、二	一〇五	五	三	一八	四、四
昭和七年	一、五四五	三	七	二、三	一〇五	五	三	一八	六、二

(二) 小型自動車

年別	四輪乗用車	自動自轉車	側車自動自轉車	自動三輪車	其他	計
昭和八年	四	二、一四三	五〇三	二、八五五	一、四〇六	六、九〇一
昭和九年	三	一、八四六	三〇七	七、三三二	一、四〇六	九、九〇一

十、定期遊覽並大型貸切自動車

遊覽及大型貸切自動車の發達も亦顯著なるものがあり最近既設交通機關の分野に於て隆んにこれが對策が問題視されてゐる。

殊に大型貸切自動車への批難は著しいものがある。然し乍らこれ等の叫びにも拘らず斯業の分野は次第に擴大されて行く傾向にある。現在營業をなすものゝ一覽を示せば次の如くである。

(一) 定期遊覽自動車

昭和九年度

一、運輸成績

經營主體	營業所	興業費	車籍數	人乘別	使用延車輛數	運轉料數	乗車入料	營業開始年月日
東京乗合自動車株式會社	下谷區北稻荷町一〇	八三、五五九	一八	二十六人乗	五、九〇	五六、二四二	七元・九一	大正一四、二、一五
東京遊覽自動車株式會社	淀橋區角筈一丁目七六七	三、七〇五	四	二十六人乗 二十五人乗	四二五	三六、七〇三	九、〇五三・三七	同

一、乗車料金

種別	料金	種別	料金	種別	料金
大人	二・三〇	幼童	一・五〇	無保護者	二・八〇
小(十二歳マデ)	一・二〇	(五歳未満)	一・〇〇	生(中學校程度)	二・八〇
		軍	一・五〇		
		(制服制帽)	一・〇〇		
		(準士官以下)	一・〇〇		

種別	割引率	割引料金
團體割引(但シ二十名以上ノ事)	一割五分	二・八〇
一般團體	一割五分	二・八〇
學生現役軍人	三割	二・三〇

三、出發場所と時間

種別	上野營業所	新橋驛前	新宿驛前	上野驛前	東京驛(降車口)
東京遊覽自動車	前時 八・三〇	前時 九・〇〇	前時 八・三〇	前時 八・三〇	前時 九・〇〇
大東京遊覽自動車	前時 八・三〇	前時 九・〇〇	前時 八・三〇	前時 八・三〇	前時 九・〇〇

四、其他

乗車里程 約十五里
 下車見物時間 約三時間
 下車見物時間 約四時間半
 乗車見物時間 約三時間
 晝食時間 約三十分

(二) 大型貸切自動車調 (東京府内)

昭和十一年二月末現在(鐵道省調)

經營主體	營業所	使用定員	運賃(圓)	免許年月日
東京乘合自動車株式會社	下谷區北稻荷町一〇	二六〇人乘	四・五	大正八・〇・二
京濱電氣鐵道株式會社	川崎市京町一ノ二	二八八人乘	四・三	昭和一〇・四・七
目黒自動車運輸株式會社	目黒區下目黒一ノ一一	二〇〇人乘	四・八	昭和六・三・七
東横タクシー株式會社	品川區上大崎四丁目二三九	五二〇人乘	四・一	昭和六・三・六
安全自動車株式會社	深川區平久町一ノ五〇一	七二〇人乘	四・〇	昭和八・七・四
日本觀光自動車株式會社	下谷區車坂町八一、吉田太郎吉方	二二〇人乘	四・〇	昭和七・九・四
オーバン自動車株式會社	京橋區木挽町一丁目八	二六〇人乘	四・五	昭和八・九・三
富士觀光自動車株式會社	本郷區湯島町二ノ三ノ二	二二〇人乘	四・四	昭和八・三・二
高尾遊覽自動車株式會社	澁谷區幡ヶ谷塚町一〇四	五一六人乘	四・三	昭和五・四・四
高尾自動車株式會社	三、甲州街道乘合自動車株式會社	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
八王子市街自動車株式會社	八王子市旭町一七	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
石川觀光自動車會社	八王子市明神町二三	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
柳體元會社	西多摩郡五日市市三	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
橋本會社	荒川區南千住町三ノ五、杉	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	小石川區指ヶ谷町一九	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	豊島區長崎町二ノ二〇七	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	芝區新橋三ノ一ノ一〇	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	世田谷區深澤町一ノ三四二	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	麻布區飯倉町五ノ六〇	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四

經營主體	營業所	使用定員	運賃(圓)	免許年月日
東京乘合自動車株式會社	下谷區北稻荷町一〇	二六〇人乘	四・五	大正八・〇・二
京濱電氣鐵道株式會社	川崎市京町一ノ二	二八八人乘	四・三	昭和一〇・四・七
目黒自動車運輸株式會社	目黒區下目黒一ノ一一	二〇〇人乘	四・八	昭和六・三・七
東横タクシー株式會社	品川區上大崎四丁目二三九	五二〇人乘	四・一	昭和六・三・六
安全自動車株式會社	深川區平久町一ノ五〇一	七二〇人乘	四・〇	昭和八・七・四
日本觀光自動車株式會社	下谷區車坂町八一、吉田太郎吉方	二二〇人乘	四・〇	昭和七・九・四
オーバン自動車株式會社	京橋區木挽町一丁目八	二六〇人乘	四・五	昭和八・九・三
富士觀光自動車株式會社	本郷區湯島町二ノ三ノ二	二二〇人乘	四・四	昭和五・四・四
高尾遊覽自動車株式會社	澁谷區幡ヶ谷塚町一〇四	五一六人乘	四・三	昭和五・四・四
高尾自動車株式會社	三、甲州街道乘合自動車株式會社	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
八王子市街自動車株式會社	八王子市旭町一七	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
石川觀光自動車會社	八王子市明神町二三	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
柳體元會社	西多摩郡五日市市三	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
橋本會社	荒川區南千住町三ノ五、杉	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	小石川區指ヶ谷町一九	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	豊島區長崎町二ノ二〇七	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	芝區新橋三ノ一ノ一〇	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	世田谷區深澤町一ノ三四二	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四
同	麻布區飯倉町五ノ六〇	二二〇人乘	四・三	昭和五・四・四

經營主體	營業所	使用定員	運賃(圓)	免許年月日
太田正八	北多摩郡調布町下布田五	二二〇人乘	三十一分 半日 一日 待三分	大正二・九・六
森田拾次郎	大森區大森一ノ六六	五二〇人乘	四八	昭和八・〇・六
山内幸一	世田谷區北澤町四ノ三一〇	五二〇人乘	二〇	昭和九・九・三
名勝遊覽自動車商會	日本橋區兩國一ノ五、案田八郎方	九二〇人乘	二・五 四 八 五 二〇 四 四 一	昭和九・九・三 (大型認可)
鈴木治郎			四 八 五 二〇 四 四 一	昭和八・六・五

十一、自轉車並乗合船舶

自轉車は特種交通機關として亦特別の分野を持つてゐる。本市に於ける自轉車臺數は約七十二萬臺に上りこの勢を以てすれば百萬臺を突破することも亦數年を出でないであらう。

殊に新市に於ける増加率は著しくかゝる方面に自轉車が如何に多く利用せられてゐるかを示してゐる。

乗合船舶も亦水面を利用して特別の需要に應へてゐる。市内に數多の營業主が存在するも主なるものは次に示す五主體である。

(一) 東京市内自轉車臺數

年別	市域別		市	新		市	合		計
	臺	數		臺	數		臺	數	
昭和元年	100,831	100	100	185,843	100	100	366,673	100	

年	一九二〇年	一九二一年	一九二二年	一九二三年	一九二四年	一九二五年	一九二六年	一九二七年	一九二八年	一九二九年
舊	197,377	186,661	209,087	231,494	238,142	251,421	269,877	309,674		
新	9	9	10	10	10	10	10	10		
市	190,123	184,774	218,752	247,708	257,271	273,766	292,326	348,896		
合	197,377	186,661	209,087	231,494	238,142	251,421	269,877	309,674		
計	197,377	186,661	209,087	231,494	238,142	251,421	269,877	309,674		

(二) 東京市内乗合船舶調

昭和十一年四月調

經營主體	營業料	在籍船舶	乘船人員(九年度)	營業區間	營業時間	運賃	開業年
東京汽船株式會社	一九・三	一五	三五、二九人	高橋浦行	午前五時半—午後七時	行徳十八錢 浦安十五錢	大正八年
隅田川機船株式會社	三・三	二	一、五〇、〇〇〇	永代吾妻橋	午前七時—午後七時	五錢均一	明治十八年
吾妻汽船合資會社	五・八	八	六〇、四七	千住大橋—吾妻橋	午前七時—午後六時半	五錢均一	明治三十三年
千住汽船		四	三三、〇〇〇	千住大橋—王子豐島	午前六時—午後七時	五錢均一	昭和六年
中川汽船		三		吾妻橋—埼玉縣成村字谷口	午前六時—午後七時	全十五錢線	昭和八年

十二、運賃並連絡運輸

大東京市内電気軌(鐵)道營業路線(亘長)は昭和十年度末に於て總計四百九十軒あり。内東京市電は百七十四軒にして首位にあり、省電は之に次ぎ八十五軒、私營電鐵に在ては目蒲電鐵の三五軒を最多とし、地下鐵の八軒が最小となつて居る。

而して各主體の一軒當乘車料に就て見るに種々な關係により各料金確定の基準を異にせるに因り殆んど不同である即ち各軌(鐵)道の地點より大東京市内最端の停留場に至る間の一軒當普通料金を檢するに、省電の八厘三毛を最低、京濱電鐵の二錢一厘二毛を最高とし、平均一錢六厘九毛である。

但省電は環狀線區間の最低料金にして市電は昭和八年度交通調査實績に基く一人當平均乘車料より算出したものである。

從て定期券及回数券に於ても各々その種類並割引率を異にする爲、同一距離の交通に對し利用交通機關の主體に依り料金を異にして居る。

(一) 東京市内各電鐵料率並軒當料金

市電	省電	電鐵名	區間	料率	料金		摘要
					算定區間	同料率	
全線	御茶ノ水、神田、東池袋、品川、東品川、赤羽、荻窪、西武、赤羽、荻窪、御茶ノ水、小赤岩	環狀線内	六・六	一・二二	〇・八三	環狀線區間十錢區最長距離(一・二軒)に於ける一軒當料金が全區間の最低なるを以て之をとる	
一均	一均	一均	一均	一均	一均	料當料金は平均一人乘車料當料金とす但し乘車料は昭和八年の交通調査に依るものとす	

京濱電鐵	目蒲電鐵	東横電鐵	玉川電鐵	帝都電鐵	京王電軌	小田急鐵道	西武鐵道	武藏野鐵道	東武鐵道
品川、六郷、土手、川、穴、岸、大、森	目黒、蒲田、黒子、玉川、大井町、二子、蒲田、五反田	澁谷、多摩川、園前	澁谷、三軒茶屋、下高井戸、天現寺橋、中目黒、澁谷橋	澁谷、吉祥寺	四谷新宿、上高井戸	新宿、千歳船橋	新宿、前、荻窪、村山、高田馬場、武藏關	池袋、保、島、馬、豊、谷	池袋、成、増、雷門、竹ノ塚、新大塚、西新井、東上線、池袋、東武、東武、東武
一五〇	一五五	九二	六八	三二八	九五	九三	七五	一五四	一〇四
品川、穴守	目黒、蒲田	澁谷、多摩川、園前	中目黒、中耕地	澁谷、吉祥寺	四谷新宿、上高井戸	新宿、千歳船橋	新宿、前、荻窪、高田馬場、武藏關	池袋、保、島、谷	池袋、成、増、戸、竹ノ塚
二・八	一・三三	九二	二・七	一・三八	九五	九三	七五	一四四	一〇四
二・三	一・五	一・九六	一・九七	一・八〇	一・六	一・九六	二・〇〇	一・八八	二・〇三
	雪ヶ谷、新奥澤間(一・四軒)は昭和十年十一月一日廢止						東京乗合に委託經營		

電 鐵 名	區 間	料 程	料 金		摘 要
			算 定 區 間	同 料 程	
王子電軌	王子ノ驛—早稲田	一六五	三ノ輪—早稲田	一三三	向島—白鬚間(料)は昭和十一年三月一日廢止
京成電軌	上野公園—江戸上町川	三三八	上野公園—江戸川	一五八	
城東電軌	錦糸町—今井	二三洲	洲—今井	一〇二	
東京地下鐵	淺草—新橋	八〇	淺草—新橋	八〇	
合 計		四二〇・四		一〇一・三	

(備考) 料當料金は省電市電を除く外市内最長路線の片道料金に依り算出したる最低料金なり

(二) 各電鐵定期券割引率比較表

電 鐵 名	一 月		三 月		六 月		十 二 月	
	普通	職工	普通	職工	普通	職工	普通	職工
省 電	五・三—六・九	六・六—七・七	一六・三—一七・五	一七・二—一八・七	三二・八—三三・八	三三・八—三三・八	六二・八—六二・八	六二・八—六二・八
東京市營	二・九—四・一	四・一—五・二						

電 鐵 名	一 月		三 月		六 月		十 二 月	
	普通	職工	普通	職工	普通	職工	普通	職工
京濱電鐵	五・五—六・六	六・六—六・六	一六・二—一七・三	一七・三—一七・三	三二・一—三二・一	三二・一—三二・一	六二・二—六二・二	六二・二—六二・二
目蒲電鐵	三・〇—三・〇	三・〇—三・〇	九・〇—九・〇	九・〇—九・〇	一八・〇—一八・〇	一八・〇—一八・〇	三六・〇—三六・〇	三六・〇—三六・〇
東横電鐵	三・〇—三・〇	三・〇—三・〇	九・〇—九・〇	九・〇—九・〇	一八・〇—一八・〇	一八・〇—一八・〇	三六・〇—三六・〇	三六・〇—三六・〇
玉川電鐵	四・〇—四・〇	四・〇—四・〇	一二・〇—一二・〇	一二・〇—一二・〇	二四・〇—二四・〇	二四・〇—二四・〇	四八・〇—四八・〇	四八・〇—四八・〇
帝都電鐵	三・〇—三・〇	三・〇—三・〇	九・〇—九・〇	九・〇—九・〇	一八・〇—一八・〇	一八・〇—一八・〇	三六・〇—三六・〇	三六・〇—三六・〇
京王電軌	三・〇—三・〇	三・〇—三・〇	九・〇—九・〇	九・〇—九・〇	一八・〇—一八・〇	一八・〇—一八・〇	三六・〇—三六・〇	三六・〇—三六・〇
小田急鐵道	三・〇—三・〇	三・〇—三・〇	九・〇—九・〇	九・〇—九・〇	一八・〇—一八・〇	一八・〇—一八・〇	三六・〇—三六・〇	三六・〇—三六・〇
西武鐵道	五・〇—五・〇	五・〇—五・〇	一五・〇—一五・〇	一五・〇—一五・〇	三〇・〇—三〇・〇	三〇・〇—三〇・〇	六〇・〇—六〇・〇	六〇・〇—六〇・〇
武藏野鐵道	四・〇—四・〇	四・〇—四・〇	一二・〇—一二・〇	一二・〇—一二・〇	二四・〇—二四・〇	二四・〇—二四・〇	四八・〇—四八・〇	四八・〇—四八・〇
東武鐵道	四・〇—四・〇	四・〇—四・〇	一二・〇—一二・〇	一二・〇—一二・〇	二四・〇—二四・〇	二四・〇—二四・〇	四八・〇—四八・〇	四八・〇—四八・〇
王子電軌								
京成電軌	五・〇—五・〇	五・〇—五・〇	一五・〇—一五・〇	一五・〇—一五・〇	三〇・〇—三〇・〇	三〇・〇—三〇・〇	六〇・〇—六〇・〇	六〇・〇—六〇・〇
城東電軌								
東京地下鐵	三・〇—三・〇	三・〇—三・〇	九・〇—九・〇	九・〇—九・〇	一八・〇—一八・〇	一八・〇—一八・〇	三六・〇—三六・〇	三六・〇—三六・〇

(備考) 京成電軌括弧内は特區割引率とす

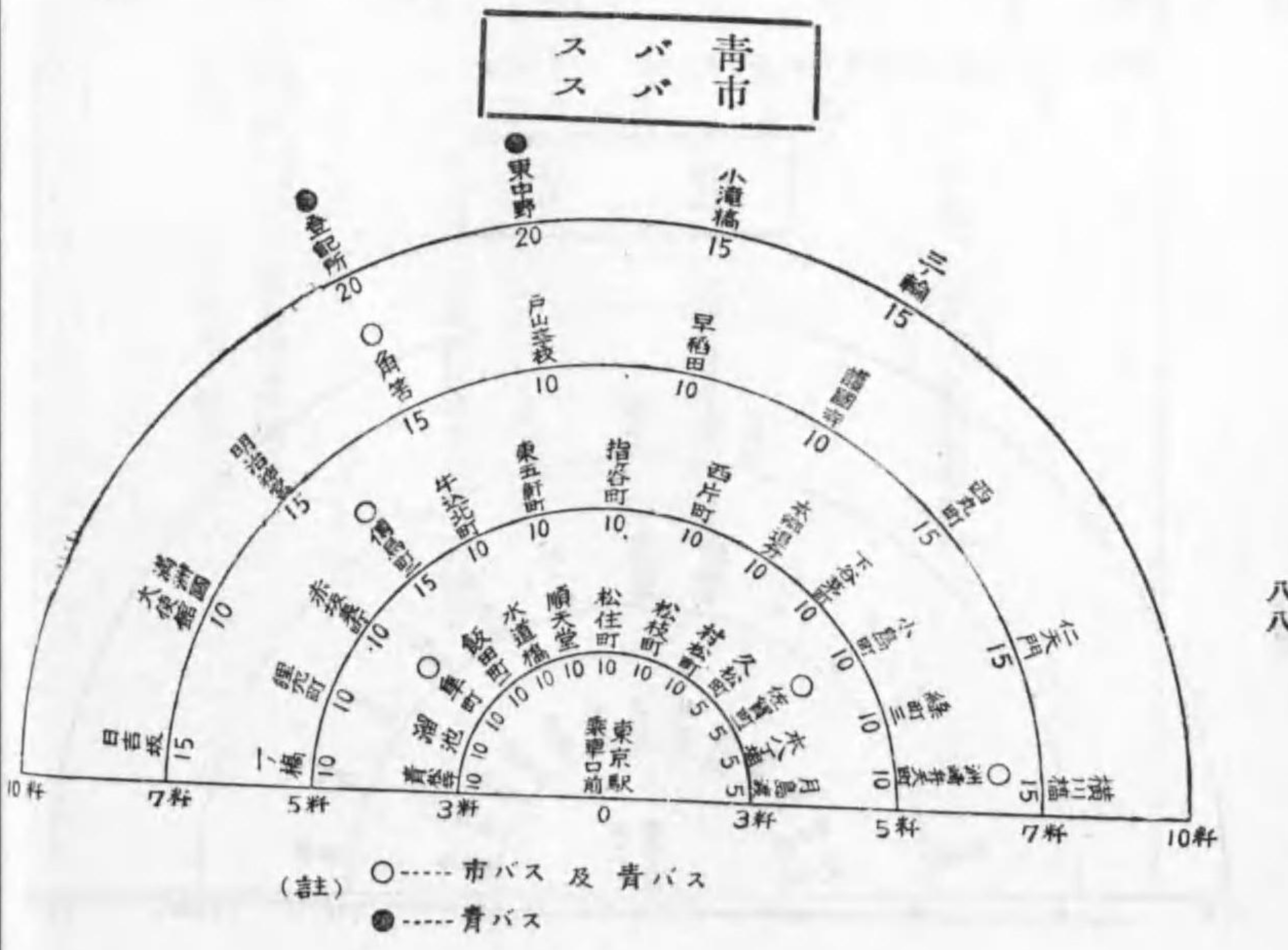
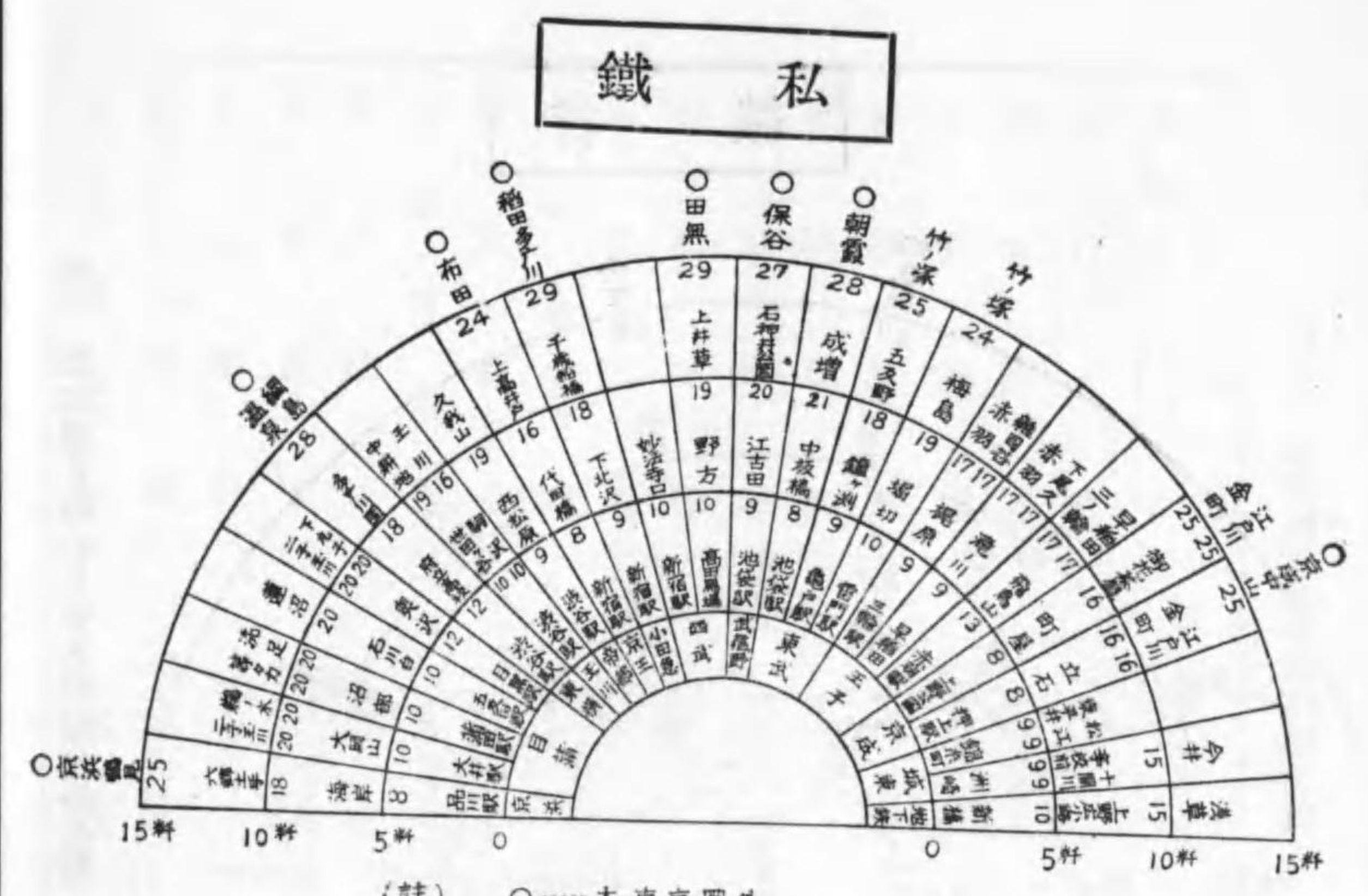
東京驛		起點驛	至各驛料金
東海道線	濱松町品	濱松町品	五錢
	大塚(二〇・五)	大塚(二〇・五)	一〇錢
山手線	御徒町	御徒町	一二錢
	大塚(二〇・五)	大塚(二〇・五)	一三錢
中央線	御茶水	御茶水	一四錢
	千駄ヶ谷	千駄ヶ谷	一五錢
東北線	御徒町	御徒町	一六錢
	田端(七・二)	田端(七・二)	一八錢
總武線	浅草橋	浅草橋	一九錢
	龜戸(六・七)	龜戸(六・七)	二二錢
	大井	大井	二七錢
	大森	大森	二七錢
	蒲田	蒲田	二七錢

京濱電鐵
 京濱品川—六郷土手
 海岸—大森
 京濱蒲田—穴守

省電
 東海道線||東京—蒲田
 山ノ手線||東京—品川—池袋—大塚—東京
 中央線||東京—萬世橋—西荻窪
 東北線||東京—上野—赤羽
 總武線||秋葉原—小岩

(五) 東京市に於ける省電及私營電鐵の各起點驛より觀たる料金區

(備考、括弧内は料程)



起點驛	至各驛料金
京濱品川	五錢
立會川(三・五)	八錢
大森八橋(五・三)	一三錢
京濱蒲田(八・〇)	一五錢
出村(八・六)	一八錢
六郷土手(二・六)	一九錢
大鳥居(九・九)	二五錢
穴守(二・八)	

目黒電鐵
五反田―蒲田
目黒―蒲田
大井町―二子玉川

起點驛	至各驛料金
五反田(舊池上電鐵)	五錢
荏原中延(三・二)	六錢
武藏小山(三・〇)	七錢
荏原町(二・六)	八錢
東洗足(三・三)	九錢
北千東(四・〇)	一〇錢
大岡山(四・七)	一一錢
洗足(三・五)	一二錢
北千東(五・〇)	一三錢
洗足(五・五)	一四錢
大井町(二・〇)	一五錢
慶大グラウン(八・三)	一六錢
一・四錢	一七錢
一・五錢	一八錢
一・六錢	一九錢
一・七錢	二〇錢

目黒	大井町
田園調布(六・六)	田園調布(七・〇)
九品佛(六・六)	武藏小山(七・〇)
中延(六・九)	尾山臺(七・三)
尾山臺(七・三)	尾山臺(七・七)
戸越公園(七・五)	尾山臺(七・七)
多摩川園前(七・六)	尾山臺(七・七)
下神明(八・二)	尾山臺(七・七)
沼部(八・四)	尾山臺(七・七)
上野毛(八・八)	尾山臺(七・七)
大井町(九・〇)	尾山臺(七・七)
沼部(八・八)	尾山臺(七・七)
目黒(九・〇)	尾山臺(七・七)
上野毛(九・三)	尾山臺(七・七)
二子玉川(九・八)	尾山臺(七・七)
蒲田(三・三)	尾山臺(七・七)
二子玉川(一〇・三)	尾山臺(七・七)
蒲田(一三・七)	尾山臺(七・七)

東横電鐵

起點驛	至各驛料金
谷	五錢
中目黒(二・三)	七錢
祐天寺(三・三)	九錢
碑文谷(四・三)	一二錢
府立高校(五・六)	一五錢
自由ヶ丘(七・〇)	一七錢
田園調布(八・三)	一八錢
多摩川(九・二)	

玉川電鐵

起點驛	至各驛料金
谷	四錢
澁谷橋(二・六)	七錢
天現寺橋(三・六)	九錢
中目黒(三・〇)	一〇錢
世田ヶ谷(五・二)	一三錢
下高井戸(八・四)	一六錢
川(九・二)	一九錢
中耕地(九・六)	

帝都電鐵

起點	至各驛料金
澁谷	五錢
池之上	六錢
代田二丁目	七錢
東松原	九錢
西松原	一一錢
永福町	一二錢
西永福	一四錢
濱田山	一六錢
高井戸	一七錢
富士見丘	一九錢
久我山	二一錢
三鷹臺	二二錢
井頭公園	二三錢
吉祥寺	二四錢

京王電軌

起點	至各驛料金
四谷新宿	二錢
新町	四錢
初臺	八錢
代田橋	一錢
上北澤	二錢
上高井戸	六錢

小田急鐵道

起點	至各驛料金
新宿	五錢
參宮橋代々木	六錢
八幡代々木	七錢
上原	八錢
東北澤	九錢
下北澤	一一錢
世田谷中原	一二錢
梅ヶ丘	一三錢
豪德寺	一五錢
經堂	一八錢
千歲船橋	二一錢

西武鐵道

起點	至各驛料金
高田馬場	五錢
新宿前	七錢
山	八錢
谷	一〇錢
阿佐ヶ谷	一三錢
荻窪	一五錢
井	一七錢
荻上	一九錢
井草	二一錢
上石神井	二二錢
武藏關	二三錢

武藏野鐵道
(池袋—保谷)
(練馬—豐島園前)

起點	至各驛料金
池袋	五錢
椎名町	六錢
東長崎	九錢
江古田	一二錢
練馬	一四錢
豐島園	一六錢
富士見臺	二〇錢
石神井公園	二四錢
大泉學園	二七錢
保谷	二九錢

東武鐵道
(池袋—成増)
(淺草雷門—竹ノ塚)
(曳舟—龜戸、西新井—大師前)

起點	至各驛料金
池袋	四錢
請地	五錢
金井窪	六錢
大山	七錢
小村井	八錢
中板橋	九錢
北十間	一〇錢
堀切	一一錢
牛田	一二錢
上板橋	一三錢

起點	至各驛料金
池袋	一三錢
東武練馬	一五錢
五反野	一七錢
下赤塚	一八錢
梅島	一九錢
西新井	二〇錢
成増	二一錢
大師前	二二錢
竹ノ塚	二四錢

王子電軌 (早稻田—三ノ輪—王子驛前—赤羽)

起點驛	至各驛料金
早稻田	五錢
大塚	九錢
王子驛前	一錢
三ノ輪	一三錢
熊野前	一七錢
王子驛前	一七錢
北野	一七錢
北野前	一七錢
赤羽	一七錢
赤羽	一七錢
早稲田	一七錢
三ノ輪	一七錢

京成電軌 (上野公園—江戸川—押上—青砥—高砂—金町)

起點驛	至各驛料金
上野公園	五錢
日暮里	七錢
新三河島	八錢
立石	一〇錢
青砥	一三錢
柴又	一五錢
堀切	一六錢
京成金町	一六錢
江戸川	一六錢
上野公園	一九錢
立石	二一錢
柴又	二二錢
京成金町	二五錢
江戸川	二七錢
上野公園	二九錢

城東電軌

押上	千住大橋(二・三)	新三河島(三・〇)	寛永寺坂(五・八)	動物園(六・三)	上野公園(七・三)
----	-----------	-----------	-----------	----------	-----------

東京地下鐵 (浅草—新橋)

(備考、括弧内は臨時割引料金)

起點驛	至各驛料金
錦糸町	三錢
水神森	五錢
東荒川	七錢
一之江	九錢
今井	一一錢
一ノ江	一三錢
今井	一五錢
洲崎	三錢
小名木川	五錢
稲荷前	七錢
洲崎	九錢
今井	一一錢
一ノ江	一三錢
今井	一五錢
浅草	五錢
野	八錢
小路	一〇錢
越前	一三錢
日本橋	一五錢
新橋	一七錢

(六) 市電及バスと他交通機關との連絡運輸

電氣軌(鐵)道の連絡運輸は連絡機關相互間に於ける乗客の便益に資する爲實施せられ、乗車料金も亦相互機關の料金の合計である。其れ故連絡地點を多數に有する會社は非常に多くの連絡運輸をなし、爲に乗車人員或は乗車收入の算出はその煩に堪えざるものあつて、是に於ては主體別連絡運輸成績は省略する。

市電と他交通機關との連絡運輸は連絡機關相互に於て普通料金より一錢乃至四錢の割引をなし、十錢連絡以外は條例

に基き總て短期間の臨時的のものである。

市バスは現在に於て七主體の電鐵並乗合自動車と連絡運輸をなし、双方に於て一錢乃至十九錢の割引運賃にて乗客を輸送しつゝある。

イ、市電と郊外電鐵並バスとの連絡運輸料金

連絡社名		地 接		連絡	種 別	市電料金		會社料金		合計料金																	
地 點		點 續				通 普	額引割	通 普	額引割	通 普	額引割	率引割															
京濱電鐵	品川驛	品川驛	立會川	大橋	小大	七錢	六錢	一錢	四分	三五錢	二四錢	三六錢	二五錢	一一錢	一一錢	三〇分	〇三錢	八〇錢	二二錢	〇七錢	七元	七元	七元	七元	二九	〇七分	
										二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢
玉川電鐵	澁谷驛	天現寺	天現寺	中目黒	小大	〇三錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢
										二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢	二四錢

東武鐵道		西武鐵道		京王電軌		帝都電鐵					
雷 門		新宿驛		新三丁目		澁谷驛					
押上	押上驛、荒川	雷門、請地	新宿驛、山谷	千歳鳥山	上北澤	代田橋	四谷新宿、初臺	永福町	明大前	東松原	代田二丁目
小大	小大	小大	小大	小大	小大	小大	小大	小大	小大	小大	小大
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
二五	三六	二五	二四	五	八六	六三	四八	二四	六一	五九	四七
二四	二四	二四	二四	四	七四	六一	四七	二四	五九	四七	三六
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
九三	〇三	九三	九二	三	五三	三九	二五	九二	三八	三六	二四
八〇	八〇	八〇	八〇	〇	三〇	三七	二四	八〇	二五	〇三	九三
一一	二二	一一	一一	二	二二	一一	一一	二二	二二	二二	二二
二七	〇三	二七	二九	七	三三	八〇	一七	二九	五七	七九	八四

連絡社名	地 接 点 續	連絡 区 間	種 別	市電料金		會社料金		合計料金	
				通 普 額引割 率引割	通 普 額引割 率引割	通 普 額引割 率引割	通 普 額引割 率引割		
京成電軌	上京野 驛成	上野公園、道灌山通	小大	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			新三河島	〃	〃	〃	〃	〃	〃
城東電軌	錦糸堀	洲崎	小大	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			町屋	〃	〃	〃	〃	〃	〃
日比谷乗合	大塚辻町	大塚辻町、池袋驛	小大	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			江戶川、目白驛	〃	〃	〃	〃	〃	〃
目黒自動車	目黒驛	目黒驛、清水	小大	〃	〃	〃	〃	〃	〃
			祐天寺裏	〃	〃	〃	〃	〃	〃

備考 西武鐵道との連絡運輸は昭和十年九月十日廢止す
○印及小人券は會社に於てのみ發賣す

(ロ) 市電と社線臨時連絡券に依る乗車人員及收入料金

連絡社名	種 別	市電收 入單價 (一枚に付)	乗 車 人 員		收 入 料 金	
			昭 和 九 年 度	昭 和 十 年 度	昭 和 九 年 度	昭 和 十 年 度
京濱電鐵	初詣、春季、夏季連絡	二三	三、九〇三	三、四三三	一、九四・二三	一、四〇四・七三
池上電鐵	春季、御會式連絡	二及六	五二	一七、〇三三	三・二六	九美・天
目蒲電鐵	春季連絡	二三	七四	二四・〇	〇・六	三三・五
玉川電鐵	夏季連絡	二三	一、九三三	一、〇〇六	一五・三三	四・六
帝都電鐵	春季、夏季連絡	二三	八、三四六	四、三四	五〇・七六	二五・四
京王電軌	春季、夏季及多摩御陵連絡	二三	一、九六四	六、四〇	一、二七・八四	四・二九二
京成電軌	初詣、三里塚及夏季連絡	二三	一、八九六	一、三三〇	一、三三・九六	八〇・二〇
東武鐵道	初詣、春季、夏季連絡	二三	七、七八	四、五四六	四・四八	二七・二七六
東京船	夏季連絡	二三	三	一、三四	一・九	六・八四
計			六、七三三	七、七四	五、三三・八	一、四〇四・七三

(ハ) 十錢連絡による市電乗客數及收入

市電	種 別	乗 客 數		乘 車 料 收 入	
		昭 和 九 年 度	昭 和 十 年 度	昭 和 九 年 度	昭 和 十 年 度
總 數	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
一 日 平 均	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
割 合	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
總 數	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
一 日 平 均	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
割 合	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
總 數	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
一 日 平 均	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇
割 合	一、一四八、三三	一〇、五二	四八、四〇	二、〇三	六六、〇二〇・〇

連絡線名	種別	市電収入		昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	備考
		料金	単價						
京成電軌	一區券八錢五厘 二區券三錢 往谷津海岸臨時 往復券二錢	二、四六	一、二七・六〇	人員	金額	人員	金額	人員	金額
京成、京王 電車連帶	片道券一五錢 往復券三〇錢	四五	七・七						
東横電鐵	多摩川園臨時 往復券八錢	四八	三六・七〇						
合	計	六、四〇	二、九一・九〇	人員	金額	人員	金額	人員	金額
總乗客並總收入	對する割合	一・六%	一・〇%	一・五%	一・八%	一・四%	一・九%	一・二%	一・四%
		一・六%	一・〇%	一・五%	一・八%	一・四%	一・九%	一・二%	一・四%

第二編 統制

一、統制後の計理

東京市内に起終點を有する前掲市電、私營電鐵十四、並に乗合自動車事業三十五、計五十主體、及び之等各事業の兼營に屬する電氣供給其他の附帶事業を何等かの方法に依り合同統一するものと假定して、其の計理狀況を示せば次の如し。

(一) 資本金 別表各欄の場合を想定することを得。

第一欄 前記五十主體の昭和十年度末現在に於ける建設興業費を帳簿價格に依りて合計したるものを以てする場合
 第二欄 市電、私營電鐵は昭和八年より同十年に至る三年の平均收益金、私營乗合は昭和十年度の收益金より一定率を以て還元する場合。

第三欄 昭和十年度の收益金より同様に還元する場合。

以上第一欄、第二欄に於ける還元率は三菱經濟研究所發行「本邦事業成績分析」所載昭和八年より同十年に至る三年(六期)の収益率を事業別に平均したるもの(但し乗合事業のみは當方の推定率による)にして即ち左の如し。

軌(鐵)道	六・二%	電氣供給	四・七%
乘合	七・〇%	其他の兼業	二・九%

第四欄 市電、私營電鐵は地方鐵道法(軌道法も同様)の規定を全般的に適用して買收價格を算出し、私營乗合は前

掲第三欄と同様に昭和十年年度の収益金より還元した額を以てする場合。
 以上四種の資産推定方式に準據して資本金額を示せば次の通りである。

(一) 資本金

事業別	種別		第 三 欄	第 四 欄
	第一 欄	第二 欄		
軌道	投下資本ニ依ル場合	利益還元法ニ依ル場合(A)	同	同
内市電	四九三、三九三、八二六	三三二、六三三、八〇六	三二七、四九五、三〇六	六四〇、〇六、〇〇四
内私營電鐵	三〇四、〇七九、四七四	二六、七四四、八七一	一五一、四九、六元	三三二、九七九、五八四
乗合自動車	二八九、三三四、四三三	三三四、八七七、九三三	三三六、〇七五、六七七	三九一、〇四六、四二〇
市内電	三三、六四三、〇九八	三三、九七七、〇二八	四一、一九〇、四七一	
内私鐵兼業	六、七三二、五七七	六、六六五、二七一	八、一四三、二七一	軌(鐵)道中に含む
私營兼業	三、六三三、六二〇	五、九〇〇、四三三	六、八八三、八六六	同
私營兼業	一三、二八六、九二一	二六、〇八一、〇四四	二六、〇八一、〇四四	同
電氣供給	七三、三八一、〇一〇	一五九、七七三、〇八五	一八六、七七三、五五二	軌(鐵)道中に含む
市内電	四三、七七一、九七七	八四、二八八、八七三	九七、五四四、七三三	
内私鐵兼業	二八、〇〇三、〇三三	七五、六四三、二二三	八九、三三六、八三〇	
其他の兼業	四、三六七、三三三	三九、七三三、七九九	四三、六六六、三九九	軌(鐵)道中に含む
合計	六三三、七六五、五五五	五九八、三三三、一八八	一五八、〇三三、一〇八	六三〇、一〇八、一〇八

(二) 収入、支出 別表各欄の場合を想定せり。

第一欄 昭和十年年度に於ける前掲五十主體の収入、支出を各々合計したる額を以て統制後に於ける収入、支出と假定する場合。

(一) 収入、支出

事業別	種別		第 一 欄		第 二 欄	
	収入	支出	収入	支出	収入	支出
軌道	五三、八六三、二〇〇	二八、八三七、七七一	二四〇、〇四七、七〇九	二五、九三三、八四四	二六、九八八、四六六	二六、九八八、四六六
内市電	二二、三九、五三三	二、八九一、五〇四	九、三八八、〇二七	二二、七七一、五三三	一〇、七二二、三五四	一〇、五七七、六七
内私營電鐵	三三、五二、七九九	六、九四六、〇六七	一四、六三六、六九二	三三、五二、五三三	一五、二五一、四六〇	一六、三三二、九九
乗合自動車	一八、四六四、八三三	一五、五七七、一六九	二、八七七、六三三	一八、四六四、八三三	一四、〇〇八、四三三	四、四三六、三九九
市内電	五、七三二、五七七	五、一六六、三三三	五七〇、一六九	五、七三二、五七七	四、六四九、六六一	一、〇〇六、八〇一
内私鐵兼業	二、三三三、四四五	一、八四四、六六二	四八三、八三三	二、三三三、四四五	一、六四二、一九六	六、六四二、一九六
私營兼業	一〇、四二二、八五五	八、五九六、一八四	一、八五五、六七一	一〇、四二二、八五五	七、七三三、五五六	二、六五五、一九九
電氣供給	二二、一三三、四六六	三、三五五、二二六	八、七八八、三二〇	二二、一三三、四六六	一一、二一九、六三三	一〇、〇三三、八三三
市内電	一〇、八八八、〇九〇	六、三三三、四四一	四、五四四、六四九	一〇、八八八、〇九〇	五、六〇一、〇九七	五、一〇七、九九三
内私鐵兼業	一〇、三三五、三四六	六、二二二、六八五	四、一九三、六六一	一〇、三三五、三四六	五、五〇九、五二六	四、八〇五、八三〇
其他の兼業	三、五〇〇、三〇四	二、二六二、三九九	一、三三七、九〇五	三、五〇〇、三〇四	二、〇〇六、一〇八	一、四六四、一四四
合計	六三三、七六五、五五五	五九八、三三三、一八八	五九八、三三三、一八八	六三三、七六五、五五五	五九八、三三三、一八八	六三〇、一〇八、一〇八

(三) 利益金處分 別表各欄の場合を想定せり。

右の益金を假りに株式會社會計に準じて諸償却金として資本金の六十分の一に相當する金額を控除し(一)の場合の資

本金は次表第一、二、三、各欄の資本金を合計し、これを三分したるもの即ち平均資本額を採る。残額を純益金とす。而して更にこれより法定積立金として百分の五、役員賞與金として百分の一を各々差引き残餘の金額を株主配當金とすれば次の如く各々の資本金の異なるに従て配當率に差異を生ずる結果となる。

第一欄 資本金を前掲五十主體の建設興業費を合計したるものとする場合。

第二欄 市電、私營電鐵は最近三ヶ年の平均收益金、私營乗合は昭和十年年度の收益金より還元したる額を以てする場合。

第三欄 市電、私營電鐵は地方鐵道法(軌道法も同様)の規定による買收價格、私營乗合は第二欄に示した還元價格を以てする場合。

(三) 利益金處分

(A) 昭和十年年度の收入、支出を其儘採りたる場合

種別	資本金	益金	諸償却金	差引純益金	法定積立金	役員賞與金	株主配當金	配當年率
第一欄	三、七五、二五 ^円	三六、九八、五七 ^円	一〇、元四、五 ^円	二六、五四、〇四 ^円	一、三六、一〇 ^円	二五、二四〇 ^円	二四、九三、六三 ^円	〇・〇九五
第二欄	五九、三五、二八 ^円	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〇・〇四三
第三欄	六五〇、一〇七、〇八 ^円	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〇・〇六四

(B) 收入は(A)と同様、支出は(A)より一割減の場合

種別	資本金	益金	諸償却金	差引純益金	法定積立金	役員賞與金	株主配當金	配當年率
第一欄	六三、七五、二五 ^円	四三、八三、八三 ^円	一〇、元四、五 ^円	三、四八、二七 ^円	一、六二、四四 ^円	三、八六、八三 ^円	三〇、四八、五三 ^円	〇・〇八二
第二欄	五九、三五、二八 ^円	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〇・〇五二七
第三欄	六五〇、一〇七、〇八 ^円	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〇・〇六九

二、交通統制に関する意見

東京市の交通統制案として公表せられたるものは東京商工會議所及内務省都市研究會内帝都交通問題研究會の交通統制案が俱に具體的要綱としては代表的なものである。左に之を掲げて参考に供する。

(一) 東京商工會議所の大東京交通統制案

大東京に於ける旅客交通の統制は市即ち利用者の便益と經營の合理化とに在るを以て交通機關全般に對し運轉の系統及運賃を整備し事業相互の連絡協調を企圖すべきは勿論なりと雖も現下市の内外には鐵道軌道、電車、自動車等各種各様の機關相錯し殊に圓タク事業の如きは他と其の業態を異にするを以て一舉にして大東京全部に亘る大合同會社を設置し資本的合を完成するが如きは事實上困難なるを思ひ不取敢本件を

- (一) 應急的處置を要するもの
 - (二) 恒久的對策として考究すべきもの
- との二種に大別して調査を進むることになせしが以下其の要綱を列記すれば左の如し。

第一 應急的處置を要するもの

應急的處置を要するものは主として圓タク事業の統制に関するものにして大體左の如き處置を要す。

- (1) 自動車業者組合組織の強化
- (2) 營業自動車車輛數の制限
- (3) 駐車場制度の擴張に因る「流シ」の禁止

(4) メーター制の採用(運賃取締)

但し隣縣と一律ならしむるを要す

而して右は主として警視廳當局に於て其の統制を實現し得べき事項なるを以て現狀に鑑み成べく急速に臨機處理せられむことを望む。

第二 恒久的對策として考究すべきもの

一、統制すべき交通機關は東京市及其の附近に於ける

- (1) 鐵道
- (2) 軌道
- (3) 自動車運輸事業
- (4) 貸切自動車業(圓タクを除く)

とす。

二、統制の方法

法律を制定し資産の併合に依る半官半民の一大合同會社を設立するを以て終局の理想とするも之に至る道程として左記の如き特別の管理機關を設置し之に各事業の經營權を歸屬せしめ共同經營となすを以て實際に則するものと思考するが故に其の大綱を列記す。

(1) 管理機關は半官半民の株式會社とし其の當初の資本は經營に必要な額とし株式は大體各事業者に於て之を引受くること。

(2) 各事業者は運輸營業上必要なる人的物的設備の一切を提供し之が管理經營を委託すること。

(3) 委託經營に就ては評價委員會を設け利益分配の標準となるべき資産及益金の評價をなさしむること。

(4) 政府は各事業者に對し従來の益金を繼續し且管理期間中増進する利益は之を追加配當し得るの保證をなすこと。

(5) 政府は公益上必要と認むるときは事業者に對し管理委託を強制し得るの法規を制定すること。

三、統制すべき地域別

(1) 中央に於ける統制の範圍は大體品川、池袋間山手及池袋洲崎間環狀道路以内とし其の詳細左の如し。

(一) 鐵道、軌道

玉川 電氣 (澁谷天現寺間及澁谷中目黒間の區域内に於ける相互發着に限る)

西武 鐵道 (荻窪線)

王子 電氣 (全線)

城東 電氣 (同)

東京地下鐵 (同)

東京市營 (同)

省 線 (左の區域内に於ける相互發着に限る)

イ、東京、品川、新宿、池袋、巢鴨、上野、東京間

ロ、新宿、兩國間

ハ、神田、御茶ノ水間

ニ、池袋、赤羽間

(一) 自動車運輸事業

- 目黒運輸 (五反田、田町間) 王子電氣 (全線)
- 玉川電氣 (澁谷、廣尾間) 王子環狀 (同)
- 東横乗合 (目黒、田町間) 城東乗合 (同)
- 日本興業 (全線) 城東電氣 (小松川線及其の支線)
- 甲州街道 (原宿、千駄ヶ谷間及新宿、青山四丁目間) 芝浦乗合 (全線)
- 西武 (狹窪線) 中村融一 (同)
- 關東乗合 (全線) 日比谷乗合 (同)
- ダット乗合株式 (全線) 東京乗合 (同) 遊覽バスを含む
- 東京市營 (同)

(2) 地方的統制の範圍は左の如し。

- 一、東武(東上線)武藏野、西武(狹窪線及是政線を除く)越生、多摩湖。
- 二、南武、西武(是政線)青梅、五日市
- 三、京王、玉川(天現寺線及中目黒線を除く)
- 四、帝都、小田急
- 五、東横、目蒲、池上、京濱
- 六、東武(東上線を除く)
- 七、京成

但し以上列挙せる鐵道軌道の勢力範圍内の自動車運輸事業を含むこと。

昭和十年二月十二日

(二) 帝都交通問題研究會の交通統制案

一、立案の經過

帝都交通機關の現況に鑑み之が連絡統制の方策を確立するを急務と認め、都市研究會はその事業として帝都交通問題研究會を設置し昭和十年一月十一日都市研究會、内務省、大藏省、逓信省、鐵道省、警視廳、東京府市、並に關係會社の諸氏を委員に委嘱し同年一月十九日以来左記研究事項及細目に付き數次會合を重ね遂に後掲の如き帝都交通統制案を得た。

研究事項及細目

一、軌道、鐵道及バス線路網の整理に関する件

(一) 鐵道、軌道及バス網の検討

- イ、既設線の改廢
- ロ、新線の敷設
- ハ、既免許未成線の整理
- (二) 軌道、鐵道、バス網の實現方法
- 二、軌道、鐵道及バスの連絡統制に関する件
- (一) 連絡

- 1. 電鐵相互の連絡
 - イ、相互乗入れ
 - ロ、相互連絡
 - 2. 停車場其他の設備の共用
 - 3. 驛前廣場の新設改善
 - 4. 鐵道、軌道、バス間の連帶運輸
- (二) 統制
- 1. 統制區域
 - 2. 統制すべき交通機關の種類
 - 3. 統制機關
 - 4. 統制の手段方法
- 三、地下鐵道に關する件
- (一) 地下鐵道構築の方式
 - (二) 建設費節約の方式
 - (三) 建設促進方法
 - イ、道路及其の交通に對する措置
 - ロ、路面電車に對する措置
 - ハ、道路占用物に對する措置
 - (四) 既免許線の敷設順序

二、交通統制案の要旨

斯て帝都交通問題研究会は昭和十年十月左の如き帝都交通の統制に關する對案を作成するに至つた。

(一) 統制案の要領

統制案の要旨は別紙統制案要綱及法律案要綱に依り明かなるも其の概要左の如し。

- (1) 東京都市計畫區域内に於ける軌道、鐵道、バス、不定期遊覽、大型貸切自動車事業を一の經營主體に統制すること、し其の經營は之を最も能率的ならしむる爲民營として特殊の株式會社を新設す。
- (2) 新設會社は帝都交通の獨占權を握り市民の公益に極めて重大なる關係あるを以て其の組織及經營に付ては政府及地方行政廳の參加方法を設け政府の監督に關しても適當の方法を定め其の諮問機關として交通統制委員會を設置し統制上重要な行政處分に付ては其の意見を徴し實行すること、したり。
- (3) 株式會社設立の方法
 - 現存各事業の合併、現物出資又は買收等に依り株式會社を新設すること、するも合併に當りては各事業の投資額と収益狀況を精査し其の成績に應じて新設會社の株式を交付するものとし新設會社の資本總額は現存各會社の合計資本額を超過せざること、し資本に對する配當率は現在以下に低下することなきを期したり。
- (4) 兼業又は附帶事業の處置
 - 軌道、鐵道、バスの各事業者は大抵何等かの兼業又は附帶事業を營むもの多し。之等は原則として新設會社に引繼ぐこと、したり。
- (5) 國有鐵道問題
 - 國有鐵道にして東京都市計畫區域内に於ける交通を主たる目的とするものは新設會社の經營に合一することが統制

上必要なも本案に於ては合一の方針を明かにしたるも差當りの運輸協定に依ることゝしたり。

- (6) 東京市との關係
市電に付ては東京市債の全部を新設會社に引受けしむること能はざるべきに依り一部は市債として殘存することゝなるべし。

然れども新設會社の利益が一定限度を超過したる場合には其の超過利益の一部分を東京市に納付せしむることゝしたるに依り其の償還は確保せらるべし。

(7) 統制法律の制定

此の統制を實現するためには特別の法律を必要とすべきに依り其の要綱を案したり。

- (8) 統制會社に於ては別途研究中に係る高速鐵道網及鐵道、軌道の線路網整理の案に準據して郊外部と都心部との連絡を圖り得べき箇所及既營業線にして相互乗入運轉を爲し得る箇所に付適當なる施設をなし如實に統制の効果を發揮すべきものとす。

(二) 統制案に依る統制會社の起業目論見の概要 (昭和十一年一月十日現在)

一、投資額	
軌道及鐵道事業	六二三、二五七 <small>千円</small>
自動車運輸事業	三九、八七七
合計	六六三、一三四
二、損益計算	
營業收入	九七、七九二 <small>千円</small>

營業費

差引(營業上の益金)

四六、一四五
五一、六四七

三、營業上の益金の處理

借入金利子	一八、一一五 <small>千円</small>
諸償却金	一一、六六〇
再差引(純益金)	二一、八七二
法定準備金等	三、二八一
配當金(年五分の割)	八、四一一
東京市へ納付金	三、三六〇
減債基金積立金	六、八二〇

(三) 東京及其の附近に於ける交通統制に因る利益の概要

第一、利用者の立場より觀て

1. 運賃制度が簡單となり且低廉に爲し得る
2. 連絡設備が完全になつて乗繼が樂になる
3. 直通運轉が行はれて乗換の不便が少くなる
4. 時勢に適合した増設改良施設が行はれて便益が増進される
5. 路線の種別及職能に應じ分業せしめることに依り便利となる
6. 補完作用に依り不經濟線をも經營することを得る

第二、經營者の立場より觀て(運賃制度を現状の儘としても)

1. 無用の競走を避けて誘致費を節約することが出来る
2. 二重投資を避けて資本効率を高めることが出来る
3. 需品の購入が樂になつて経費を節約することが出来る
4. 修繕設備を整理し得るのみならず修繕能率を高めることが出来る
5. 金融業者から厚い信用を受け有利に資金を利用することが出来る
6. 従事員を彼此融通して運輸の繁閑に善處することが出来る
7. 車輛の運用が樂になつて運輸の繁閑に善處することが出来る
8. 總係費を節約することが出来る
9. 列車運行を整備して重複運轉を避け以て營業費を節約することが出来る
10. 經營に餘裕を生じ従て従事員の待遇を改善し且福利施設を爲し得る
11. 將來無用の路線が出現することを防ぎ得る

第三、東京市電の立場より觀て

1. 多額の缺損を生じつゝある現在の窮境を打開することが出来る
2. 此の儘で行けば將來市民の負擔が益々増大せんとする趨勢に在るが統制に依り之を阻止することが出来る
3. 統制會社の超過益金の一部を東京市は支拂を受け得ることに因り全交通機關の益金の一部を市民に還元せしめることになる

三、東京市及其の附近に於ける交通統制案並交通統制に関する法律案要綱

而して東京市及其附近に於ける交通機關は多種多様にして長短の路線相交錯し、加ふるに之を運用するに實に數十に上る經營主體を以てするの實情にある。之が連絡統制を圖りて利用者之の不利不便を除去し、經營の合理化を期せんには各種の方策を考へ得べしと雖も、如上全交通機關を打て一丸とせる單一の經營に歸せしむるに非ざれば到底徹底を期し難いものと認めらるゝと言ふ見地の下に帝都交通問題研究會が考究策定されたものが左記(一)「東京市及其の附近に於ける交通統制案要綱」である。而してまた之が實現には特段なる立法の必要あるのみならず進で大都市に於ける交通事業統制の緊要なるは常に東京市及其の附近に止らざるを以て立法に付ては廣く「交通統制に関する法律」を制定するを適切なりと認めその案の要綱を定めたのが左記(二)である。

(一) 東京市及其附近に於ける交通統制案要綱

- 一、東京市及其の附近に於ける交通機關及之に關聯する事業を統制する爲一の株式會社を新設す。
政府は設立委員を命じ新設會社の設立に關する一切の事務を處理せしむ。
- 二、統制すべき交通機關及之に關聯する事業の範圍は左の通りとし、合併現物出資又は買收の方法に依り新設會社に統合す。
 1. 東京都市計畫區域内に起終點を有し又は之を經過する地方鐵道、軌道及自動車運輸事業の全部、但し事情に因り別途經營を可とするものは之を切離すことあるべし。
 2. 地方鐵道、軌道及自動車運輸事業の兼業及附帶事業の全部、但し事情に因り別主體として之を切離すことあるべし。
 3. 東京都市計畫區域内に於ける交通を主たる目的とする不定期遊覽及大型貸切自動車事業にして統制上必要と認めらるもの。

4. 國有鐵道にして東京都市計畫區域内に於ける交通を主たる目的とするものは將來新設會社の經營に合一する方針を以て差當りは鐵道省との運輸協定に依るものとす。
- 三、新設會社の投資額、發行株式及債務の承繼關係は左の各號に依るものとす。
1. 新設會社の投資額は原則として統制せらるべき總事業の投資額の合計額を超えざるものとす。
 2. 統制せらるべき事業に交付すべき株式額は當該事業の投資額、收益率、業態其他諸種の事情を審査參酌して之を定む。
 3. 債務を承繼する場合に於ては前號の交付すべき株式額より債務に相當する額を控除す但し控除額が交付すべき株式額より大なるときは承繼債務の範圍を限定するものとす。
 4. 新設會社の投資額、統制せらるべき事業に交付すべき株式額、債務の承繼及其範圍並に前號の控除額は交通統制委員會に諮問し政府之を認可す。
- 四、新設會社は預金部資金其他低利資金の融通を受け得るものとす。
- 五、地方鐵道補助法の規定に依る有資格鐵道は新設會社に統制後に於ても政府の補助を受け得るものとす。
- 六、新設會社は其の年度毎に純益金が一定率の配當資金(法定準備金其他を含む)を超過する場合に於ては左の算式に依り計算したる金額を一定期間を限り東京市に支拂ふことを得。
- $$\frac{\text{(東京市の投資額)} - \text{(東京市に對する交付株式額)}}{\text{(超過純益金)}} \times \text{(新設會社の投資額)}$$
- 前項に依る配當資金、支拂金の使途及期間に付ては交通統制委員會に諮問して之を定むるものとす。
- 東京市長は一定數の重役を任命することを得。

七、新設會社に政府の任命に係る參與會を設置し左の事項を諮問す。

1. 運賃又は料金の制定又は變更。
2. 商法第九十條に掲げたる書類の作成。
3. 前各號の外事業經營上重要と認むる事項、參與會は事業經營に關し會社の機關に意見を述べることを得。

(二) 交通統制に關する法律案要綱

一、政府は交通事業統制の爲地方鐵道事業、軌道事業、自動車運輸事業及其他勅令を以て指定する事業を經營する者に對し左の事項を命令し得る旨並に其の命令實行に伴ふ當事者間の協議調はざる場合に於ては申請に依り政府之を裁定する旨の規定を設くること。

1. 會社の合併
2. 買収又は讓渡
3. 共同經營
4. 營業又は運轉の管理
5. 事業の全部又は一部の廢止
6. 線路又は設備の新設、變更、廢止又は共用
7. 運賃の變更又は連絡若は直通運輸其他の運輸上の協定
8. 前各號の外交通統制上必要と認むる事項

二、一定の地域に亘る交通事業の全部又は大部分を統制する會社(以下統制會社と稱す)成立する場合に關しては左の規定を設くること。

(一) 政府は必要ありと認むるときは設立委員を命じ統制會社の設立に關する一切の事務を處理せしむることを得る

- (一) 統制會社は配當率を異にする株式を發行することを得ること。
- (二) 統制に因りて解散する會社は統制會社の株式を以て殘餘財産の分配をなすことを得ること。
- (三) 國及公共團體は統制會社の株式を取得することを得ること。
- (四) 統制の爲にする左の事項其他之に關聯する事項に付ては國稅地方稅を免除すること。
- (五) 會社の新設解散又は資本の増加若は減少
 - 1. 營業又は財産の移轉
 - 2. 政府は必要ありと認むるときは統制會社をして定款の變更、毎營業年度の事業計畫事業費及營業收支の豫算、決算並に利益金の處分に付認可を受けしむることを得ること。
 - 3. 國及(公共團體の事業を併せ統制する場合に於ては)當該公共團體は役員任命及解任に付相當の權限を有すること。
- (六) 政府は交通事業の統制に關し左の事項に關し諮問し又は建議せしむる爲交通統制委員會を設置し其の組織、權限其他に關し規定を設けること。
 - 1. 統制範圍
 - 2. 統制方法
 - 3. 第一項の規定に依る命令中重要と認むる事項
 - 4. 第一項に規定する事業に關する免許又は特許にして重要と認むる事項
 - 5. 前各號の外重要と認むる事項

參 考 表

三〇

統制会社は配当率を異にする株式を發行し得る。

三、統制に因り解散する会社は統制会社の株式を以てその財産の分配がなされることとなる。

四、國及公共團體は統制会社の株式を取得するものと得る。

五、統制の爲にする左の事項其の趣之に關聯する事項に付、は國稅地方稅を免除すること。

1. 會社の新設解散又は資本の増加若し減。

2. 營業又は財産の移轉。

（六）政府は必要ありと認むるときは統制会社から、手数料、印費、毎營業年度の事業計畫事業費及營業收支の豫算、決算並に利益金の處分に付認可を受けしむることを得る。

（七）國及公共團體の事業が何れ統制される場合に於ては當該公共團體は役員、任命及解任に付相當の權限を有する。

（八）政府は交通事業の統制に關し左の事項に關し諮問し又は建議したむる爲交通統制委員會を設置し其の組織、權限其の他に關し規定を設くること。

1. 統制範圍

2. 統制方法

3. 第一項の規定に依る命令中重要と認むる事項

4. 第一項に規定する事業に關する承諾又は持許に關し重要と認むる事項

5. 前各條の外重要と認むる事項

參 考 表

一、電氣軌(鐵)道主體別貸借對照表

本表は各事業主體の下半期末貸借對照表に據る。但東京市電氣局は各年度末なり。

貸借對照表(總括)勘定科目別百分率 (合計を100とす)

科目別	年度別					
	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年
未拂込株金	16.5%	15.2%	13.9%	12.5%	11.5%	10.3%
固定資産	32.6%	30.4%	28.3%	26.8%	25.8%	23.1%
建設(興業)費	22.4%	23.3%	25.0%	27.8%	27.8%	27.2%
鐵軌道	5.7%	6.0%	6.1%	5.8%	5.5%	5.8%
乘合	0.9%	0.8%	0.9%	1.0%	1.1%	1.2%
供給	7.9%	8.0%	8.3%	8.3%	8.4%	8.4%
其他	3.9%	4.5%	4.7%	4.7%	4.8%	4.8%
興業費	1.2%	1.1%	1.2%	1.0%	1.0%	0.9%
建設假勘定	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
流動資産	7.0%	6.4%	6.2%	5.8%	6.0%	7.1%
雜勘定	3.9%	4.0%	4.7%	5.5%	8.7%	8.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
負債						
資本金	7.4%	7.3%	6.8%	6.4%	6.5%	6.7%
(内拂込金)	(8.9%)	(9.2%)	(9.4%)	(9.9%)	(10.2%)	(10.3%)
社債	13.8%	13.6%	14.2%	15.2%	16.7%	15.8%
借入金	3.0%	4.2%	5.5%	5.9%	7.4%	8.6%
支拂手形	7.6%	7.4%	6.9%	6.2%	6.5%	7.2%
積立金	3.2%	2.7%	2.7%	2.3%	2.4%	2.5%
其他	0.8%	0.9%	1.0%	1.1%	1.0%	1.1%
前期繰越金	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%
当期利益金	0.8%	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

科目別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度	
	資	負債	資	負債	資	負債	資	負債	資	負債	資	負債
資本	15,000,000		15,000,000		15,000,000		15,000,000		15,000,000		15,000,000	
預備金	10,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000	
未拂入	1,892,500		3,646,500		4,340,000		5,844,000		7,640,000		9,440,000	
借入金	1,000,000		1,800,000		1,550,000		1,550,000		1,875,000		2,740,000	
未拂手形	292,800		433,400		292,700		292,700		292,700		292,700	
保費積立	85,700		77,200		67,000		77,300		77,300		77,300	
職員積立	191,364		104,755		101,307		227,027		195,336		37,870	
假受立	161,033		146,088		222,166		171,054		161,606		161,606	
積立	1,432,000		1,488,500		1,523,000		1,546,500		1,601,500		1,601,500	
前立	192,344		311,000		217,422		105,844		96,481		96,481	
当期利益	994,805		398,433		303,860		377,619		382,055		382,055	
合計	30,732,568		33,957,908		35,777,568		38,068,568		41,142,633		44,216,127	

備考 資産中「雜勘定」には假出金及社債發行費を含む。

(三) 池上電気鐵道

科目別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度	
	資	負債	資	負債	資	負債	資	負債	資	負債	資	負債
未拂込株金	3,948,750		3,948,750		3,645,000		3,645,000		3,645,000		3,645,000	
固定資産	7,646,533		7,866,035		8,056,326		8,232,766		8,419,337		8,606,867	
建設費	7,022,750		7,286,677		7,398,806		7,499,337		7,600,867		7,702,397	
内 鐵道	6,744,073		6,999,731		7,111,924		7,212,455		7,313,986		7,415,516	
内 乘合	172,533		191,644		272,082		387,300		500,381		615,451	
内 土庫	65,155		77,333		101,400		125,477		149,554		173,631	
五反田驛附屬建物	88,123		89,274		91,710		93,560		95,410		97,260	
土地勘定	54,990		55,074		66,800		66,889		66,978		67,067	
流動資産	93,288		77,622		55,698		42,372		30,000		17,624	
有價証券												
受取手形	3,556		3,258		3,257		3,257		3,257		3,257	
貯蓄物品	14,644		7,863		7,713		7,713		7,713		7,713	
未收入金	6,339		3,666		3,906		3,906		3,906		3,906	
預金及現金	9,887		3,554		8,523		7,887		7,141		6,495	
合計	11,707,333		11,977,908		12,134,568		12,301,333		12,468,167		12,635,000	

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
資(内)拂込金	3,700,000	3,700,000	3,700,000	3,700,000		
社債	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000		
借入	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000		
未拂手形	1,300,000	1,650,000	3,000,000	3,000,000		
借入有価証券	110,977	134,521	2,000,000	7,202		
借入受取	52,850	27,810	3,000,000	3,000,000		
積立	33,000	3,000	3,000,000	3,000,000		
前期繰越	26,727	27,955	30,350	3,000,000		
当期利益	85,379	66,431	90,977	3,000,000		
合計	11,700,356	12,907,309	12,600,356	13,200,356		

備考 資産中「雑勘定」は假出金
昭和九年十月一日目蒲電鐵と合併。

(四) 目黒蒲田電鐵

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
未拂込株金	3,000,940	2,400,600	2,500,000	2,400,000	4,400,750	4,400,750
固定資産	13,333,410	13,007,368	12,966,555	13,466,733	10,455,665	11,550,250
建設(興業)費	13,333,410	13,007,368	12,966,555	13,466,733	10,455,665	11,550,250

資	内訳										
	鐵道	乗合	供給	田圃	遊園	水上俱樂部	流動資産	有価証券	受取手形	貯蔵物品	未収入品
10,233,343	98,586	197,800	2,208,021	55,210	11,990,961	672,049	1,847,737	7,839,157	50,903	1,006,523	4,219
10,331,929	90,101	195,140	1,833,521	65,736	12,557,333	723,556	1,806,844	8,541,800	56,987	1,133,717	1,133,717
10,359,185	89,831	192,526	1,400,921	77,777	10,005,733	700,635	1,911,888	6,444,099	56,322	1,006,523	1,006,523
10,556,007		189,633	1,141,000	1,000,921	11,310,609	1,550,000	2,000,000	6,568,950	58,854	1,006,523	1,006,523
16,955,543	36,433	185,500	1,200,100	1,200,100	10,270,050	690,000	2,000,000	7,200,750	70,000	1,006,523	1,006,523
17,433,343	35,333	184,400	1,200,100	1,200,100	11,010,921	700,000	2,000,000	8,300,750	72,000	1,006,523	1,006,523
17,433,343	35,333	184,400	1,200,100	1,200,100	11,010,921	700,000	2,000,000	8,300,750	72,000	1,006,523	1,006,523

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
負債	借入金 二、五六一	借入金 二、二二八	借入金 三、九三三	借入金 二、七四〇	借入金 三、四四〇	借入金 三、三九三
預り金	五、〇四六	五、五〇一	五、三三四	五、八六五	六、一五五	七、八七九
受取金	三、三六五	四、六七八	四、九八六	五、五六一	五、〇一五	六、三、三三
立金	五、三〇六	五、四〇六	六、四〇六	七、〇〇六	八、天、四六六	八、九、四六六
繰上金	五、二六一	五、〇〇〇	五、〇二二	六、二五三	一〇〇、九七一	一〇〇、九七一
前期利益	五、二〇〇	五、七、五三三	六、〇七、一〇五	六、〇七、四七六	六、五、三九三	七、四、一〇一
当期利益	五、二〇〇	五、七、五三三	六、〇七、一〇五	六、〇七、四七六	六、五、三九三	七、四、一〇一
合計	二六、二八、三三三	二六、七、二〇五	二六、九、五、一〇一	二六、九、五、一〇一	二六、九、五、一〇一	二六、九、五、一〇一

備考 資産中「雑勘定」には假拂金及假出物を含む。

(五) 東京横濱電鐵

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
未拂込株金	三、〇五五、〇五五	三、〇五五、〇五五	三、〇二一、九三〇	二、四〇〇、〇〇〇	一、八〇二、八〇二	一、一〇〇、〇〇〇
固定資産	一六、九一、六六五	一六、八〇三、五〇四	一七、三、七、四四五	一八、九三、四七六	二二、三、四、六四四	二二、三、四、六四四
建設費	一五、六九、一七七	一五、九七五、〇〇七	一六、七、三、四〇〇	一七、九、五、四、四八	二〇、二、九、二、六六	二二、五、六、八七
乗合鐵道	一三、七、四、一七四	一四、〇、七、四六七	一四、五、九、八五三	一五、〇、四、六、八六二	一五、四、六、二、八五	一五、九、五、〇、〇三
土地	一、六六、六四四	一、八〇一、八八八	二、〇、五、八七六	二、三、九、〇、八二	二、三、九、〇、八二	二、四、九、三、五六
砂利	二、三、一〇三	二、三、一〇三	三、〇、四、二五	三、〇、四、二五	三、〇、四、二五	三、〇、四、二五
温泉	三、八、五四三	三、八、九、九五	三、八、九、九五	三、八、九、九五	三、八、九、九五	三、八、九、九五
合計	三六、五、四三	三六、九、九五	三六、九、九五	三六、九、九五	三六、九、九五	三六、九、九五

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
食貨店	六、三、三	七、一、〇、六	七、五、一	八、一、〇、〇	八、一、〇、〇	八、一、〇、〇
百貨店	二、二、六、六	二、四、九、九	二、四、九、九	二、四、九、九	二、四、九、九	二、四、九、九
公園	三、三、三、三	三、三、三、三	三、三、三、三	三、三、三、三	三、三、三、三	三、三、三、三
學園都市	四、四、四、四	四、四、四、四	四、四、四、四	四、四、四、四	四、四、四、四	四、四、四、四
流動資産	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九
有価証券	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九	一、八、九、九、九
貸付金	二、六、五、五	二、六、五、五	二、六、五、五	二、六、五、五	二、六、五、五	二、六、五、五
受取手形	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇
貯蓄品	二、五、八、五	二、五、八、五	二、五、八、五	二、五、八、五	二、五、八、五	二、五、八、五
未収入金	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇	二、七、五、〇
現金及預金	八、七、二、八	九、七、八、〇	一、〇、四、八、八	一、〇、五、八、八	一、〇、五、八、八	一、〇、五、八、八
土地延賣金	四、二、三、四	三、六、五、三	三、六、五、三	三、六、五、三	三、六、五、三	三、六、五、三
雑勘定	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇
合計	三三、〇、〇、〇	三三、〇、〇、〇	三三、〇、〇、〇	三三、〇、〇、〇	三三、〇、〇、〇	三三、〇、〇、〇
資本	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇
社債	四、〇、〇、〇	四、〇、〇、〇	四、〇、〇、〇	四、〇、〇、〇	四、〇、〇、〇	四、〇、〇、〇
借入金	一、五、〇、三、一、五、六	一、五、〇、三、一、五、六	一、五、〇、三、一、五、六	一、五、〇、三、一、五、六	一、五、〇、三、一、五、六	一、五、〇、三、一、五、六
支拂手形	七、五、〇、五、三、七	八、一、〇、三、五、〇	八、二、四、五、〇	八、二、四、五、〇	八、二、四、五、〇	八、二、四、五、〇
未払金	九、一、六、九	一〇、三、〇、三	一〇、三、〇、三	一〇、三、〇、三	一〇、三、〇、三	一〇、三、〇、三
保証金	一〇、八、一、七	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六
借入金	一〇、八、一、七	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六	一一、〇、〇、六
合計	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇	一、一、〇、〇、〇

科目別	年度別	
	昭五年度	昭六年度
負債	10,586	14,730
共濟組合預金	4,404	3,177
假受立金	6,302	7,563
積立金	61,976	101,914
前期繰越金	20,297	2,578
當期利益金	20,297	101,914
合計	120,662	216,866

備考 資産中「雜勘定」は假出金

(六) 玉川電氣鐵道

科目別	年度別	
	昭七年度	昭八年度
負債	11,599	9,370
共濟組合預金	7,563	4,897
假受立金	13,444	18,814
積立金	4,404	18,621
前期繰越金	27,686	33,431
當期利益金	27,686	18,621
合計	102,799	166,753

科目別	年度別	
	昭九年度	昭十年度
負債	12,710	7,493
共濟組合預金	7,493	11,173
假受立金	17,182	101,814
積立金	3,982	20,926
前期繰越金	29,901	33,431
當期利益金	29,901	33,431
合計	107,167	208,645

科目別	年度別	
	昭五	昭六
負債	168,890	188,233
前期繰越金	300,033	339,664
当期利益金	18,667	29,883
合計	507,590	557,780

備考 資産中「雜勘定」は假出金

(七) 帝都電鐵

科目別	年度別	
	昭五	昭六
未拂込株金		
固定資産		
建設費	3,946,444	4,411,568
鐵道費	3,946,444	4,411,568
乘合		
土地及家屋	104,257	91,733
所有土地建物		
流動資産	180,031	247,928
有價証券	3,850	68,926
貸付金	83,244	141,249
貯藏物品	2,373	2,273
未収入金	6,835	9,698
合計	8,863,937	9,688,102

科目別	年度別	
	昭五	昭六
雜勘定	16,730	15,751
預金及現金	5,020	11,684
資本	16,000,000	16,000,000
内拂込金	3,100,000	3,100,000
借入金	875,958	1,768,000
未拂手形	97,628	311,111
保受證	21,217	920
假受立		151
積立金		920
前期繰越金		1,200,000
当期利益金	16,229,601	16,229,601
合計	18,229,601	18,229,601

備考 資産中「雜勘定」は假出金

(八) 小田原急行鐵道

科目別	年度別	
	昭五	昭六
未拂込株金	15,000,000	15,000,000
固定資産	35,256,030	35,804,530
建設費	15,000,000	15,000,000
鐵道費	15,000,000	15,000,000
乘合		
土地及家屋	36,166,456	36,478,133
所有土地建物		
流動資産	15,000,000	15,000,000
有價証券	3,478,133	3,478,133
貸付金	1,000,000	1,000,000
貯藏物品	1,000,000	1,000,000
未収入金	3,521,867	3,521,867
合計	54,787,930	54,787,930

科目別	年度別										
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	
建設(興業)費	三、八八、五〇四	三、四五一、九四三	三、七七一、〇六	三、四二、六〇	三、三三、七六	三、五三、八二	三、八八、二二	三、四五一、九四三	三、七七一、〇六	三、四二、六〇	三、三三、七六
鐵道	二、四三、三三	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八	二、八七、七五八
土地	四、九三、〇九六	四、八七、八二五	五、〇〇、九三八	五、四九、〇九	五、八八、二七三	六、一四、七三	六、二四、〇九	四、九三、〇九六	四、八七、八二五	五、〇〇、九三八	五、四九、〇九
内訳	一、五五、九五	一、八六、二九	二、〇一、九七七	一、九〇、九三五	一、七四、五四	一、七四、五四	一、七四、五四	一、五五、九五	一、八六、二九	二、〇一、九七七	一、九〇、九三五
假出兼業興業費	三、六〇、〇六	三、四五、三六	三、九二、〇九四	三、八〇、七	三、九二、〇九四	三、八〇、七	三、九二、〇九四	三、六〇、〇六	三、四五、三六	三、九二、〇九四	三、八〇、七
未拂建設費	七、二一〇	七、一〇六	七、二〇六	七、四九六	七、四九六	七、四九六	七、四九六	七、二一〇	七、一〇六	七、二〇六	七、四九六
流動資産	九四六、八八	八三、三九八	八四九、五二八	一、〇九、三三	一、一七、三三	一、一七、三三	一、一七、三三	九四六、八八	八三、三九八	八四九、五二八	一、〇九、三三
有価証券	二、五五、〇〇	二、六三、八〇〇	二、六四、二三	二、〇一、七三	二、〇一、七三	二、〇一、七三	二、〇一、七三	二、五五、〇〇	二、六三、八〇〇	二、六四、二三	二、〇一、七三
受取物品	六、九七四	五、五〇	一、五、六二	三、八七	一、一、六三	一、一、六三	一、一、六三	六、九七四	五、五〇	一、五、六二	三、八七
貯蓄	三、五、九六	一、九、〇九七	一、八五、四九八	一、八、五四四	二、七、〇九二	二、七、〇九二	二、七、〇九二	三、五、九六	一、九、〇九七	一、八五、四九八	一、八、五四四
未収入金	二、六二、二二	三、四、八八	三、八、四三〇	三、七、一〇	三、五、〇七	三、五、〇七	三、五、〇七	二、六二、二二	三、四、八八	三、八、四三〇	三、七、一〇
現金及預金	一、八六、九六	三、一〇、三	五、七、七	六、〇、四	八、七、五三	八、七、五三	八、七、五三	一、八六、九六	三、一〇、三	五、七、七	六、〇、四
雑勘定	六、〇、一七	七、五、四〇	六、二、〇九〇	六、四、四四	七、七、六	六、〇、一七	七、五、四〇	六、〇、一七	七、五、四〇	六、二、〇九〇	六、四、四四
合計	三、八、二、九七	三、三、一、一	三、三、九、〇	三、三、一、九〇	三、三、一、九〇	三、三、一、九〇	三、三、一、九〇	三、八、二、九七	三、三、一、一	三、三、九、〇	三、三、一、九〇
資本(内拂込)	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇、〇〇〇
社債	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)	(一五、〇〇〇、〇〇〇)
借入金	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇、〇〇〇
支拂手形	六、五、〇〇〇	六、七、〇〇〇	七、三、〇〇〇	七、五、九、〇〇〇	七、五、九、〇〇〇	七、五、九、〇〇〇	七、五、九、〇〇〇	六、五、〇〇〇	六、七、〇〇〇	七、三、〇〇〇	七、五、九、〇〇〇
未拂證券	一、五、一、四三	一、八、四、九二	一〇、一、〇七三	二、六、三三	三、四、一三	三、四、一三	三、四、一三	一、五、一、四三	一、八、四、九二	一〇、一、〇七三	二、六、三三
保金	二、三、六、六五	四、六、九、八	四、七、五、五七	六、三、五七	六、三、五七	六、三、五七	六、三、五七	二、三、六、六五	四、六、九、八	四、七、五、五七	六、三、五七

科目別	年度別										
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	
假受	三、二、七二	三、六、四六	三、二、二五五	五、八、九三	二、四、五三	二、七、三三	三、二、七二	三、六、四六	三、二、二五五	五、八、九三	二、四、五三
積立	一、二、四、五〇	一、二、六、五〇	一、四、二、五〇	一、六、〇、〇〇	一、九、〇、五〇	二、一、〇、五〇	一、二、四、五〇	一、二、六、五〇	一、四、二、五〇	一、六、〇、〇〇	一、九、〇、五〇
前線越	四、五七	一	一	一	一	一	四、五七	一	一	一	一
当期利益	二、一、五九	三、三、八六	一、五、八九〇	一、三、三、七	一、六、一、三二	二、四、六、一八	二、一、五九	三、三、八六	一、五、八九〇	一、三、三、七	一、六、一、三二
合計	五、一、六、三、〇	五、三、六、一、三	五、三、六、一、三	五、一、七、一、九〇	五、三、七、六、六	五、一、六、三、〇	五、一、六、三、〇	五、三、六、一、三	五、三、六、一、三	五、一、七、一、九〇	五、三、七、六、六

備考 資産中「雑勘定」には假出金及前期繰越損金を含む。

(九) 京王電気軌道

科目別	年度別										
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	
未拂込株金	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇	二、六、〇〇、〇〇
固定資産	一、七、六、四〇、九七	一、八、四、六〇、一八	一、八、八、八八、四六	一、九、五、〇六、三三	二、〇、二、九一、〇六	二、〇、七、三三、〇四	一、七、六、四〇、九七	一、八、四、六〇、一八	一、八、八、八八、四六	一、九、五、〇六、三三	二、〇、二、九一、〇六
建設(興業)費	一、六、一、八四、元一	一、七、九、五四、七四	一、八、二、七、一四七	一、九、〇、九一、一七六	二、〇、三、〇九、八三	二、〇、八、九、八〇	一、六、一、八四、元一	一、七、九、五四、七四	一、八、二、七、一四七	一、九、〇、九一、一七六	二、〇、三、〇九、八三
内訳	一〇、四、四、三、九八	一一、八、七〇、六四三	一二、八、八〇、二六〇	一三、〇、四二、四六九	一三、四、四四、七七一	一三、八、四四、六六	一〇、四、四、三、九八	一一、八、七〇、六四三	一二、八、八〇、二六〇	一三、〇、四二、四六九	一三、四、四四、七七一
遊園及土地建物	四、〇、四、八、六一	四、三、三、〇、五六	四、七、三、一、五四〇	五、〇、四二、四六九	五、一、四四、七七一	五、一、四四、七七一	四、〇、四、八、六一	四、三、三、〇、五六	四、七、三、一、五四〇	五、〇、四二、四六九	五、一、四四、七七一
供給	一、七、〇、三、三三	一、〇、一、〇、四三	一、六、五、九、六四七	一、七、〇、六、八八五	一、七、九、〇、三三	一、七、九、〇、三三	一、七、〇、三、三三	一、〇、一、〇、四三	一、六、五、九、六四七	一、七、〇、六、八八五	一、七、九、〇、三三
什器	六、四、四、八六	七、一、六、四四	七、六、三、三七	八、一、七、一一	九、〇、三、三三	九、〇、三、三三	六、四、四、八六	七、一、六、四四	七、六、三、三七	八、一、七、一一	九、〇、三、三三
擴張勘定	一、三、九、二、〇六	四、三、三、九、二二	五、四、〇、六、九三	三、六、五、三、四七	四、七、五、五、〇	四、七、五、五、〇	一、三、九、二、〇六	四、三、三、九、二二	五、四、〇、六、九三	三、六、五、三、四七	四、七、五、五、〇
流動資産	一、七、五、五、九	一、〇、五、九、四八	九、九、五、〇、一九	一、二、三、二、五五	一、一、七、五、五三	一、一、七、五、五三	一、七、五、五、九	一、〇、五、九、四八	九、九、五、〇、一九	一、二、三、二、五五	一、一、七、五、五三
内有価証券	六、〇、四、三、五〇	四、四、四、九、五〇	四、八、二、三、三〇	四、八、一、三、三〇	五、六、二、八、五	五、六、二、八、五	六、〇、四、三、五〇	四、四、四、九、五〇	四、八、二、三、三〇	四、八、一、三、三〇	五、六、二、八、五
合計	三、八、二、九、七	三、三、一、一	三、三、九、〇	三、三、一、九、〇	三、三、一、九、〇	三、三、一、九、〇	三、八、二、九、七	三、三、一、一	三、三、九、〇	三、三、一、九、〇	三、三、一、九、〇

科目別	年度別		昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度		
	資	産	内		内		内		内		内		内		
			受取手形	貯蔵物品	未収入金	預金及現金	受取手形	貯蔵物品	未収入金	預金及現金	受取手形	貯蔵物品	未収入金	預金及現金	受取手形
合計	三,一六六,〇六六	三,一六六,〇六六	二,四六,七六六	一,〇一〇,七六六	二,五五,一七三	七三,四九一	一,七〇,六六六	五五,六一九	三,六八,二一七	五五,〇七六	三六,六二七	二,四三,六二七	七〇,一五五	二,四三,六二七	
資	三,一六六,〇六六	三,一六六,〇六六	二,四六,七六六	一,〇一〇,七六六	二,五五,一七三	七三,四九一	一,七〇,六六六	五五,六一九	三,六八,二一七	五五,〇七六	三六,六二七	二,四三,六二七	七〇,一五五		
負債															
社債	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇													
借入金	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇													
支拂手形	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇													
未払金	一九七,九七三	一九七,九七三													
預有價証券	一九一,六四三	一九一,六四三													
社積立金	二〇三,八四七	二〇三,八四七													
假受立金	一,〇六六,九〇九	一,〇六六,九〇九													
積立金	三六四,六五四	三六四,六五四													
前期利益	五九,三三三	五九,三三三													
前期繰越金	三,一六六,〇六六	三,一六六,〇六六													

備考 資産中「雑勘定」は假拂金。

(十) 西武鐵道

科目別	年度別		昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度	
	資	産	内		内		内		内		内		内	
			未払株金	固定資産	建設費	内軌道	内軌道	内軌道	内軌道	内軌道	内軌道	内軌道	内軌道	内軌道
合計	四,九〇〇,〇〇〇	四,九〇〇,〇〇〇	二,四六,七六六	一,〇一〇,七六六	二,五五,一七三	七三,四九一	一,七〇,六六六	五五,六一九	三,六八,二一七	五五,〇七六	三六,六二七	二,四三,六二七	七〇,一五五	
未払株金	四,九〇〇,〇〇〇	四,九〇〇,〇〇〇	二,四六,七六六	一,〇一〇,七六六	二,五五,一七三	七三,四九一	一,七〇,六六六	五五,六一九	三,六八,二一七	五五,〇七六	三六,六二七	二,四三,六二七	七〇,一五五	
固定資産														
建設費	一五,一〇七,〇〇〇	一五,一〇七,〇〇〇												
内軌道	一三,三九七,五五五	一三,三九七,五五五												
内軌道	一〇,七五〇,七五五	一〇,七五〇,七五五												
内軌道	二,六四六,五五五	二,六四六,五五五												
内軌道	一〇,九〇五	一〇,九〇五												
内軌道	一三,三三二	一三,三三二												
内軌道	一,七七七,五五五	一,七七七,五五五												
土地建物勘定														
早稲田線假出金	六四四,六五五	六四四,六五五												
流動資産														
有價証券	一四四,六六一	一四四,六六一												
貯蔵物品	三四八,〇七五	三四八,〇七五												
未収入金	一七二,八八九	一七二,八八九												
預金及現金	八六,〇〇三	八六,〇〇三												
合計	三,一六六,〇六六	三,一六六,〇六六												
資	三,一六六,〇六六	三,一六六,〇六六												
負債														
社債	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇												
借入金	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇												
支拂手形	一,一〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇												
未払金	一九七,九七三	一九七,九七三												
預有價証券	一九一,六四三	一九一,六四三												
社積立金	二〇三,八四七	二〇三,八四七												
假受立金	一,〇六六,九〇九	一,〇六六,九〇九												
積立金	三六四,六五四	三六四,六五四												
前期利益	五九,三三三	五九,三三三												
前期繰越金	三,一六六,〇六六	三,一六六,〇六六												

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
未拂金	一四、一四七	一六、〇三〇	一〇四、四〇〇	一三、三三三	一五、二七六	一六、九二九
保証預り金	一、二四四	一、一九四	一、一九四	九六六	九〇六	四一
組立預り金	三、三六六	三、六六〇	二九、三六六	三三、〇六六	三六、〇六〇	三三、五七〇
假受立金	三三、〇〇九	二〇、二四六	三三、元九二	二四、一五四	三、九六一	五、九六一
積立金	二四、一六三	三九、六五三	三七、〇五五	一八七、一六五	一八七、三三〇	一八七、三三〇
前立金	四、七五七	一八五、二九三	五、七六六	一〇、一九七	—	—
当期利益金	八、五〇四	二、七七一	三、七六六	二、八四五	—	—
合計	三、三三、三六八	三、七三、三九六	三、三六、九八四	三、七三、四四五	三、七四、三三三	三、一〇、五一一

備考 資産中「雑勘定」には假拂金、前期繰越損失金及当期損失金を含む

(十一) 武藏野鐵道

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
未拂込株金	四、九一八、九〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇
固定資産	一四、七〇六、七〇〇	一四、七二七、四七七	一四、八三三、〇〇六	一四、八七三、六元	一四、八八四、八六九	一四、八九三、〇〇三
建設費	一四、四三二、七七一	一四、四六二、六〇〇	一四、五四〇、九七一	一四、六〇一、九〇七	一四、六三三、七七七	一四、六三三、九一〇
内 鐵道	一四、三三三、八〇三	一四、三六二、九三〇	一四、三九六、六三三	一四、四九八、四五六	一四、四〇〇、一三六	一四、四〇〇、六六四
内 乗合	—	—	六、六六元	一〇三、七三二	一三、九一九	一三、〇五八
内 供給	—	九、七七一〇	九、九、七〇〇	九、九、七〇〇	九、九、七〇〇	九、九、七〇〇
土地建物	二六四、三三九	二六四、八三七	二六九、〇七七	二七〇、七三三	二七〇、九三三	二七〇、九三三
流動資産	一、〇〇〇、四三三	一、〇八九、七〇四	一、二三五、八二四	一、三六七、三五三	一、四四一、二八三	一、三六六、六三三
合計	一、〇〇〇、四三三	一、〇八九、七〇四	一、二三五、八二四	一、三六七、三五三	一、四四一、二八三	一、三六六、六三三

備考 資産中「雑勘定」には假出金、社債の發行費、鐵道財團強制管理勘定、同上配當引當金、前期繰越損失金及当期損失金を含む

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
有価証券	四九、八六八	五二、〇五四	五二、五九七	五〇、九六五	五二、〇六六	五二、九六八
受取手形	三三、六九	三九、八四七	二四、八三六	三九、八三六	三九、七三三	三九、七三三
貯蔵物品	九五、九七五	九二、三三六	八二、〇三三	九九、七元	七、八九三	七、八九三
未収入金	一〇四、九一四	二〇、八一六	三六五、一三九	五四、三〇一	三三、八七	三〇、七三
預金及現金	一五、九六六	一五、六九元	四、二四六	二、五五〇	六、七三	一、九二、六八
合計	三、三三、三六八	三、七三、三九六	三、三六、九八四	三、七三、四四五	三、七四、三三三	三、一〇、五一一
資本	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
資本準備金	(七、〇八、九一〇)	(七、一〇〇、〇〇〇)	(七、一〇〇、〇〇〇)	(七、一〇〇、〇〇〇)	(七、一〇〇、〇〇〇)	(七、一〇〇、〇〇〇)
社債	六、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇
借入金	二、七九、九七七	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇	二、九〇〇、〇〇〇
支拂手形	六、一一、七〇〇	六、七、九七〇	六、七、九七〇	六、七、九七〇	六、七、九七〇	六、七、九七〇
未拂込金	五元、三七七	六、〇、五〇〇	一、〇四二、四六〇	一、五〇一、四五三	一、四〇〇、八三三	一、九三五、一九二
借入保証有價証券	—	—	—	—	—	—
預り金	—	六、二五〇	四、四一一	五、八四二	六、四九九	七、六七七
職員積立金	一七、八七七	三三、〇〇六	二〇、〇〇九	一〇、九〇七	三三、九六六	二六、〇九六
假受立金	一〇八、四四六	五〇、一四四	五、三三六	一三、二二六	六、一、四四三	八五、九三三
積立金	一八、〇〇〇	一七、九〇〇	一七、九〇〇	一七、九〇〇	一七、九〇〇	一七、九〇〇
前期利益金	—	—	—	—	—	—
合計	三、三三、三六八	三、七三、三九六	三、三六、九八四	三、七三、四四五	三、七四、三三三	三、一〇、五一一

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
資	一九一、五五〇	二八三、五〇四
內未收入金	一、〇〇〇	一、三三七
譯現金及預金	九七二、二七〇	九六六、〇九〇
合計	一、〇七三、八二〇	六、九六六、六六六
負債	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
社債	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
借入金	一、〇〇一、七四一	三、四六、七四四
支拂手形	一〇、九〇〇、〇〇〇	一九、〇〇〇、〇〇〇
未拂拂	二六二、九五五	五、〇〇一、五七七
保費	一六四、七六六	二、四四、三三九
社員積立	三三六、〇七四	三、一八、八二六
假受立	九、六五四	四、三三〇
積立	五、三七六、六八〇	五、五〇一、三三九
前線越	八五二、一四〇	六三三、〇七四
當期利益	一、四八八、二四八	一、二九七、〇四六
合計	九、〇七三、八二〇	六、九六六、六六六

備考 資產中「雜勘定」ニハ假拂金及社債發行費を含む

(十四) 京成電氣軌道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
未拂込株金	八、五〇〇、〇〇〇	五、三三八、五三三
固定資産	三〇、六九一、四三〇	三〇、四三〇、二八〇
建設費	三〇、四八六、二九六	三〇、二〇四、四九五
軌道費	三、五九七、九三二	二六、三三七、五七九
乘合給	四、三〇七、六六六	四、四三五、五七五
供地備	一、三三三、八八五	一、三五八、九三九
遊園地設	一、九五二、〇九二	二、〇〇四、八三二
建造物	一、七〇、七〇二	一、六七、五七一
什器	四九、五五一	五〇、一八一
假出鐵道建設費	二五三、五三三	一七五、六〇四
流動資産	二、八六〇、六四七	四、〇三三、九〇七
有價証券	一、二六八、五三二	一、三五六、一三二
受取手形	四七〇、〇〇〇	五八六、〇〇〇
貯蓄物品	四三、二七〇	三三、六六〇
未收入金	一九一、〇五五	一八八、六六八
預金及現金	八七、七五二	一、八六八、四四八
土地延賣勘定	二五八、一三二	二五三、〇八六
雜勘定	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇
合計	一〇、〇七三、八二〇	一〇、〇七三、八二〇
負債	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
社債	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
借入金	一、〇〇一、七四一	三、四六、七四四
支拂手形	一〇、九〇〇、〇〇〇	一九、〇〇〇、〇〇〇
未拂拂	二六二、九五五	五、〇〇一、五七七
保費	一六四、七六六	二、四四、三三九
社員積立	三三六、〇七四	三、一八、八二六
假受立	九、六五四	四、三三〇
積立	五、三七六、六八〇	五、五〇一、三三九
前線越	八五二、一四〇	六三三、〇七四
當期利益	一、四八八、二四八	一、二九七、〇四六
合計	九、〇七三、八二〇	六、九六六、六六六

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
社債	10,000,000	10,000,000	11,700,000	17,000,000	17,000,000	10,000,000
未借入金	8,550,000	10,100,000	11,350,000	7,750,000	8,020,000	4,950,000
東京地下鐵勘定	101,975	14,390	76,294	1,951,261	110,996	9,435
使用人積立	113,104	5,666	14,435	1,456,661	1,668	16,755
假受積立	29,167	13,756	13,036	37,744	5,912	4,156
積立	2,894,033	2,399,916	2,355,843	2,519,770	2,633,957	2,855,333
前期繰越	303,440	311,046	311,666	317,444	377,444	352,944
前期利益	74,855	76,279	84,136	82,661	94,845	1,067,749
合計	14,114,014	14,026,604	14,718,114	14,949,921	14,956,921	14,010,111

備考 資産中「雜勘定」假拂金

(十五) 城東電氣軌道

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
未拂込株	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	840,000	840,000
固定資産	3,996,623	3,947,133	3,966,661	3,751,974	3,733,840	3,755,000
建設費	3,766,544	3,700,423	3,749,766	3,567,474	3,551,544	3,500,911
軌道費	3,562,693	3,544,066	3,557,474	3,363,156	3,333,063	3,355,655
乘合	687	14,363	1,681	1,505	3,344	6,044
建造物	107,034	101,831	196,631	191,431	186,488	181,008
合計	6,170,734	6,153,530	6,164,362	6,155,474	6,117,372	6,168,012

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
土地及建物	35,500	35,384	35,375	30,555	30,677	30,910
什器及機械	13,485	13,592	13,745	13,745	13,745	13,745
擴張勘定	34,006	37,744	37,745	37,745	37,745	37,745
流動資産	32,180	17,067	14,253	24,942	4,000	1,916
有價証券	55,355	5,355	5,355	6,100	6,100	6,000
受取手形	8,000	—	—	—	—	—
貯藏物品	3,000	4,075	4,169	2,333	2,500	2,500
現金及預金	105,746	71,437	44,366	14,866	5,900	16,809
葛飾乘合勘定	—	50	—	—	—	—
合計	5,368,212	5,355,574	5,323,696	5,323,696	4,774,767	4,774,767
社債	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
未借入金	8,266	4,968	3,941	2,081	1,576	3,362
借入	31,100	32,810	32,810	32,810	32,810	32,810
保證金	10,996	11,310	11,310	11,310	11,310	11,310
積立	13,110	12,550	7,430	25,629	10	33,666
假受積立	297,003	289,269	297,860	305,950	344,669	336,333
前期繰越	81,900	82,322	76,185	73,381	71,433	66,666
前期利益	67,934	54,846	30,070	49,440	54,336	60,566
合計	5,368,212	5,355,574	5,323,696	5,323,696	4,774,767	4,774,767

備考 資産中「雑勘定」は假出金
(十六) 東京地下鐵道

科目別	年度別	昭											
		昭五	昭六	昭七	昭八	昭九	昭十	昭五	昭六	昭七	昭八	昭九	昭十
資	未拂込株金	三〇,〇〇〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇	二六,〇九三,三五五	三三,〇一四,三九〇	一八,一〇四,九六〇	一四,〇五三,三四五	三〇,〇〇〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇	二六,〇九三,三五五	三三,〇一四,三九〇	一八,一〇四,九六〇	一四,〇五三,三四五
	固定資産	二〇,七三三,二五〇	二五,二六一,六一一	二二,三三〇,三〇一	三六,九四四,九六〇	四三,二三〇,五五二	四五,一九三,六九〇	二〇,七三三,二五〇	二五,二六一,六一一	二二,三三〇,三〇一	三六,九四四,九六〇	四三,二三〇,五五二	四五,一九三,六九〇
	建設費	一七,三七七,五七七	二二,九三三,五三三	二六,三四一,一九六	三三,四七七,〇〇七	三九,九九二,九九六	四二,三九五,四九一	一七,三七七,五七七	二二,九三三,五三三	二六,三四一,一九六	三三,四七七,〇〇七	三九,九九二,九九六	四二,三九五,四九一
	内訳	一六,八九六,七五〇	二一,五〇八,三三〇	二七,〇四六,一九六	三二,九二七,一六〇	三八,三七八,四八四	四〇,七二四,四一七	一六,八九六,七五〇	二一,五〇八,三三〇	二七,〇四六,一九六	三二,九二七,一六〇	三八,三七八,四八四	四〇,七二四,四一七
	土地建物	一,九四四,六六六	一,九六六,八三四	二,二〇〇,二四四	二,一九四,九八八	二,二〇〇,二四四	二,二二二,四〇七	一,九四四,六六六	一,九六六,八三四	二,二〇〇,二四四	二,一九四,九八八	二,二〇〇,二四四	二,二二二,四〇七
	仮出物	七七七,七二二	八六〇,九〇七	七八一,三二八	八六六,五三三	八六六,五三三	八六六,五三三	七七七,七二二	八六〇,九〇七	七八一,三二八	八六六,五三三	八六六,五三三	八六六,五三三
	未決工事費勘定	六三三,二九六	五二一,〇五八	一六六,五四三	四三七,四三三	四三七,四三三	四三七,四三三	六三三,二九六	五二一,〇五八	一六六,五四三	四三七,四三三	四三七,四三三	四三七,四三三
	流動資産	五五五,二一九	六七〇,八五二	一,七二五,四九四	一,四七三,〇三六	二,八四一,九六三	二,八四一,九六三	五五五,二一九	六七〇,八五二	一,七二五,四九四	一,四七三,〇三六	二,八四一,九六三	二,八四一,九六三
	有価証券	二七,八〇一	三六,五五五	四九,九八五	五五,六〇〇	一,九三三,八八八	一,七〇,〇〇〇	二七,八〇一	三六,五五五	四九,九八五	五五,六〇〇	一,九三三,八八八	一,七〇,〇〇〇
	内訳	一〇一,二二四	五三,六九八	九九,八九〇	一,二三三,七四四	八二二,〇七六	九〇一,九九九	一〇一,二二四	五三,六九八	九九,八九〇	一,二三三,七四四	八二二,〇七六	九〇一,九九九
貯取物品	三二,五九〇	二二,三三三	七,七一一	七,三九四	六,八五五	五,三三〇	三二,五九〇	二二,三三三	七,七一一	七,三九四	六,八五五	五,三三〇	
未収入金	一四一	二五,八八五	六八〇,八九八	一七,〇三〇	三三,八五三	三三,八五三	一四一	二五,八八五	六八〇,八九八	一七,〇三〇	三三,八五三	三三,八五三	
預金及現金	五,五〇〇	一三,〇〇〇	一七,〇三〇	一七,〇三〇	一七,〇三〇	一七,〇三〇	五,五〇〇	一三,〇〇〇	一七,〇三〇	一七,〇三〇	一七,〇三〇	一七,〇三〇	
社員共済基金	三〇,九一九	八一,三五九	一五,七六〇	三二,八五三	一〇六,九〇七	二九六,一六〇	三〇,九一九	八一,三五九	一五,七六〇	三二,八五三	一〇六,九〇七	二九六,一六〇	
雑勘定	三〇,九一九	八一,三五九	一五,七六〇	三二,八五三	一〇六,九〇七	二九六,一六〇	三〇,九一九	八一,三五九	一五,七六〇	三二,八五三	一〇六,九〇七	二九六,一六〇	
合計	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	

負債
資(内拂込金)

科目別	年度別	昭											
		昭五	昭六	昭七	昭八	昭九	昭十	昭五	昭六	昭七	昭八	昭九	昭十
債	社借入	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇
	支拂手形	七,五五〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	一〇,六二〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	七,五五〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	一〇,六二〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇
	未拂込	三,二七四,三三三	二,一六三,三三三	三,六〇〇,〇〇〇	三,九六二,二四一	四,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	三,二七四,三三三	二,一六三,三三三	三,六〇〇,〇〇〇	三,九六二,二四一	四,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇
	職員積立	四,一〇〇,〇〇〇	七,〇三三,三三三	九〇,九二二	一一,九九九	一〇一,〇五三	一〇一,〇五三	四,一〇〇,〇〇〇	七,〇三三,三三三	九〇,九二二	一一,九九九	一〇一,〇五三	一〇一,〇五三
	假受立	一〇〇,〇〇〇	三,〇五八	二九,八九七	五〇,三六五	五九,三九一	五九,三九一	一〇〇,〇〇〇	三,〇五八	二九,八九七	五〇,三六五	五九,三九一	五九,三九一
	積立	二三三,八二三	一六〇,八二三	一九三,九八八	二二七,一〇七	三三六,二四二	四〇六,一〇七	二三三,八二三	一六〇,八二三	一九三,九八八	二二七,一〇七	三三六,二四二	四〇六,一〇七
	前線	一八七,九三七	一五五,五二八	一六九,七〇〇	一八〇,七九〇	二四八,九四九	二七二,四八七	一八七,九三七	一五五,五二八	一六九,七〇〇	一八〇,七九〇	二四八,九四九	二七二,四八七
	当期利益	二七三,三三五	二九〇,五四一	三三四,〇〇一	四九九,九三六	五四八,六二五	四三四,〇〇一	二七三,三三五	二九〇,五四一	三三四,〇〇一	四九九,九三六	五四八,六二五	四三四,〇〇一
	合計	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇

備考 資産中「雑勘定」は假拂金

二、電氣軌(鐵)道主體別損益計算

總括表

科目別	年度別	昭											
		昭五	昭六	昭七	昭八	昭九	昭十	昭五	昭六	昭七	昭八	昭九	昭十
收	入	八二,一四七,三七六	七六,〇四五,三三三	七六,一四六,九三三	七七,四三〇,四一七	八〇,二六六,六〇一	八六,五八四,五七九	八二,一四七,三七六	七六,〇四五,三三三	七六,一四六,九三三	七七,四三〇,四一七	八〇,二六六,六〇一	八六,五八四,五七九
	供給	五六,八五四,七二六	五二,八四九,一八九	五二,八六六,八〇六	五二,〇九五,四三三	五二,一五九,四八八	五三,二二一,一五八	五六,八五四,七二六	五二,八四九,一八九	五二,八六六,八〇六	五二,〇九五,四三三	五二,一五九,四八八	五三,二二一,一五八
乘	給	一七,二六六,八七九	一七,二四四,一六一	一七,四七八,三二六	一八,六五五,四四七	一九,六〇一,四七五	二二,三三三,四三六	一七,二六六,八七九	一七,二四四,一六一	一七,四七八,三二六	一八,六五五,四四七	一九,六〇一,四七五	二二,三三三,四三六
	合計	四,七九八,三三三	四,七四四,六三二	四,三七七,八六六	五,〇九七,七三六	七,二八一,六二二	八,八八九,六六一	四,七九八,三三三	四,七四四,六三二	四,三七七,八六六	五,〇九七,七三六	七,二八一,六二二	八,八八九,六六一

科目別	年度別				
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度
収入	1,919,079	1,857,750	1,877,699	2,077,361	2,177,347
引当金	885,606	757,533	834,121	826,416	1,033,519
経費	1,033,512	1,046,217	1,044,588	1,500,833	1,338,055
差引	599,861	653,999	601,989	649,811	570,033
純益	434,255	403,858	433,699	477,534	518,490
対経費	44.1%	40.9%	44.4%	43.8%	45.1%
対収入	22.4%	21.6%	21.2%	21.7%	20.5%
対純益	6.6%	6.8%	6.3%	6.4%	6.7%
対純益	5.9%	5.5%	5.4%	5.3%	5.9%

(六) 五川電気鐵道

科目別	年度別				
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度
収入	2,956,233	2,873,650	2,844,101	2,925,623	3,044,533
引当金	1,914,625	1,857,423	1,885,940	1,977,021	2,002,555
経費	1,043,577	1,008,887	958,161	955,661	1,041,997
差引	2,511,231	2,711,920	2,717,999	2,811,961	2,961,985
純益	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
対経費	37.5%	39.5%	39.6%	39.3%	39.3%
対収入	13.5%	13.6%	13.7%	13.6%	13.1%
対純益	100%	100%	100%	100%	100%
対純益	12.5%	12.8%	12.8%	12.8%	12.8%

(七) 帝都電鐵

科目別	年度別				
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度
収入	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
引当金	0	0	0	0	0
経費	0	0	0	0	0
差引	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000
純益	0	0	0	0	0
対経費	0%	0%	0%	0%	0%
対収入	0%	0%	0%	0%	0%
対純益	0%	0%	0%	0%	0%
対純益	0%	0%	0%	0%	0%

(八) 小田原急行鐵道

科目別	年度別				
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度
収入	2,998,833	2,577,255	2,508,522	2,566,511	2,641,919
引当金	1,471,151	1,343,449	1,433,520	1,361,819	1,455,618
経費	1,518,733	1,193,736	1,075,062	1,234,773	1,196,141
差引	1,000,949	1,140,070	1,403,940	1,170,919	1,349,760
純益	481,618	709	107,601	81,777	160,618
対経費	32.1%	27.5%	27.7%	27.6%	27.3%
対収入	33.7%	27.9%	27.7%	27.9%	27.9%
対純益	100%	100%	100%	100%	100%
対純益	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	99.2	5.0
建設費	9.6	7.1
対経費	4.1	3.0
引当金	2.8	1.1
純利益	80.7	81.8
繰入金	2.8	1.1

備考、昭和五年上期まで二・五分の配當をなす。

(九) 京王電氣軌道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	3,577,255	3,333,590
建設費	1,810,755	1,797,133
対経費	1,466,400	1,477,366
引当金	263,856	299,337
純利益	400,000	400,000
繰入金	1,182,542	1,008,212
繰入金	1,182,542	1,008,212

(十) 西武鐵道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	1,759,949	1,544,911
建設費	1,018,875	977,255
対経費	707,064	576,616
引当金	398,000	451,423
純利益	309,000	46,000
繰入金	309,000	46,000
繰入金	309,000	46,000

(十一) 武蔵野鐵道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	1,033,446	1,033,644
建設費	95,112	85,733
対経費	344,357	377,912
引当金	67,766	73,148
純利益	547,811	497,851
繰入金	547,811	497,851
繰入金	547,811	497,851

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	七・六	六・八
建設費	九・一	八・三
対費	二・四	二・七
差引		
純益		
銷却		
支拂		
差引		
経費		
収入		
昭和七年度	六・九	六・七
昭和八年度	七・七	八・四
昭和九年度	八・三	八・三
昭和十年度	七・四	八・六

(十二) 王子電氣軌道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	四、四六、四七五	四、三九、一〇〇
建設費	二、六三、七三五	二、五八、六六九
対費	一、八七、七五〇	一、七六、四六一
差引		
純益		
銷却		
支拂		
差引		
経費		
収入		
昭和七年度	四、三一、六八八	二、四八、七三五
昭和八年度	四、四九、〇三六	二、九一、四八六
昭和九年度	四、八三、九一六	二、九八、〇四九
昭和十年度	五、四四、七三三	三、三〇、七二五

(十三) 東武鐵道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	八、五二、四九八	七、六三、三三九
建設費	三、〇〇、〇〇〇	三、〇〇、〇〇〇
対費	九・三	九・一
差引		
純益		
銷却		
支拂		
差引		
経費		
収入		
昭和七年度	八、八八、七九六	八、八八、七九六
昭和八年度	九、〇〇、二五七	九、〇〇、二五七
昭和九年度	九、〇五、三六〇	九、〇五、三六〇
昭和十年度	九、一七、三三四	九、一七、三三四

備考 昭和六年下期(考課状では上期)に於て五〇萬圓増資資本金五〇、五〇〇、〇〇〇圓となる

(十四) 京成電氣軌道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	四、四八、六九八	四、三九、六五三
建設費	二、七三、二八	一、九四、八九四
対費	二、七六、五二	二、三九、七五九
差引		
純益		
銷却		
支拂		
差引		
経費		
収入		
昭和七年度	四、九九、六七七	二、二〇、一九八
昭和八年度	五、二四、九五二	二、七三、四三三
昭和九年度	五、五五、二〇七	二、九八、四六〇
昭和十年度	六、〇五、七七一	三、一六、七四四

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
拂込金	七・八	六・九
差引純益金	二・七	八・八
拂込金		
差引純益金		
昭和七年度	七・二	一〇・〇
昭和八年度	六・三	八・四
昭和九年度	六・一	七・四
昭和十年度	六・五	八・〇

備考 昭和十年上期に於て資本金を二〇、二五〇、〇〇〇圓より四〇、五〇〇、〇〇〇圓に増額す

(十五) 城東電氣軌道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	六五、二九元	五三、二七六
差引純益	三六、二九元	二四八、〇〇五
支拂金	二九五、二八〇	二五五、七七一
差引純益	二二、二七六	二〇、二七一
収入	一三三、七七八	一三三、五五〇
差引純益	一五七、七〇〇	一〇、六四四
支拂金	五五、一	四九、三
差引純益	一七、四	一三、四
収入	七八	六・八
差引純益	八・八	六・三
昭和七年度	四三、四九元	三三、七四元
昭和八年度	四六、五八七	三六、四八五
昭和九年度	四三、三三三	三七、四四四
昭和十年度	五二、三二六	二六、九七二

(十六) 東京地下鐵道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
収入	一、九〇、〇四四	一、二四、九七一
差引純益	五七、六三三	三四、九六一
支拂金	八七、三九一	九六、八三〇
差引純益	二〇九、二六四	一七五、一七九
収入	六六、二二七	六〇、六五一
差引純益	三、〇	三〇、五
支拂金	八・二	五・一
差引純益	五・一	三・六
収入	八・三	六・三
差引純益		
昭和七年度	一、五五、一八八	六二、六三二
昭和八年度	二、〇〇、九一九	七〇、九六三
昭和九年度	二、四三、一五〇	七九、〇九三
昭和十年度	二、七四八、五九元	八三七、四七七

三、事業別損益計算

本表は各経営主體の收支を事業別に分割し、各事業の經營状態を明かにせるものにして、支拂利子及銷却金の事業別(考課狀に於て)に不明なものは各建設費に按分し計上す。

(一) 電軌(鐵)道事業

(一) 東京市電氣局

(三) 池上電気鐵道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
客車收入	六七、三三〇	六七、〇〇〇
雜運收入	六二、九一七	六〇、九二六
總收入	五四、八三三	五七、六五三
營業費	三、三三五	五、六一九
保費	二九八、五八四	三〇九、七二一
電車存貯費	四七、三三八	五二、六六五
運輸費	一四三、〇九五	一三七、七三三
總運費	六四、二四五	六四、九二四
差引	四四、九六六	五四、五九九
支拂	三六、七五〇	三六、〇八九
銷却	二二、三三六	二四七、七九三
純利益	二二、二五〇	三三、六九四
建設費	二四、二六〇	七九、〇〇三
收入	四一、一〇一	四六、二八二
差引	九、九	九、八
建設費	五、六	三、五

昭和七年度

客車收入	六八、九九九
雜運收入	六二、六二六
總收入	六〇、三〇七
營業費	七、〇七六
保費	三六、七〇一
電車存貯費	五、六二五
運輸費	一三四、三六四
總運費	六、一四九
差引	六、五七三
支拂	三六、二九八
銷却	二四六、八四五
純利益	三、一七一
建設費	八四、二八二
收入	四六、四
差引	九、八
建設費	三、五

昭和八年度

客車收入	六六、五五〇
雜運收入	六二、〇九九
總收入	五四、六四五
營業費	七、八〇六
保費	三六、九二一
電車存貯費	五、五〇〇
運輸費	一四四、四三八
總運費	七、五二七
差引	六〇、七五六
支拂	三四九、六三九
銷却	三三、八四八
純利益	一六、八八六
建設費	九四、九〇五
收入	四九、一
差引	九、八
建設費	三、四

昭和九年度

客車收入	三三、七〇〇
雜運收入	三三、〇四五
總收入	二四、四九八
營業費	一六七
保費	一七一、六七六
電車存貯費	二八、九四六
運輸費	七六、五三三
總運費	四、四九五
差引	二二、七二二
支拂	一七六、〇三四
銷却	一一、七三四
純利益	一〇、三〇〇
建設費	六〇、三〇〇
收入	四九、四
差引	二、四
建設費	

昭和十年度

客車收入	三、〇三三、〇七
雜運收入	二、四七九、六〇〇
總收入	一、七三三
營業費	三、四〇六
保費	一、〇三三、一八四
電車存貯費	二、四四一、七三
運輸費	一、八四一、二五三
總運費	六二八、七八三
差引	三〇八、二二九
支拂	二二二、〇〇九
銷却	一、七〇〇、〇三三
純利益	七二、三四〇
建設費	九七、六六三
收入	四、二
差引	一七八
建設費	九八

備考 昭和九年は上半期のみ

(四) 目黒蒲田電鐵

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
客車收入	二、七三、三五〇	二、九六、五二五
雜運收入	一、五二、九五三	一、五〇、八四四
總收入	三、二九、九〇三	一、六、〇六六
營業費	三、九五六	四七、四七七
保費	四、七六六	七二、〇九八
電車存貯費	六四、六五四	八九四、六八四
運輸費	九三、七三二	一、一、一四九
總運費	一三七、三五八	四〇、一四四
差引	四二、八五六	一九三、四四〇
支拂	一四、九八八	一六、三九一
銷却	一、三三、六六元	一、四〇、八三一
純利益	七、四〇〇	七九、二七〇
建設費	五、〇〇〇	五、五六一
收入	四、一	三、〇
差引	一、一	一、三
建設費		

昭和七年度

客車收入	二、四〇、八九六
雜運收入	一、五二、二七八
總收入	一、七、五五六
營業費	五、四四九
保費	八二、〇八三
電車存貯費	八八、〇三三
運輸費	一三、五六一
總運費	四〇、〇三三
差引	一八、一四三
支拂	一、六、三三八
銷却	一、五七、〇三三
純利益	八四、〇七八
建設費	六、六、二四五
收入	三、六
差引	一、四、七
建設費	

昭和八年度

客車收入	二、四三、七三〇
雜運收入	一、五九、八〇七
總收入	一、四、七三三
營業費	五、六九五
保費	五八三、四九六
電車存貯費	九〇、六八二
運輸費	一四、〇五三
總運費	四一、四、五二二
差引	一八、二、六五九
支拂	一、六八、七〇九
銷却	一、三、七、三三八
純利益	六四、六、九四四
建設費	六、九、一、二四四
收入	四、四
差引	二、七
建設費	

昭和九年度

客車收入	二、九〇、七、八五五
雜運收入	二、〇、三八五
總收入	一一、七三三
營業費	八二、六七二
保費	七、四、八七六
電車存貯費	一、一、四、一七三
運輸費	一、八四、二五三
總運費	四、八、三六三
差引	二、五〇、三三三
支拂	二、三、三五
銷却	一、七、六、六八四
純利益	六八、九二一
建設費	一、〇、四、七三三
收入	三、二
差引	一〇、四
建設費	

昭和十年度

客車收入	三、〇三三、〇七
雜運收入	二、四七九、六〇〇
總收入	一一、七三三
營業費	三、四〇六
保費	一、〇三三、一八四
電車存貯費	二、四四一、七三
運輸費	一、八四一、二五三
總運費	六二八、七八三
差引	三〇八、二二九
支拂	二二二、〇〇九
銷却	一、七〇〇、〇三三
純利益	七二、三四〇
建設費	九七、六六三
收入	四、二
差引	一七八
建設費	九八

(五) 東京横濱電鐵

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
客車收入	一、三六五、二五三	一、四〇八、四四一	一、五五七、二五一	一、六五七、九三三	一、七四三、五九七	二、〇一八、三三三
貨車收入	九〇五、八四二	九四一、七六六	一、一〇〇、八三五	一、一三三、六四三	一、三六四、三六六	一、四七三、九一〇
雑収入	四、四七〇	四七、三三〇	三三、四八五	四〇、九三〇	二五、三三一	一七、四四五
雑収入	六二、九三三	三三、七〇八	六六、一四六	七四、六四四	六九、三九九	七六、五九〇
経営費	三三三、九三三	三三三、七三三	三三三、七三三	三三三、七三三	三三三、七三三	三三三、七三三
保車費	七五〇、三三三	六五五、五〇五	七三六、九九九	六九一、五九九	六三九、四九九	一、〇〇〇、三三三
電車費	一五三、九三三	一七、一六一	一四、三六六	一四、〇〇〇	一五、七六一	三三、四九九
總運費	二七六、四三三	二五一、一八〇	二八九、二八〇	三〇〇、〇〇〇	三三三、〇〇〇	三三三、〇〇〇
差引	二〇四、二七七	一八二、二四一	二〇六、九五八	二〇六、四三三	三三三、〇〇〇	二七、五三三
支拂	二六、五九九	一〇四、九三三	一六、三九五	一〇、九九七	一〇、九九七	一六、〇六六
銷却益	六五、二三四	七五、九三三	八〇、二五三	八七、三三四	九〇、〇〇〇	九七、〇〇〇
純益	一六九、二六六	二九四、五六四	三九一、三三三	四三三、五四三	五〇〇、七〇〇	五七六、九〇一
建設費	一〇、一〇一	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
差引	四、六	五、四	五、六	五、八	五、九	五、九

備考 一、雑収入中に鐵道補助金を含む。

(六) 玉川電氣鐵道

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度
客車收入	一、三三三、八七九	一、三三三、八七九	一、三三三、八七九	一、三三三、八七九	一、三三三、八七九	一、三三三、八七九
貨車收入	一、二五〇、六九九	一、二五〇、六九九	一、二五〇、六九九	一、二五〇、六九九	一、二五〇、六九九	一、二五〇、六九九
雑収入	三、九九九	八、六九九	七、一〇〇	四、〇〇〇	二、三九九	二、〇〇〇
雑収入	三三、三三三	三三、三三三	三三、三三三	三三、三三三	三三、三三三	三三、三三三
経営費	八七七、三三七	八四四、一五七	七九〇、〇〇〇	八〇三、三三四	八七三、三三八	八二五、〇〇〇
保車費	七四七、七三三	七五、六九九	六〇、九九九	六〇、九九九	六〇、九九九	六〇、九九九
電車費	六四四、二二二	六四四、二二二	六四四、二二二	六四四、二二二	六四四、二二二	六四四、二二二
總運費	三九九、八三三	三〇〇、六四七	二七〇、〇三三	三三三、三三三	三三三、三三三	三三三、三三三
差引	一三、八七七〇	九七、四二五	八九、五三三	九七、五三七	八七、三五〇	九五、〇二七
支拂	五六、五四三	三六、八七七	二九三、〇四三	二四三、三六六	二四三、三六六	二四三、三六六
銷却益	一三三、二二六	二六、九九九	二八、九九九	一〇九、二九五	一三三、二二六	一三三、二二六
純益	二二、五〇〇	二二、三三〇	二二、三三〇	二二、三三〇	二二、三三〇	二二、三三〇
建設費	三三、〇〇〇	二四、六四八	一五、一六三	一一、五五一	八、一九八	一三、五〇〇
差引	七、六	五、一	五、五	三、三	三、一	三、四

備考 本表の雑収入は遊園地收入なり

(九) 京王電氣軌道

科目別	年度別									
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十四年度
収入	一、六七四、九〇五	一、五二七、九八五	一、四一七、四六五	一、四〇八、五三三	一、四三三、三三九	一、四三三、三三九	一、四三三、三三九	一、四三三、三三九	一、四三三、三三九	一、四三三、三三九
客車収入	一、五三六、八二六	一、三九六、六五五	一、三二六、五三三	一、三三三、二四二	一、三三三、二四二	一、三三三、二四二	一、三三三、二四二	一、三三三、二四二	一、三三三、二四二	一、三三三、二四二
貨車収入	八四、八二二	七六、五九二	五五、九〇二	三六、九九九	三三、一〇三	三三、一〇三	三三、一〇三	三三、一〇三	三三、一〇三	三三、一〇三
雑収入	三五、三一一	二四、〇三九	二二、四六〇	二二、一〇三	二二、〇一〇	二二、〇一〇	二二、〇一〇	二二、〇一〇	二二、〇一〇	二二、〇一〇
経営費	一七、九七七	一八、七七一	二二、五八三	一四、〇一〇	一六、〇一〇	一六、〇一〇	一六、〇一〇	一六、〇一〇	一六、〇一〇	一六、〇一〇
保存費	八八四、三七五	七五、七六六	七六、一五七	八八、二一八	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇
電車収入	七九、一四二	六七、〇三三	七〇、四四五	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇	八五、八二〇
運輸費	三七七、一九三	三二、九七七	三七、一五三	四〇、一六七	四四、五五〇	四四、五五〇	四四、五五〇	四四、五五〇	四四、五五〇	四四、五五〇
係費	二八八、一三七	三七、六六九	二二、九〇九	二四、七、五〇六	二七、三、八三三	二七、三、八三三	二七、三、八三三	二七、三、八三三	二七、三、八三三	二七、三、八三三
差引金	一三九、八二四	九八、二二七	一〇七、二七〇	七四、六三三	七〇、三二四	七〇、三二四	七〇、三二四	七〇、三二四	七〇、三二四	七〇、三二四
支拂引金	七九〇、五三〇	七三、一〇九	六四九、三〇八	五八〇、二二五	五七五、五〇二	五七五、五〇二	五七五、五〇二	五七五、五〇二	五七五、五〇二	五七五、五〇二
引金	一七、六二〇	一九三、九四六	二九六、七二二	三〇〇、〇九九	二七六、三六六	二七六、三六六	二七六、三六六	二七六、三六六	二七六、三六六	二七六、三六六
却金	二五、七六八	二六、四四六	二六、〇〇八	二五、八三六	二五、八三六	二五、八三六	二五、八三六	二五、八三六	二五、八三六	二五、八三六
純益	五七、二二三	五二、二八七	三三、五一九	二五、四二〇	二七、三三〇	二七、三三〇	二七、三三〇	二七、三三〇	二七、三三〇	二七、三三〇
対費	五三、八	五、八	五四、三	五、八	五、八	五、八	五、八	五、八	五、八	五、八
建設費	一六、二	二、八	一、九	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四
差引金	七、六	六、二	五、五	四、七	四、七	四、七	四、七	四、七	四、七	四、七

備考 昭和十年度に於て創立記念費二〇、〇〇〇圓は事業別に経費中に繰入れ、記念費は建設費の率に依り按分す

(十) 西武鐵道

科目別	年度別									
	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十四年度
収入	一、六六六、三二四	一、四六六、〇一七	一、三六六、〇三二	一、三三三、五二九	一、三三三、三三九	一、三三三、三三九	一、三三三、三三九	一、三三三、三三九	一、三三三、三三九	一、三三三、三三九
客車収入	一、三九五、〇五四	一、一三五、〇一七	一、一五、四七三	一、一七六、五〇〇	一、一七六、五〇〇	一、一七六、五〇〇	一、一七六、五〇〇	一、一七六、五〇〇	一、一七六、五〇〇	一、一七六、五〇〇
貨車収入	一六、九一一	一四、一五九	一五、三三四	一三、七九五	一三、七九五	一三、七九五	一三、七九五	一三、七九五	一三、七九五	一三、七九五
雑収入	五五、三六一	四八、七六六	五八、三三三	五、五〇一	五、五〇一	五、五〇一	五、五〇一	五、五〇一	五、五〇一	五、五〇一
経営費	六、九四五	四、六六六	三、九四一	三、六九三	三、六九三	三、六九三	三、六九三	三、六九三	三、六九三	三、六九三
保存費	九七、二六三	八四、八一九	一〇〇、一三七	九三、五七五	九三、五七五	九三、五七五	九三、五七五	九三、五七五	九三、五七五	九三、五七五
電車収入	二五、三三六	一三、八四二	一六、六五一	一四、二〇八	一四、二〇八	一四、二〇八	一四、二〇八	一四、二〇八	一四、二〇八	一四、二〇八
運輸費	四五、〇五七	四三、一三九	四六、一三二	四七、五八八	四七、五八八	四七、五八八	四七、五八八	四七、五八八	四七、五八八	四七、五八八
係費	一四三、四八八	一四〇、〇〇七	一七二、六一九	一七、七〇八	一七、七〇八	一七、七〇八	一七、七〇八	一七、七〇八	一七、七〇八	一七、七〇八
差引金	二四、五二二	一八〇、三三三	一九五、六三六	八九、〇七一	八九、〇七一	八九、〇七一	八九、〇七一	八九、〇七一	八九、〇七一	八九、〇七一
引金	六九、〇九八	五四、一九八	三三、八九四	四九、九四四	四九、九四四	四九、九四四	四九、九四四	四九、九四四	四九、九四四	四九、九四四
却金	三九四、三〇三	四四七、六二二	四六、七〇五	四四、六、五〇三	四四、六、五〇三	四四、六、五〇三	四四、六、五〇三	四四、六、五〇三	四四、六、五〇三	四四、六、五〇三
純損	二九四、七九六	九三、五七七	一六、七九四	一三、四四二	一三、四四二	一三、四四二	一三、四四二	一三、四四二	一三、四四二	一三、四四二
対費	七、六	九、三	七、四	六、三	六、三	六、三	六、三	六、三	六、三	六、三
建設費	一、二	一〇、七	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一	一〇、一
差引金	五、二	四、〇	二、七	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四

備考 電車費には汽車費及ガソリン車費を含む 支拂引子及雑損整理費は建設費の率に依り按分す

(十一) 武藏野鐵道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
收 入	一、二六五、四二〇	一、二六四、六〇九
客 車 收 入	一、〇九四、二二四	八三五、四七〇
貨 車 收 入	一四一、八九四	二九六、四三三
雜 收 入	八、三三三	九、六六九
經 營 費	二、二二三	三、六六一
保 存 費	九二、一五五	七九、八二七
電 車 及 汽 車 費	一四〇、七五五	一三、〇九六
總 運 送 費	四四九、三三二	三五六、二五五
差 引 金	二四六、一七九	三三、八五三
支 拂 金	九、九二〇	七九、二〇三
銷 却 金	三、四〇、三〇六	三、八四、九二二
純 損 (△) 益	△ 八、九、五〇三	△ 三、〇、七二一
收 入 費	七、三、八	七、〇、〇
建 設 費	八、八	八、一
差 引 金	二、四	二、七

科目別	年度別	
	昭和七年度	昭和八年度
收 入	一、〇八二、九〇五	一、一三六、一〇
客 車 收 入	七五五、四六六	八二六、七五六
貨 車 收 入	二六八、三五六	二七五、三三三
雜 收 入	九、三三七	一一、三三六
經 營 費	二九、七二六	三三、八九五
保 存 費	七六、七四四	七九、七〇四
電 車 及 汽 車 費	一八、四四五	九七、一〇一
總 運 送 費	三四九、一七六	三五〇、九三三
差 引 金	二〇六、四四四	二五、一六五
支 拂 金	六四、六九九	七、五二六
銷 却 金	三、四四、七一一	三、七、四〇六
純 損 (△) 益	△ 二、五、七三三	△ 一、四、三九七
收 入 費	六、八、五	三、八、六三
建 設 費	七、五	七、九
差 引 金	二、四	二、五

科目別	年度別	
	昭和九年度	昭和十年度
收 入	一、一〇三、九三三	一、一三六、九三二
客 車 收 入	八三九、四九四	八五九、五〇〇
貨 車 收 入	二九八、八六〇	二四〇、四〇八
雜 收 入	八、二五〇	七、六五五
經 營 費	二六、三九九	三、四、四一九
保 存 費	八七五、六九七	八六四、七九八
電 車 及 汽 車 費	二四、四〇一	二九、八六三
總 運 送 費	三五九、八七〇	四七〇、九八一
差 引 金	二五七、〇八九	三三四、一三六
支 拂 金	一〇〇、三三七	八三、三〇九
銷 却 金	二、八、二二六	二、七、四一九
純 損 (△) 益	△ 一、四七、〇五五	△ 一、四七、五三四
收 入 費	七、九、三	七、五、九
建 設 費	七、七	七、九
差 引 金	一、六	一、九

(十二) 王子電氣軌道

科目別	年度別	
	昭和五年度	昭和六年度
收 入	一、三三〇、七八〇	一、〇三四、七五九
客 車 收 入	一、三〇、六四三	一、〇二六、一八五
貨 車 收 入	—	—
雜 收 入	—	—
經 營 費	一〇、一三七	八、五七四
保 存 費	七五、一五四	六五、一八六
電 車 費	一三二、〇六六	一〇四、七四四
總 運 送 費	四九六、九四四	四五六、六九三
差 引 金	三三、六三三	二八、二一〇
支 拂 金	八九、九八一	六八、〇〇九
銷 却 金	四九、三二六	三七六、七三三
純 損 (△) 益	二五、七七一	二六、一〇九
收 入 費	一六、八〇七	八六、〇〇四
建 設 費	六、一	三、六
差 引 金	一、三、六	一、一、五

科目別	年度別	
	昭和七年度	昭和八年度
收 入	八六二、六八八	八六六、七三三
客 車 收 入	八五四、七七七	八一九、五二六
貨 車 收 入	—	—
雜 收 入	—	—
經 營 費	七、九〇一	七、三三七
保 存 費	六〇八、二四二	六〇四、三九〇
電 車 費	一〇三、三三七	一一、三九四
總 運 送 費	四二八、九三五	四〇五、六七三
差 引 金	三〇、〇八九	二六、六九八
支 拂 金	四八、八九一	四八、六五五
銷 却 金	二五〇、四三六	三三三、三三三
純 損 (△) 益	二七、九二二	五、三三九
收 入 費	三〇、八〇〇	三三、七九八
建 設 費	九、六	九、三
差 引 金	二、八	二、五

科目別	年度別	
	昭和九年度	昭和十年度
收 入	八六六、七三三	八三三、七〇
客 車 收 入	八〇九、三六八	八〇九、三六八
貨 車 收 入	—	—
雜 收 入	—	—
經 營 費	七、三三四	一三、九四五
保 存 費	六六、一五三	六七、八六二
電 車 費	一三六、二九三	一五、九三五
總 運 送 費	四〇四、一五五	四三、九三七
差 引 金	二五、〇七三	一八、五四四
支 拂 金	六〇、六三三	七四、四六六
銷 却 金	一五〇、五〇〇	一六四、五〇八
純 損 (△) 益	一八九、三三五	一六、三三七
收 入 費	六七、九三五	六五、〇〇〇
建 設 費	七、七	八、〇
差 引 金	九、三	九、四

(十五) 城東電氣軌道

科目別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度	
	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入
客車雑收	604,006	500,037	491,187	466,603	364,311	379,633	375,044	375,044	403,977	403,977	376,477	403,977
運輸雑收	7,857	7,857	6,495	6,495	3,944	4,477	4,477	4,477	3,944	3,944	27,557	27,557
營業收入	16,722	16,722	6,226	6,226	8,845	34,556	34,556	34,556	34,556	34,556	34,556	34,556
保費	38,105	38,105	36,701	36,701	204,948	195,283	195,283	195,283	197,000	197,000	27,067	27,067
電車力係	25,264	25,264	17,033	17,033	3,223	3,223	3,223	3,223	3,223	3,223	14,491	14,491
動力係	140,900	140,900	90,721	90,721	85,147	82,391	82,391	82,391	82,391	82,391	82,391	82,391
總費	41,871	41,871	32,077	32,077	26,744	26,744	26,744	26,744	26,744	26,744	26,744	26,744
差引	5,553	5,553	47,858	47,858	46,551	46,551	46,551	46,551	46,551	46,551	46,551	46,551
引金	6,557	6,557	9,742	9,742	3,164	3,164	3,164	3,164	3,164	3,164	3,164	3,164
差引金	26,601	26,601	22,866	22,866	15,983	15,983	15,983	15,983	15,983	15,983	16,400	16,400
支拂	104,052	104,052	107,650	107,650	117,749	117,749	117,749	117,749	117,749	117,749	117,749	117,749
銷却	19,000	19,000	15,000	15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
純益	14,549	14,549	8,866	8,866	4,634	4,634	4,634	4,634	4,634	4,634	4,634	4,634
建設費	55,509	55,509	51,600	51,600	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
入對	17,000	17,000	2,200	2,200	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
差引金	7,500	7,500	6,000	6,000	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500

(十六) 東京地下鐵道

科目別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度	
	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入	入
客車雑收	1,008,133	980,000	944,185	939,055	1,108,499	1,056,377	1,266,011	1,271,700	1,732,833	1,721,657	2,133,749	2,133,749
運輸雑收	27,266	27,266	45,310	45,310	43,113	43,113	55,113	55,113	62,355	62,355	258,366	258,366
營業收入	230,185	230,185	252,110	252,110	308,000	308,000	332,256	332,256	422,912	422,912	484,933	484,933
保費	6,065	6,065	11,401	11,401	15,733	15,733	19,425	19,425	23,844	23,844	25,310	25,310
電車力係	65,057	65,057	80,374	80,374	101,100	101,100	126,426	126,426	156,218	156,218	193,421	193,421
動力係	67,168	67,168	39,176	39,176	48,199	48,199	59,166	59,166	66,554	66,554	77,722	77,722
總費	132,225	132,225	119,550	119,550	149,300	149,300	185,247	185,247	222,772	222,772	271,197	271,197
差引	78,000	78,000	72,560	72,560	88,696	88,696	103,009	103,009	126,140	126,140	153,736	153,736
引金	78,000	78,000	72,560	72,560	88,696	88,696	103,009	103,009	126,140	126,140	153,736	153,736
差引金	4,065	4,065	4,600	4,600	3,400	3,400	3,150	3,150	3,200	3,200	3,813	3,813
建設費	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600
入對	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600	26,600
差引金	4,065	4,065	4,600	4,600	3,400	3,400	3,150	3,150	3,200	3,200	3,813	3,813

二 乗合自動車事業

(一) 東京市電氣局

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度				
收入	四、〇七、三五	三、七三、七五				
乗車料收入	三、四七、〇〇	三、二七、六七				
雑収入	五九、三五	四八五、七五				
経営費	四、〇六、〇八	三、八九、四七				
差引	△ 八、九三	△ 六、七三				
支拂	三九、六〇	二六、九二				
銷却	一、六、〇三	一、九、六三				
純損(△)	△ 一、六、〇三	△ 一、九、六三				
收入對經營費	100.0%	104.4%				
建設費對收入	九〇.〇	八三.一				
差引	△ 〇.二	△ 一.五				
昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度			
收入	三、三二、二六〇	三、六〇、三八七	五、三三、九二	六、五七、二二		
乗車料收入	三、〇五、七〇	三、五八、五四七	四、九三、七〇	五、五五、四三		
雑収入	二六、五九	一三、八四〇	三九一、二〇	一、〇七、六五		
経営費	三、六三、〇三	三、七四、〇一	四、四〇、九一	五、一五、九一		
差引	△ 三〇九、七二	△ 五三、六四	△ 八三、三〇	△ 一、三七、一〇		
支拂	二四、七九〇	一五四、七七	一八九、九四	二〇〇、五七		
銷却	四三四、五三	二八、四三	六九三、二九	一、二六、五五		
純損(△)	△ 四、四三	△ 二八、四三	△ 八三、三〇	△ 一、二六、五五		
收入對經營費	107.3%	101.5%	83.4%	79.0%		
建設費對收入	七一.〇	六五.一	八二.一	九七.六		
差引	△ 六.六	△ 一.〇	△ 一三.四	△ 二〇.五		
昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	
收入	二、四三、二六	二、三三、七三	二、六〇、六	二、六六、一五七	二、九〇、八元	三、六六、六元
乗車料收入	二、三三、〇三	二、二二、四四	二、三五、八五三	二、四五、五九六	二、九〇、一〇一	三、五九、六元
雑収入	一〇.二三	一.五	六.六	一.〇	一.〇	一.〇
経営費	四、〇六、〇八	三、八九、四七	三、六三、〇三	三、七四、〇一	四、四〇、九一	五、一五、九一
差引	△ 八、九三	△ 六、七三	△ 三〇九、七二	△ 五三、六四	△ 八三、三〇	△ 一、三七、一〇
支拂	三九、六〇	二六、九二	二四、七九〇	一五四、七七	一八九、九四	二〇〇、五七
銷却	一、六、〇三	一、九、六三	四三四、五三	二八、四三	六九三、二九	一、二六、五五
純損(△)	△ 一、六、〇三	△ 一、九、六三	△ 四、四三	△ 二八、四三	△ 八三、三〇	△ 一、二六、五五
收入對經營費	100.0%	104.4%	107.3%	101.5%	83.4%	79.0%
建設費對收入	九〇.〇	八三.一	七一.〇	六五.一	八二.一	九七.六
差引	△ 〇.二	△ 一.五	△ 六.六	△ 一.〇	△ 一三.四	△ 二〇.五

(二) 京濱電氣鐵道

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度				
收入	二、六四、八四九	二、四九、〇六一				
雑収入	一八、八四九	二、四九、〇六一				
乗車料收入	一、八、九二	一、六、五三				
経営費	一、八、九二	一、六、五三				
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇				
支拂	一、八、九二	一、六、五三				
銷却	一、八、九二	一、六、五三				
純損(△)	△ 〇.〇	△ 〇.〇				
收入對經營費	100.0%	100.0%				
建設費對收入	〇.〇	〇.〇				
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇				
昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度			
收入	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九		
雑収入	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九		
乗車料收入	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三		
経営費	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三		
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇		
支拂	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三		
銷却	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三		
純損(△)	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇		
收入對經營費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
建設費對收入	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇		
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇		
昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	
收入	二、六四、八四九	二、四九、〇六一	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九
雑収入	一八、八四九	二、四九、〇六一	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九	二、二七、五九
乗車料收入	一、八、九二	一、六、五三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三
経営費	一、八、九二	一、六、五三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇
支拂	一、八、九二	一、六、五三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三
銷却	一、八、九二	一、六、五三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三	一、一、三三
純損(△)	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇
收入對經營費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
建設費對收入	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇

(三) 池上電氣鐵道

科目別	年度別					
	昭和五年度	昭和六年度				
收入	一、八、九二	一、八、九二				
雑収入	一、八、九二	一、八、九二				
乗車料收入	一、八、九二	一、八、九二				
経営費	一、八、九二	一、八、九二				
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇				
支拂	一、八、九二	一、八、九二				
銷却	一、八、九二	一、八、九二				
純損(△)	△ 〇.〇	△ 〇.〇				
收入對經營費	100.0%	100.0%				
建設費對收入	〇.〇	〇.〇				
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇				
昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度			
收入	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二		
雑収入	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二		
乗車料收入	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二		
経営費	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二		
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇		
支拂	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二		
銷却	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二		
純損(△)	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇		
收入對經營費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
建設費對收入	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇		
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇		
昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	
收入	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二
雑収入	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二
乗車料收入	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二
経営費	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇
支拂	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二
銷却	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二	一、八、九二
純損(△)	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇
收入對經營費	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
建設費對收入	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇	〇.〇
差引	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇	△ 〇.〇